

第 37 号

浦添市立図書館報

A Report on Activities of Urasoe City Library



JIA25 年賞 受賞 (JIA25 年建築)

令和 2 年
浦添市立図書館

Urasoe City Library

発刊のことば

館長 上里 隆史

浦添市立図書館は本年、35周年という節目の年を迎えました。気持ちを新たにというところですが、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、スペイン風邪以来、百年に一度の非常事態となっています。沖縄でも感染が拡大するなかで学校や仕事など日常生活にも多大な影響を与えており、ここ浦添市立図書館でも残念ながら感染拡大防止のため臨時休館を余儀なくされています。

そのような中、非常事態で「不要不急」とされ縮小されている文化的な活動が、実は日々の生活を豊かにしていたことを、自粛生活を続ける多くの人々が改めて感じ始めています。図書館が提供するサービスの重要性を改めて認識するとともに、収束が見えないコロナ禍でも読書のできる環境づくりが求められています。

一方で、テクノロジーの急速な発達にともない「Society5.0」と呼ばれるICTを基盤とした社会変革が進行しています。非接触、高速かつ大容量データのやり取りの実現により、「いつでも、誰でも、どこにでも」サービスを受けられる環境が整いつつあるといえます。電子図書館、サピエ図書館や非接触型の自動貸出システム、ネット完結の図書予約などはコロナ禍で発生した諸問題を解決するのみならず、令和元年に施行された「読書バリアフリー法」でもうたわれる、障害の有無に関わらず全ての人が活字文化の恩恵を享受するための有効な手段となるはずです。当館でも今後、こうした潮流をとらえ、適切に対応していかなくてはなりません。

近年、従来の図書館のあり方が大きく変わり、読書のみならず、人が集い活動する場所としての図書館が注目されていました。しかしその位置づけもコロナ禍で根本から問い直されつつあります。将来の図書館はいかにあるべきか、予測困難な状況下、試行錯誤しながら職員とともに地道に探っていきます。

今回、令和2年度における図書館の業務報告をまとめた館報37号を刊行しましたので、ご活用いただけますと幸いです。

令和2年10月

目 次

発刊のことば

1. 浦添市立図書館の概要

浦添市のプロフィール	1
浦添市立図書館のプロフィール	2
浦添市立図書館のあゆみ	3
施設の概要	7
運営方針及び努力目標と令和2年度重点目標	8
組織運営図と事務分掌	9
令和2年度浦添市立図書館当初歳出予算	10

2. 統計

浦添市立図書館刊行物一覧	11
地区別利用登録者状況	12
月別利用統計	13
蔵書回転率	14
人口1人当たり貸出冊数	14
団体利用統計	14
レファレンス及びコピーサービス	15
予約・リクエストサービス	16
相互貸借	16
図書館ボランティア活動状況	17
施設見学、業務体験受入状況	18
ステーション別利用統計	19
ステーション別予約・リクエスト統計	20
資料購入実績	21
資料購入費割振	21
蔵書数・貸出数・資料購入費等統計	22
各種過去3年比較統計	24
蔵書統計	25

3. 奉仕活動

令和2年度年間カレンダー	26
令和2年度年間行事	27
令和2年度としよまる巡回表	28
令和2年度ステーション位置図	29
移動図書館(としよまる)貸出風景	30
移動図書館(としよまる)の運営基準	31
学校、JICA 沖縄連携	32
雑誌スポンサー制度(寄贈提供)	33
うらそえYA文芸賞	34
催し物	35
映画会	39
おはなしの部屋	40
空とぶじゅうたんおはなし会	41
にこにこ赤ちゃんおはなし会	42
出張!おはなしのたから箱	43
としよまるおはなし会	45
英語のおはなし会	46
アメリカ情報コーナーの概要	47

(資料部門)

収集方針・選択方針・収集の流れ・選択基準	
(1) 資料の収集方針	49
(2) 資料の選択方針と留意点	49
(3) 資料選択にあたっての留意点	51
(4) 資料収集の流れ	51
(5) 選書の組織(体裁)	51
(6) 資料の種類別選択基準(選書基準)	52
(7) リクエスト受入基準	60
(8) 弁償資料代替指定基準	60
(9) 館外貸出禁止資料 (禁帯出・貴重資料)指定基準	61
(10) 書架移動に関するマニュアル	61
『よのつち』図書館関係執筆者一覧	65

(沖縄学研究室)

沖縄学研究室の概要	66
沖縄学研究室の運営方針	66
沖縄学研究室の重点目標と主な事業計画	66
沖縄学研究室所蔵資料と利用方法	67
沖縄学研究室刊行物の紹介	68
浦添の歴史文化整備保存事業	69

4. 参考資料

寄贈総数表、個人寄贈者一覧	70
ベストリーダー	71
所蔵雑誌 タイトル一覧	75
アメリカ情報コーナー所蔵雑誌 タイトル一覧	77
所蔵逐次刊行物 タイトル一覧	78
所蔵新聞一覧	83
沖縄学研究室所蔵新聞一覧	85
「沖縄タイムス」所蔵一覧	87
「琉球新報」所蔵一覧	88
浦添市立図書館協議会委員名簿	89
浦添市立図書館に関する新聞記事	90
関係機関一覧	105
図書館の自由に関する宣言(抜粋)	108
図書館法(抜粋)	108
浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例	111
浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則	113
浦添市立図書館協議会規則	121
著作権法(抜粋)	122
平面図	123

1. 浦添市立図書館の概要

●浦添市のプロフィール

[概要]

沖縄本島の南部圏に位置し、南は那覇市、東は西原町、北は宜野湾市に接し、西は東シナ海に面する。西海岸の大半はアメリカ軍基地となっている。

市域面積 19.48 k m²、人口 114,830 人（前年度比 771 人増）、世帯数 50,883 世帯（前年度比 1,159 世帯増）（令和 2 年 3 月末現在）を擁する県下第 4 の都市である。県都那覇市に北接する活気に満ちた新興都市であり、県内の代表的な企業が集中し、業務機能、商業地区が形成されるなど急速に都市的成長を遂げつつある。「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」を目指し、まちづくりに取り組んでいる。

昭和 56 年に愛知県蒲郡市と友好都市を締結、また、昭和 63 年には中国福建省泉州市と友好都市を締結して国際交流にも力を入れている。

当図書館は、アイム・ユニバースてだこホール、浦添市美術館等が立地する「カルチャーパーク」内にあり、カルチャーゾーンの中核として市民文化の拠点施設となっている。

[歴史]

12 世紀頃には、按司(アヂ)と呼ばれる首長層が台頭したが、本島に拠点を置く有力按司の勢力がめざましかった。13 世紀には本市の浦添城(グスク)を中心に、沖縄本島中部地域を支配する英祖(えいそ)などの英雄が登場した。14 世紀後半には察度(さつと)が登場し、1372 年、中国に使節を派遣して、初めて琉球・中国の外交・貿易の歴史をスタートさせた。

浦添の古音は「うらおそへ」で、「うら」は地域、「おそへ(おそい)」は支配する、治めるという意からきている。したがって、「諸地域を支配する中心」の意味が本市の語源である。その後、政治的中心が浦添城から首里城に移ったため、古都浦添の地位は失われた。琉球王国時代の地方行政単位である「浦添間切(まぎり)」時代が長く続いたのち、明治 41 年(1908 年)に「浦添村」となる。昭和 20 年(1945 年)の沖縄戦において最大の激戦地となり、人命・財産に甚大な被害が出た。

戦後、広大なアメリカ軍基地が建設され、「基地の町」的様相を呈したが、1960 年代から急速に都市化が進展し、昭和 45 年(1970 年)7 月 1 日「浦添市」に昇格した。

こうした幾多の歴史を体験したため、市内には多数の文化財が存在する。本市のビジョン名「てだこの都市・浦添」の「てだこ」は、かつての英祖王の神号・テダコ(太陽の子)に由来する。

●浦添市立図書館のプロフィール

浦添市立図書館の概要及び令和元年度事業概要は次のとおりです。

令和2年4月1日現在

開館	昭和60年4月23日（開館時蔵書：約53,000冊）
施設	敷地面積：3,845.00㎡ 延床面積：3,036.58㎡（現況） 総工費：491,500,000円（建設当初） 起工：昭和59年3月29日 竣工：昭和59年12月29日
蔵書	327,777冊（うち閉架：178,823冊） 図書収容力：約36万9千冊（うち閉架：約17万8千冊）
利用状況	利用登録者数：46,359人（うち団体登録者数194件、うち在勤在学者数1,812人） 全市民登録率：約40.37%（市内利用登録者数÷本市人口） 在勤在学登録率：約3.9%（在勤在学者数÷利用登録者数） 令和元年度入館者数：127,011人 令和元年度貸出利用者人数：71,444人 貸出冊数：319,988冊（個人311,806冊＋団体6,623冊＋相互他1,559冊）
職員	26人（館長：1人、正規職員：8人、会計年度任用職員：17人）
決算	令和元年度支出総額：87,308,813円 うち資料購入費：8,998,375円
開館日等	開館時間：午前9時30分～午後7時 休館：月曜日、祝日（こどもの日、文化の日を除く）、慰霊の日（6/23） 年末年始（12/29～31、1/2～3） 定例資料整理日（7月、8月、蔵書点検月を除く毎月末平日） 蔵書点検（年間10日以内） 臨時休館（特別な事由があるとき） 令和元年度開館日数 258日（休館日：108日） ※新型コロナウイルス感染症対策のため（令和2年2月29日（土）～3月16日（月））臨時休館
主な事業	図書館資料等の貸出返却、資料の収集・整理・閲覧、レファレンス、レフェラル、コピーサービス、移動図書館、おはなし会、映画会、展示会、講座、講演会、刊行物の編集・出版、沖縄学研究室の運営、歴史資料の収集、多文化コーナーの運営、アメリカ情報コーナーの運営、JICA沖縄センターとの連携企画行事等

●浦添市立図書館のあゆみ

- 昭和 57 年 * 図書館建設基本構想の策定作業を開始する。
- 昭和 58 年 * 2 月、建設計画を策定する。4 月 1 日、市教育委員会内に図書館建設準備のための主幹(宮城篤正)を配置し、具体的な準備作業にとりかかる。
- 昭和 59 年 * 3 月に建設工事を開始、4 月に図書館建設準備室が発足する。また、12 月には浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例が公布され、同月 29 日建設工事が竣工。(建設工事費 491,500,000 円。)
- 昭和 60 年 * 4 月 1 日、宮城篤正、初代館長に就任。4 月 23 日開館。開館時の蔵書数約 53,000 冊。11 月には利用登録者が 2 万人を超える。
- 昭和 61 年 * 1 月、「図書館だより」第 1 号を発行。(のちに名称を「はながわら」に改める。)
* 4 月、開館 1 周年の絵本絵画展・写真展を開催。
* 6 月、手づくり移動図書館を字勢理客ではじめて実施。
* 8 月、第 52 回国際図書館連盟(IFLA)東京大会に館長参加。
* 12 月 7 日、本館が都市景観に貢献したことにより「浦添市都市美創出審査委員会」より「委員長特別賞」が授与される。
- 昭和 62 年 * 4 月、琉球王国評定所文書刊行事業がスタート。
* 11 月、冊封使書籍展を開催。
- 昭和 63 年 * 4 月 1 日、高良倉吉、第 2 代館長に発令。
* 4 月 23 日、開館 3 周年式典及び記念展示会開催。
* 6 月 1 日、移動図書館巡回開始式典及び祝賀会開催。翌日より移動図書館(としよまる)が市内 22 ステーションの巡回を開始。
* 10 月 26 日、日本図書館協会より「建築賞特別賞」を授与される。
- 平成元年 * 3 月、蔵書冊数約 150,000 冊。
* 8 月、新コンピュータシステムを導入。
* 11 月 30 日～12 月 1 日、全国移動図書館大会が開催され、本館は幹事館となるとともに事例報告を行う。
* 12 月、「浦添市立図書館紀要」を創刊。
- 平成 2 年 * 3 月、閉架書庫の第 1 期整備を終える。
* 7 月、沖縄学研究室がオープンする。
- 平成 3 年 * 3 月、蔵書数約 180,000 冊。
- 平成 4 年 * 2 月 14 日、図書館としては初の「沖縄県社会教育功労賞」を授与される。
* 4 月 1 日、県内初ヤングアダルトコーナー設置
- 平成 5 年 * 9 月 28 日、閉架書庫内の集密書架工事が完了する。
- 平成 6 年 * 4 月 1 日、西平実、第 3 代館長に発令。
* 6 月、バージョンアップに伴い新コンピュータシステムを導入。
- 平成 7 年 * 2 月、学校への図書集配サービスを開始。
* 10 月 15 日、開館 10 周年記念式典・祝賀会を開催。
* 10 月、図書館コンピュータネットワーク事業(神森小学校・浦西中学校)
- 平成 8 年 * 1 月 11 日、又吉栄喜(本市図書館職員)芥川賞受賞。
* 4 月 1 日、与座文子、第 4 代館長に発令。
* 5 月、図書館ネットワーク事業 4 校追加により対象学校が 6 校になる。(12 年度終了)
- 平成 9 年 * 3 月、蔵書数 244,112 冊。
- 平成 10 年 * 3 月、蔵書数 258,223 冊。
* 6 月 2 日、「としよまる」巡回 10 周年。

- 平成 11 年 *3 月、蔵書数 226,852 冊。
 *4 月 1 日、又吉盛清、第 5 代館長に発令。
 *4 月、図書館コンピュータ機種変更。としまるの土曜巡回実施、ステーション数 27 ヶ所となる。貸出上限の改正(5 点→15 点。ただし図書 10 点、雑誌 3 点、AV2 点まで)
- 平成 12 年 *3 月、蔵書数 202,344 冊。
 *4 月 1 日、石川勉、第 6 代館長に発令。
 *4 月、図書館ホームページ開設。蔵書検索が可能となる。(公共図書館及び市内学校図書館については、電子メールによる予約受付も可)。としまる巡回ステーションを 1 ヶ所増設(計 28 ヶ所)。図書館だよりの全戸配布開始。定例資料整理日を第 3 火曜日に変更。
- 平成 13 年 *4 月、としまる巡回ステーションを 1 ヶ所増設(計 29 ヶ所)
 *5 月、浦添市地域イントラネット基盤整備事業により利用者端末機の設置。
- 平成 14 年 *3 月、琉球王国評定所文書刊行事業完了記念シンポジウム及び記念講演会。
 *3 月、蔵書数 228,103 冊。
 *4 月 1 日、親富祖善吉、第 7 代館長に発令。
 *4 月、としまる巡回ステーションを 1 ヶ所増設(計 30 ヶ所)
 *12 月、『琉球王国評定所文書』全 19 巻が第 23 回沖縄タイムス出版文化賞(特別賞)受賞。
- 平成 15 年 *3 月、蔵書数 239,464 冊。
 *4 月 1 日、金城敏雄、第 8 代館長に発令。
- 平成 16 年 *3 月、蔵書数 234,698 冊。
 *9 月、アメリカ情報コーナー開設。
- 平成 17 年 *1 月、利用者用インターネット開設。
 *3 月、蔵書数 239,133 冊。
 *3 月、2 代目「移動図書館・としまる」出発式。
 *4 月 1 日、坂名城英介、第 9 代館長に発令。館長が非常勤になる。
 *8 月 16 日、キャリアビジネスコーナー設置。
- 平成 18 年 *3 月、蔵書数 245,260 冊。
 *3 月、津波清、第 10 代館長に発令。
 *4 月、定例資料整理日を毎月末の平日に変更。(7、8 月、蔵書点検月を除く)
 *4 月 3 日、開館・閉館時間や開館日時が変更となる。
 (旧 平日:午前 10 時～午後 7 時、土日:午前 10 時～午後 5 時)
 (新 平日、土日:午前 9 時 30 分～午後 7 時)
 *9 月、ブックスタートアドバイス事業開始。
- 平成 19 年 *3 月、蔵書数 250,445 冊。
 *4 月 1 日、としまるステーション 1 ヶ所増設。(計 31 ヶ所)
 *4 月 1 日、浦添市移民史編集刊行事業スタート。
 *7 月、図書館ボランティア実施。
- 平成 20 年 *3 月、蔵書数 259,429 冊。
 *5 月 1 日、新コンピュータシステム稼動。
 市内学校図書館と連携した資料検索が可能となる。
 子育て応援コーナー設置。
 *5 月 31 日、エントランスホール入り口に IC ゲート設置。
 *10 月 29 日、コンピュータシステムリニューアル後、入館者数 10 万人達成。
- 平成 21 年 *2 月 28 日、コンピューターコーナー設置。
 *3 月、蔵書数 264,018 冊。

- *4月1日、としまるステーション1ヶ所増設。(計32カ所)
 - *4月23日、「子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰」受賞。
 - *11月7日、YA文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第1回)
- 平成22年
 - *3月、蔵書数276,007冊。
 - *11月23日、YA文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第2回)
- 平成23年
 - *3月、「かたりの部屋」「授乳室」完成。
 - *3月、蔵書数268,026冊。
 - *3月、としまるステーション1カ所増設。(計33カ所)
 - *9月30日、『浦添市移民史 ビジュアル版その1 海外移民編』刊行。
 - *10月1日、名護正輝、第11代館長に発令。
 - *11月23日、YA文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第3回)
- 平成24年
 - *2月7日、JICA沖縄国際センターと連携協力に関する協定を締結。
 - *3月、蔵書数295,320冊。
 - *3月、としまるステーション1カ所増設・1カ所減。(計33ヶ所)
 - *4月1日、浦添の歴史文化整備保存事業スタート。(沖縄振興特別推進交付金)
 - *11月23日、YA文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第4回)
 - *12月5日、市立図書館総合蔵書検索システム稼働(浦添市立図書館にて市内16小中学校蔵書検索可能。
- 平成25年
 - *3月、蔵書数303,711冊。
 - *3月29日、『浦添市移民史 ビジュアル版その2 アジア太平洋・国内編』刊行。
 - *4月1日、雑誌スポンサー制度導入。(10事業所でスタート)
 - *6月1日、仲西正勝、第12代館長に発令。
 - *7月31日、コンピュータシステムリニューアル後の入館者数100万人達成。
 - *9月10日、拡大読書器を導入
 - *11月23日、YA文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第5回)
- 平成26年
 - *3月、蔵書数303,375冊。
 - *3月18日、『浦添市移民史 証言・資料編』刊行。(沖縄振興特別推進交付金)
 - *3月28日、空調設備改修工事完了。
[再編交付金3,444,000円(設計)・調整交付金42,748,000円:(工事)]
 - *9月14日、アメリカ情報コーナー開設10周年式典開催。
 - *11月23日、YA文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第6回)
- 平成27年
 - *3月、蔵書数309,597冊。
 - *3月、としまるステーション1カ所減。(計32ヶ所)
 - *3月17日、『浦添市移民史 本編』刊行。(沖縄振興特別推進交付金)
 - *3月26日、第2閉架書庫増築工事完了。
[調整交付金3,570,000円(設計)・再編交付金49,582,000円:(工事)]
 - *4月23日、開館30周年。
 - *6月～7月、図書館リニューアル。(第2閉架書庫増築、コンピュータシステム入替に伴い図書館内蔵書の再配置及びレイアウト変更を実施)
 - *7月16日、リニューアルオープン。自動貸出機稼働。
メディカルヘルスコーナー、多文化コーナー設置。
 - *11月3日、YA文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第7回)
- 平成28年
 - *1月12日、照明設備改修工事完了。
[再編交付金7,375,000円:(監理委託・改修工事)]
 - *3月、蔵書数305,539冊。
 - *4月1日、平良美恵、第13代館長に発令。

- *4月1日、移動図書館従事職員派遣業務開始。
- *9月9日、アメリカ情報コーナー 無料公衆無線 LAN(wi-fi)設置及び運用開始。
- *11月3日、YA文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第8回)
- 平成29年 *3月、蔵書数 310,281冊。
- *9月30日、「又吉栄喜文庫」開設、記念冊子『又吉栄喜文庫開設記念展―すべては浦添からはじまった―』刊行。
- *11月3日、YA文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第9回)
- 平成30年 *3月、蔵書数 319,007冊
- *9月30日、又吉栄喜文庫1周年記念冊子『すべては浦添からはじまった ～又吉栄喜文庫開設記念トークショー～』刊行。
- *12月2日、YA文芸賞第受賞者表彰式(第10回)及びビブリオバトル開催。
- 令和元年 *3月、蔵書数 323,097冊
- *4月1日、上里隆史、第14代館長に発令。
- *9月1日～10月27日、「又吉栄喜 展―『仏陀の小石』、短編集『ジョージが射殺した猪』、韓国語翻訳『豚の報い』刊行記念―」を開催。
- *11月24日、浦添市市制施行50周年記念プレトークショー「松本清張賞作家らが『沖縄の歴史を語る』」を開催。
- *12月8日、YA文芸賞第受賞者表彰式(第11回)及びビブリオバトル開催。
- *12月13日、JIA25年賞 受賞(JIA25年建築)
- *12月17日、コンピュータシステムリニューアル後の入館者数200万人達成。
- 令和2年 *2月29日～3月16日新型コロナウイルス感染症のため、臨時休館。

●施設の概要

◇所在地等 〒901-2114 沖縄県浦添市安波茶二丁目2番1号
 TEL 098-876-4946 FAX 098-875-1772
 E-mail : tosyokan@city.urasoe.lg.jp

◇敷地面積 3,845.00 m²
 ◇延床面積 3,036.58 m² (現況)
 ◇構造 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上2階建 (一部塔屋階あり)
 ◇総工費 491,500 千円 (当初)
 ◇施工 昭和59年12月29日
 ◇図書収容力 開館当初 約30万冊 (うち閉架 約10万冊)
 現在 約36万9千冊 (うち閉架 約17万8千冊)

1階	1,783.62 m ²
一般貸出室	497.28 m ²
児童室	260.82 m ²
多文化コーナー	103.56 m ²
雑誌・新聞コーナー	63.02 m ²
AVコーナー	6.60 m ²
エントランスホール	121.39 m ²
おはなしコーナー	65.13 m ²
かたりの部屋	37.16 m ² (H22 増築)
授乳室	37.16 m ² (H22 増築)
2階	995.12 m ²
視聴覚室	107.96 m ²
沖縄学研究室	165.65 m ²
学習室	46.77 m ²
検収室	57.74 m ²
事務室	78.30 m ²
地下	188.71 m ²
塔屋階	69.13 m ²

○平成22年度 施工

パーゴラ 正面玄関 長さ46.8m × 高さ3.0m
 // 南側 長さ14.0m × 高さ3.0m

○平成26年度 増築

第2閉架 1・2階 229.50 m²

●運営方針及び努力目標と令和2年度重点目標

(1)運営方針

浦添市立図書館は、図書及びその他の資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図り、市民の教養、調査研究、レクリエーション活動を援助し、生涯学習及び課題解決を支援し、市の教育・文化振興の拠点となる図書館を目指す。併せて、多様化・高度化する市民のニーズや社会の変化に伴う新たな要請へ対応できるように努める。

(2)努力目標

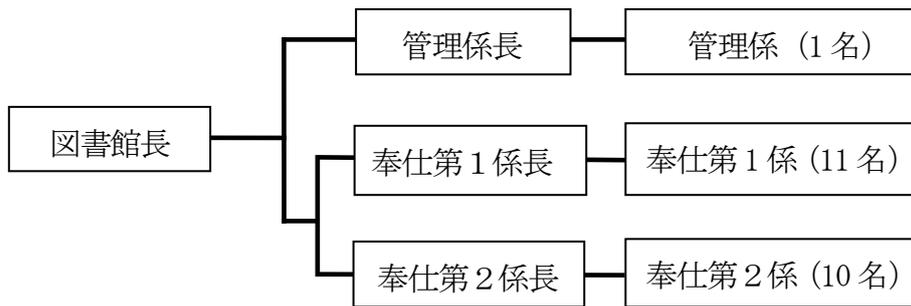
1. 市民の知的要求に応えるよう、幅広く資料を収集し、提供する。
2. レファレンス・サービスの充実・高度化、レフェラル・サービスの充実に努める。
3. 利用者本位の図書館を目指す。
4. 浦添市に関する全ての資料を収集する。また、市の地域的・歴史的特性を踏まえ沖縄学研究的の拠点とする。
5. 利用者に応じたサービスの充実に努める。
6. 市民の自主的・自発的な学習活動を援助するため、講演会、講座、映写会等多様な学習機会の提供に努める。
7. 移動図書館「としまる」による市内の全域サービスに努める。
8. 読書運動の普及推進に努める。
9. 学校への図書集配サービスの利用促進を図るため、学校側との連携強化に努める。
10. 図書館協議会等により、利用者の声を反映するようにする。
11. 他関係機関との連携を密にし、相互協力体制をつくる。
12. 広報及び情報公開を図る。
13. 図書館事業評価の向上に努める。
14. 在沖米国総領事館及びJICA沖縄との連携を強化し、各関連事業の強化、充実に努める。

(3)令和2年度重点目標

1. 利用登録者の目標を48,000人とする。(令和2年4月1日現在:46,359人)
2. 平成24年12月から施行された「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を踏まえ、平成29年度から5年間の新たな「浦添市立図書館サービス計画」に基づき、更なる図書館サービスの推進及び内容の充実に努める。
3. 「うらそえ YA 文芸賞」及びビブリオバトル実施により、特にYA(ヤングアダルト)世代の読書意欲を高めると共に、図書館の利用拡大に努める。
4. 資料購入予算の効率的執行、雑誌スポンサー制度の拡大等により、各年代層の要望に応えられるよう資料の内容充実に努める。
5. 移動図書館「としまる」の市内全域サービスの内容を豊かなものにし、「としまる」利用者の増加を図る。
6. 浦添市シルバー人材センターから派遣された職員による移動図書館「としまる」の更なる円滑な業務運営を図る。
7. 広報、ホームページ、ツイッターの充実・強化、マスコミ対応等により図書館広報の充実・強化を図る。
8. 図書館ボランティア制度の拡充及び円滑な運営を図る。

●組織運営図と事務分掌

令和2年4月1日現在



計 26 名

管理係

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| (1) 館全体の施設管理（防火管理を含む） | (6) 管理係の調査統計及び館の統括 |
| (2) 施設・設備の維持管理（営繕等） | (7) 図書館報の発行 |
| (3) 予算・決算 | (8) 図書館協議会の運営 |
| (4) 文書の收受、発送及び保存 | |
| (5) 各種契約（警備・消防設備等） | |

奉仕係共通

- | | |
|--|-------------------------------|
| (1) 資料の貸出・返却 | (5) レファレンス・レフェラルサービス |
| (2) 読書案内の企画・実施、時宜に応じた情報及び参考資料の紹介ならびに提供 | (6) 読書団体との連絡、協力団体活動の促進 |
| (4) おはなし会等の行事の企画・実施 | (7) 地域図書館活動に対する援助 |
| | (8) 図書館関係機関ならびに市内学校図書館との連携・協力 |

奉仕第1係

- | | |
|--|--------------------------------------|
| (1) 一般書、児童書、YA書、雑誌及び一般逐次刊行物の収集（購入及び寄贈受入）、整理、保存、修理、廃棄 | (4) アメリカ情報コーナー、JICA連携に等多文化サービスに関すること |
| (2) 一般・児童・YA向けサービス | (5) 図書集配サービス |
| (3) 業務体験・施設見学受入 | (6) 図書館ボランティアに関すること |

奉仕第2係

- | | |
|---|--|
| (1) 郷土資料・沖縄学関係資料、児童郷土資料、郷土逐次刊行物の収集（購入及び寄贈受入）、整理、保存、修理、活用、廃棄 | (6) 浦添市関係新聞記事クリッピングに関すること |
| (2) 図書館コンピュータシステムに関すること | (7) 奉仕係業務の統計・調査に関すること |
| (3) 移動図書館に関すること | (8) 『浦添市史』、『琉球王国評定所文書』及び『浦添市移民史』の成果普及・活用 |
| (4) 蔵書点検に関すること | (9) 県内外の地域史等機関・団体との連携に関すること |
| (5) 予約・リクエスト、相互貸借に関すること | |

●令和2年度浦添市立図書館当初歳出予算

(単位:千円)

予算科目	当初予算額	内容説明
図書館事務費	3,779	
報酬	2,121	会計年度任用職員時間外手当(18人)
職員手当等	1,658	正職員時間外勤務手当(8人)
図書館運営事業	17,346	
報酬	91	協議会委員(7人)、(館長、活動業務嘱託員分は職員課へ移管)
共済費	0	(報酬及び賃金に係る社会保険料は職員課へ移管)
報償費	191	講演会、講座 講師謝礼金、文芸賞審査謝礼金、記念品代
賃金	0	(臨時職員、短時間勤務分は職員課へ移管)
旅費	14	費用弁償(協議会委員) (館長、活動業務嘱託員分は職員課へ移管)
需用費	1,268	消耗品、資料用消耗品費、印刷製本費
役務費	2,116	通信運搬費、移動図書館従事職員派遣手数料、筆耕翻訳料
委託料	5,434	図書集配委託料、コンピュータマーク作成委託料、図書館システムPC等保守管理委託料
使用料及び賃借料	0	(コンピュータ賃借料は、長期継続契約終了に伴い保守点検のみ委託料へ)
備品購入費	8,150	図書購入費
負担金、補助及び交付金	82	各種協会負担金及び分担金
図書館管理事業	21,336	
需用費	7,906	消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕料、修繕料
役務費	945	通信運搬費、手数料、火災、自動車損害保険料
委託料	12,212	電気工作物、エレベーター、消防設備、清掃業務 警備業務、高架水槽清掃、環境衛生業務 電話設備保守点検
使用料及び賃借料	193	複写機賃借料
公課費	80	自動車重量税
地域資料(浦添・沖縄)活用事業	1,356	
報酬	0	活動業務嘱託員分(2名)は職員課へ移管
共済費	0	報酬に係る社会保険料は職員課へ移管
報償費	186	沖縄学講座講師謝礼金
旅費	0	活動業務嘱託員分は職員課へ移管
需用費	104	消耗品費・修繕料
役務費	102	通信運搬費
備品購入費	950	図書購入費
負担金、補助及び交付金	14	各種協会負担金
合計	43,817	

2. 統計

●浦添市立図書館刊行物一覧

浦添市立図書館では、市民の図書館利用及び図書館活動の推進のため、種々の行事を実施し、令和元年度は以下のような刊行物を発行しました。

刊行物名称	内 容	サイズ・ページ数	発行回数
浦添市立図書館報 第36号	事業内容・活動状況の報告及び統計(年報)	A4・108p	年1回
はながわら	浦添市立図書館だより	A4	月1回
浦添市立図書館行事案内・年間カレンダー	行事案内・カレンダー	A3(3つ折)	年1回
移動図書館としよまる巡回表	巡回案内表	A3(3つ折)	年1回
浦添市立図書館ミニカレンダー	カレンダー	A6(2つ折)	年2回
蔵書点検および年末年始における休館のお知らせ	案内チラシ	A7	年1回
浦添市立図書館利用案内	利用案内	A3(3つ折)	随時
夏休みイベント情報 (一日図書館員・としよかんたんけん隊・子ども映画会・としよまるおはなし会他)	行事案内チラシ 行事案内ポスター	A5(両面)・A4	年1回
2019子ども読書ウィーク ドは読書のド♪	案内チラシ	A4	年1回
夏休み限定！！YA学習室	案内チラシ	B6	年1回
YA！YA！YA！（ヤーヤーヤー）	YA通信	A4	随時
2019うらそえYA文芸賞作品募集！	応募チラシ 案内ポスター	A3・A4	年1回
令和元年度浦添市立図書館ビブリオバトル 2019うらそえYA文芸賞 表彰式	行事案内チラシ 行事案内ポスター	A3・A4	年1回
2019うらそえYA文芸賞 受賞作品集	うらそえYA文芸賞 作品集	A5・ p65	年1回
2019年度 アメリカ情報コーナー 上映予定映画タイトル	行事案内チラシ	A4	年1回
アメリカ情報コーナー行事 (英語多読、キッズイングリッシュ上映会、アメリカシネマ上映会、夏休みアメリカ司書のおはなし会、アメリカの小学校の一日)	行事案内チラシ ポスター	A3・A4・A5	随時
沖縄学講座	講座案内チラシ 講座案内ポスター	A3・A4	年1回
ゼロから学ぶ沖縄の歴史入門	行事案内チラシ	A4	年1回
浦添市市制施行50周年プレトークショー	行事案内チラシ 行事案内ポスター	A3・A4	年1回
暮らしに役立つ図書館	行事案内チラシ	A4	年1回
おはなしのたから箱スペシャル2019 沖縄・浦添のはなし	行事案内チラシ 行事案内ポスター	A4・A3	随時
出張！おはなしのたから箱 沖縄・浦添のはなし	行事案内チラシ 行事案内ポスター	A4・A5	年1回
まなびフェスタ2019 移動図書館としよまる大公開！	行事案内チラシ 行事案内ポスター	A3・A4	年1回
浦添市立図書館ボランティア募集	募集案内チラシ	A4	年1回
雑誌スポンサー大募集	募集案内チラシ	A4	年1回
赤ちゃんといっしょに絵本をどうぞ ～図書館からのおすすめ絵本30冊～	おすすめ絵本の紹介	A5	随時

●地区別利用登録者状況

(各年度3月末現在)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年
仲 間	2,320	2,167	2,274	2,350	2,416	2,508	1,713	1,777	1,825
安波茶	2,558	2,391	2,493	2,553	2,631	2,751	1,949	2,021	2,070
伊 祖	4,189	3,964	4,098	4,245	4,386	4,544	3,234	3,417	3,538
牧 港	3,829	3,629	3,815	3,960	4,089	4,208	2,743	2,859	2,934
港 川	3,415	3,321	3,499	3,616	3,732	3,870	2,684	2,814	2,908
城 間	4,651	4,463	4,723	4,924	5,095	5,295	3,620	3,782	3,924
屋富祖	2,061	1,929	2,043	2,119	2,171	2,237	1,489	1,553	1,612
宮 城	5,532	5,264	5,537	5,780	5,972	6,163	4,133	4,289	4,474
仲 西	1,614	1,572	1,655	1,710	1,760	1,828	1,275	1,325	1,369
小 湾	1	1	1	1	1	1	0	0	0
勢理客	1,600	1,482	1,567	1,651	1,713	1,792	1,215	1,269	1,318
内 間	4,098	4,040	4,264	4,433	4,545	4,713	3,197	3,334	3,422
沢 岬	2,163	2,072	2,194	2,278	2,337	2,418	1,637	1,710	1,761
経 塚	2,177	2,052	2,197	2,337	2,435	2,538	1,789	1,914	2,010
前 田	4,272	4,015	4,172	4,306	4,427	4,542	2,903	3,021	3,152
西 原	4,222	4,057	4,393	4,667	4,853	5,003	3,513	3,673	3,805
当 山	1,322	1,279	1,403	1,491	1,542	1,636	1,230	1,294	1,336
大 平	3,707	2,572	2,652	2,722	2,790	2,878	1,855	1,935	2,017
西 洲	2	1	1	1	1	0	0	0	0
基地内	41	44	47	54	62	65	40	42	42
伊奈武瀬	0	0	0	1	1	1	1	1	1
市 計	53,774	50,315	53,028	55,199	56,959	58,991	40,220	42,030	43,518
市外計	4,208	4,026	4,188	4,296	4,440	4,733	2,600	2,683	2,731
その他	261	239	249	250	616	280	103	111	110
合 計	58,243	54,580	57,465	59,745	62,015	64,004	42,923	44,824	46,359

※「地区別」とは自治会による区分ではなく、住居表示上の区分によるものである。

※「その他」は国外・県外・県内の離島・相互貸借先を指す。

※図書館システムへの負荷軽減を目的とし、2008年3月31日までのリストにおいて過去10年間利用のない22,818名を削除したため登録者数が減少しております。

●月別利用統計【令和元年度】

(本館)

月	開館 日数	貸 出 冊 数										返却冊数	貸出人数
		一般	児童	沖縄学	YA	郷土 一般	郷土 児童	AV	雑誌	その他	合計		
4	23	11,689	10,012	12	1,262	736	176	539	1,087	247	25,760	24,329	5,752
5	20	11,328	9,813	16	1,175	806	183	511	948	227	25,007	24,518	5,414
6	24	12,303	13,000	12	1,334	897	331	526	1,032	204	29,639	27,747	6,552
7	26	11,896	12,598	24	1,437	936	311	530	964	195	28,891	26,452	6,475
8	25	12,425	13,332	13	1,712	971	406	510	1,027	154	30,550	29,255	7,193
9	23	11,153	10,247	27	1,150	812	189	441	888	137	25,044	24,733	5,759
10	25	11,790	10,314	13	1,248	833	191	531	980	167	26,067	25,090	5,994
11	23	11,034	10,401	15	1,239	859	219	539	981	216	25,503	24,694	5,876
12	23	10,500	9,463	11	1,120	761	168	544	819	225	23,611	21,759	5,314
1	23	12,122	10,562	12	1,272	872	201	584	1,003	265	26,893	23,710	5,891
2	12	8,433	8,231	8	1,243	465	134	373	672	175	19,734	20,645	4,276
3	11	6,529	5,906	6	910	379	132	249	585	159	14,855	14,888	3,205
合計	258	131,202	123,879	169	15,102	9,327	2,641	5,877	10,986	2,371	301,554	287,820	67,701
日平均		509	480	1	59	36	10	23	43	9	1,169	1,116	262
月平均		10,934	10,323	14	1,259	777	220	490	916	198	25,130	23,985	5,642
利用率(%)		43.5%	41.1%	0.1%	5.0%	3.1%	0.9%	1.9%	3.6%	0.8%	100.0%		

(移動図書館)

月	運行 日数	貸 出 冊 数										返却冊数	貸出人数
		一般	児童	沖縄学	YA	郷土 一般	郷土 児童	AV	雑誌	その他	合計		
4	18	559	779	0	48	29	14	34	66	0	1,529	1,211	312
5	17	574	831	0	49	29	19	47	73	0	1,622	1,541	330
6	20	583	938	1	43	42	30	45	57	0	1,739	1,703	352
7	22	565	927	0	57	28	22	32	69	0	1,700	1,689	343
8	22	513	689	0	51	32	11	36	73	1	1,406	1,448	253
9	20	501	791	0	49	34	10	43	64	0	1,492	1,336	317
10	22	596	1,045	0	65	34	28	39	85	0	1,892	1,686	419
11	21	627	1,071	1	54	33	23	40	70	0	1,919	1,754	409
12	20	520	984	0	66	24	26	27	59	0	1,706	1,830	362
1	21	552	1,120	0	69	25	21	45	71	0	1,903	1,599	353
2	13	323	588	0	23	16	15	24	32	0	1,021	1,029	198
3	10	203	217	0	19	12	10	13	31	0	505	469	96
合計	226	6,116	9,980	2	593	338	229	425	750	1	18,434	17,295	3,744
日平均		27	44	0	3	1	1	2	3	0	82	77	17
月平均		510	832	0	49	28	19	35	63	0	1,536	1,441	312
利用率(%)		33.2%	54.1%	0.0%	3.2%	1.8%	1.2%	2.3%	4.1%	0.0%	100.0%		

(全館) ※本館+移動図書館

月	開館 日数	貸出冊数										返却冊数	貸出人数	入館者数
		一般	児童	沖縄学	YA	郷土 一般	郷土 児童	AV	雑誌	その他	合計			
4	23	12,248	10,791	12	1,310	765	190	573	1,153	247	27,289	25,540	6,064	10,734
5	20	11,902	10,644	16	1,224	835	202	558	1,021	227	26,629	26,059	5,744	9,851
6	24	12,886	13,938	13	1,377	939	361	571	1,089	204	31,378	29,450	6,904	12,639
7	26	12,461	13,525	24	1,494	964	333	562	1,033	195	30,591	28,141	6,818	13,887
8	25	12,938	14,021	13	1,763	1,003	417	546	1,100	155	31,956	30,703	7,446	16,432
9	23	11,654	11,038	27	1,199	846	199	484	952	137	26,536	26,069	6,076	10,851
10	25	12,386	11,359	13	1,313	867	219	570	1,065	167	27,959	26,776	6,413	11,202
11	23	11,661	11,472	16	1,293	892	242	579	1,051	216	27,422	26,448	6,285	10,645
12	23	11,020	10,447	11	1,186	785	194	571	878	225	25,317	23,589	5,676	9,598
1	23	12,674	11,682	12	1,341	897	222	629	1,074	265	28,796	25,309	6,244	10,373
2	12	8,756	8,819	8	1,266	481	149	397	704	175	20,755	21,674	4,474	6,559
3	11	6,732	6,123	6	929	391	142	262	616	159	15,360	15,357	3,301	4,240
合計	258	137,318	133,859	171	15,695	9,665	2,870	6,302	11,736	2,372	319,988	305,115	71,445	127,011
日平均		532	519	1	61	37	11	24	45	9	1,240	1,183	277	492
月平均		11,443	11,155	14	1,308	805	239	525	978	198	26,666	25,426	5,954	10,584
利用率(%)		42.9%	41.8%	0.1%	4.9%	3.0%	0.9%	2.0%	3.7%	0.7%	100.0%			

※令和元年度より「開館日数」は、本館開館日数とする。
※「入館者数」には、閲覧者数含む

●蔵書回転率(貸出冊数÷貸出できる蔵書冊数)

年度	貸出冊数			蔵書冊数			回転率		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
平成22年度	200,130	145,625	345,755	138,006	53,519	191,525	1.45	2.72	1.81
平成23年度	206,913	169,073	375,986	136,449	56,912	193,361	1.52	2.97	1.94
平成24年度	191,230	170,858	362,088	148,666	59,254	207,920	1.29	2.88	1.74
平成25年度	192,421	162,814	355,235	151,011	58,098	209,109	1.27	2.80	1.70
平成26年度	183,614	146,982	330,596	153,473	59,044	212,517	1.20	2.49	1.56
平成27年度	176,500	145,447	321,947	153,711	57,391	211,102	1.15	2.53	1.53
平成28年度	169,988	152,596	322,584	155,974	58,069	214,043	1.09	2.63	1.51
平成29年度	159,648	141,349	300,997	158,907	59,563	218,470	1.00	2.37	1.38
平成30年度	156,065	145,469	301,534	160,959	60,267	221,226	0.97	2.41	1.36
令和元年度	137,318	133,859	271,177	163,138	61,503	224,641	0.84	2.18	1.21

●人口1人当たりの貸出冊数

年度	人口1人当たりの貸出冊数	
平成22年度	437,668冊 ÷	111,145人 = 4.0冊
平成23年度	466,623冊 ÷	112,413人 = 4.2冊
平成24年度	445,603冊 ÷	113,752人 = 4.0冊
平成25年度	430,830冊 ÷	113,893人 = 3.8冊
平成26年度	397,893冊 ÷	113,974人 = 3.5冊
平成27年度	383,212冊 ÷	113,580人 = 3.4冊
平成28年度	379,353冊 ÷	113,578人 = 3.4冊
平成29年度	353,257冊 ÷	113,913人 = 3.2冊
平成30年度	355,843冊 ÷	114,059人 = 3.2冊
令和元年度	319,988冊 ÷	114,830人 = 2.8冊

●団体利用統計(月別利用統計合計のうち)

年度	登録件数	利用回数	貸出冊数
平成22年度	156	769	4,868
平成23年度	182	720	5,191
平成24年度	198	1,035	7,265
平成25年度	214	1,019	7,403
平成26年度	221	973	7,142
平成27年度	233	836	7,173
平成28年度	210	848	8,086
平成29年度	183	864	7,751
平成30年度	189	792	7,358
令和元年度	194	743	6,623

●レファレンス及びコピーサービス【令和元年度】

レファレンス(参考業務)

情報を求めている個々の利用者に対して資料を提供するために、一般貸出室および沖縄学研究室には参考図書や郷土資料が揃っており、市民の生活の中から湧き起こる疑問や問題の解決、調査研究等のために、日々多くの方に利用されている。

[レファレンス件数及び質問方法] ※蔵書検索も含んだ件数

相 談 件 数 (件)		内 訳 (件)			
		口 頭	電 話	文 書	学 校
一 般	7,910	6,670	274	23	943
郷土・沖縄学	3,022	2,907	85	8	22

【レファレンス事例】

(1) 一般関係

- 1 「雑草みたいなの」という表現は、差別用語かどうか。

(2) 郷土関係

- 1 オモロに詠まれた「とかしき」について
- 2 屋富祖出身ハワイ在住の方のルーツについて
- 3 「浦添断層」「伊祖断層」について
- 4 明治36年の土地整理事業の際に作成された地積図について

【コピーサービス】

著作権法（昭和45年5月6日法律第48号）第31条に規定された範囲内で、図書館の資料に限りコピーサービスを実施する。その際利用者は「コピーサービス申込書」に記入しなければならない。平成31年度の利用状況は右表のとおりであり、コピーサービスの1日（開館日）当たりの利用は約55枚である。

- ・白黒コピー 10円
- ・カラーコピー 50円（B4サイズまで）
80円（A3サイズ）

月	コピー枚数
平成31年 4月	1,144
令和元年 5月	954
6月	884
7月	892
8月	1,251
9月	853
10月	796
11月	932
12月	704
令和2年 1月	1,085
2月	607
3月	367
合 計	10,469

●予約・リクエストサービス

利用者からの予約及びリクエストについては、可能な限り収集し、提供するよう努めている。
図書館に所蔵がない本の場合は購入、又は県内外の公共図書館との相互貸借により提供する

予約・リクエストの受付および処理状況【令和元年度】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受付件数		1,484	1,349	1,524	1,367	1,479	1,275	1,285	1,295	1,075	1,283	1,177	934	15,527
提供 (冊)	所蔵	1,362	1,257	1,367	1,202	1,385	1,146	1,209	1,155	979	1,209	1,018	838	14,127
	購入	36	26	51	32	39	35	40	41	16	30	59	59	464
	相互貸借	15	12	30	11	12	22	20	12	12	16	22	20	204
未提供 (冊)	絶版/品切れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	71	54	76	122	43	72	16	87	68	28	78	17	732

※「その他」とは予約・リクエスト受付後、利用者によるキャンセル、取置期限を過ぎ予約解除となったケースや、当館がお断りをしたもの。

●相互貸借

未所蔵の資料でリクエストを受けたが購入できなかった(絶版・品切れ等)ものに関しては、他の図書館から借用して提供する。また、他の図書館からの依頼に応じて、貸出をしている。

【令和元年度】

図書館名	借受冊数	貸出冊数	図書館名	借受冊数	貸出冊数
沖縄県立図書館	28	35	宮崎県 宮崎県立図書館	1	0
名護市立中央図書館	32	15	熊本県 熊本市立図書館	3	0
豊見城市立中央図書館	23	6	熊本県 益城町図書館	1	0
沖縄市立図書館	17	13	熊本県 熊本市立植木図書館	1	0
宜野湾市民図書館	19	34	熊本県 人吉市図書館	1	0
那覇市立中央図書館	34	24	熊本県 玉名市民図書館	1	0
うるま市立中央図書館	14	23	大分県 大分市民図書館	2	0
うるま市立石川図書館	0	0	大分県 中津市立図書館	1	0
うるま市立勝連図書館	0	0	大分県 宇佐市民図書館	1	0
南城市立図書館玉城分館	0	0	大分県 大分県立図書館	2	0
南城市立図書館大里分館	0	0	大分県 別府市立図書館	1	0
南城市立知念図書館	0	32	宮崎県 日南市立図書館	1	0
南城市立図書館佐敷分館	0	0	宮崎県 延岡市立図書館	1	0
恩納村文化情報センター	16	1	宮崎県 日向市立図書館	1	0
八重瀬町中央公民館図書館	0	1	長崎県 ミライオン図書館	1	0
糸満市立中央図書館	20	8	長崎県 諫早市立諫早図書館	1	0
宮古島市立平良図書館	8	3	長崎県 西海市大島図書館	1	0
石垣市立図書館	4	8	長崎県 長崎市立図書館	1	0
金武町立図書館	10	15	鹿児島県 出水市立図書館	1	0
嘉手納町立図書館	14	4	鹿児島県 霧島国分図書館	1	0
北谷町立図書館	14	6	鹿児島県 薩摩川内市立中央図書館	1	0
西原町立図書館	17	14	鹿児島県 鹿児島県立図書館	1	0
与那原町立図書館	11	20	鹿児島県 志布志市立図書館	1	0
中城村護佐丸歴史資料図書館	1	2	鹿児島県 姪良市立図書館	1	0
読谷村立図書館	13	13	山口県 山口市立德地図書館	1	0
北中城村あやかりの杜図書館	9	6	広島県 広島大学中央図書館	1	0
南風原町立図書館	6	7	高知県 オーテピア高知図書館	1	0
本部町立図書館	0	1	鳥取県 鳥取看護大学・鳥取短期大学附属図書館	1	0
琉球大学附属図書館	10	13	群馬県 太田市立図書館	3	0
沖縄国際大学図書館	2	0	岡山県 倉敷市立中央図書館	1	0
宜野座村文化センター図書館	6	3	兵庫県 神戸学院大学図書館 ポーアイ館	1	0
沖縄県 名桜大学図書館	2	0	京都府 京田辺市立図書館	1	0
宮崎県 南九州大学都城図書館	1	0	愛知県 田原市図書館	0	1
宮崎県 宮崎県看護大学図書館	1	0	滋賀県 守山市立図書館	0	1
合計				370	309

●図書館ボランティア活動状況【令和元年度】

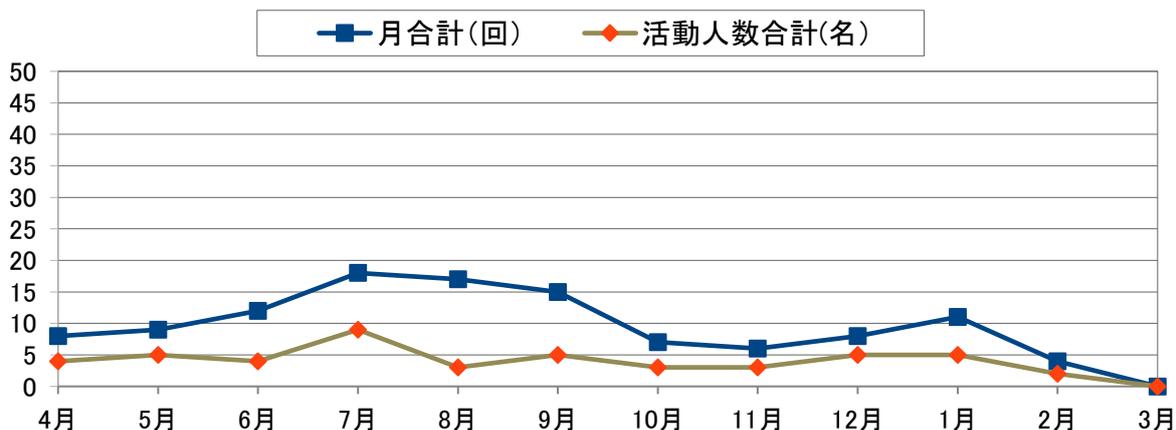
(目的)

浦添市立図書館におけるボランティア活動を積極的に受け入れ生涯学習の活動の場を提供することで、図書館業務の理解と協力を得て、図書館サービスの拡大と市民から親しみの持てる図書館づくりに寄与することを目的とする。

(活動内容)

活動内容は次に掲げるものとする。ただし、選書・除籍等の図書館の方針にかかる業務、個人情報に接する業務及びその他責任過重となる業務にかかる活動をさせてはならないものとする。

- (1) 書架整理に関すること
- (2) 本の修理・装備に関すること
- (3) おはなし会に関すること
- (4) 緑化活動等環境整備に関すること
- (5) その他、活動の活性化に資すると認められる活動で、館長が定めるもの



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月合計(回)	8	9	12	18	17	15	7	6	8	11	4	0	115
活動人数合計(名)	4	5	4	9	3	5	3	3	5	5	2	0	48
登録人数(名)	20	20	20	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23

《年度比較》

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
月合計(回)	238	161	161	115
活動人数合計(名)	116	109	91	48
登録人数(名)	36	30	28	23



●施設見学受入状況

主に幼稚園・小学生を対象に図書館の中を見学することで図書館への関心を高め、図書館の利用及び読書活動の推進を図ることを目的として受入・実施している。

受入状況は次のとおりである。

(単位：件)

年度	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高校	大学	特別支援学校	その他	合計
平成25年度	1	2	5	0	0	0	0	0	8
平成26年度	1	1	6	0	0	0	0	1	9
平成27年度	0	3	6	0	0	0	0	1	10
平成28年度	0	1	4	0	0	0	1	0	6
平成29年度	1	0	5	1	0	0	0	1	8
平成30年度	0	0	2	0	0	0	0	3	5
令和元年度	1	0	3	0	0	0	0	0	4

見学者一覧（令和元年度）

	日時	団体名	人数	内容
1	6月11日(火)	美咲保育園	5人	施設見学
2	6月14日(金)	神森小学校	110人	〃
3	9月10日(火)	牧港小学校	77人	〃
4	1月28日(火)	宮城小学校	113人	〃
	合計	4団体	305人	

●業務体験受入状況

夏休み・秋休みの行事としての一日図書館員や、中学・高校生の職場体験・インターンシップなど職業教育の一環として業務体験させ、司書という職業の実際を理解してもらうことを目的として受入・実施している。

受入状況は次のとおりである。

単位：件（人）

年度	一日図書館員	小学生	中学生	高校生	大学生・専門学生			合計
		職場体験	職場体験	インターンシップ (就業体験)	図書館 実習	社会教育 実習	インターン シップ	
平成25年度	2(9)	0	4(7)	3(5)	0	1(3)	0	10(24)
平成26年度	2(8)	0	3(6)	3(6)	0	2(8)	0	10(28)
平成27年度	2(8)	0	3(8)	3(6)	0	1(3)	0	9(25)
平成28年度	1(4)	0	5(11)	7(14)	0	1(2)	0	13(31)
平成29年度	1(4)	0	2(4)	2(4)	0	2(4)	0	7(16)
平成30年度	1(4)	1(1)	4(8)	3(6)	0	1(3)	2(3)	12(25)
令和元年度	1(4)	0	6(13)	3(6)	0	0	0	10(23)

●ステーション別利用統計【令和元年度】

No.	貸出ステーション ステーション名	巡回 回数 日数	貸 出 冊 数									平均冊 ／月	冊数／冊数合計 全対比%	返却冊 数
			一般書	児童書	Y・A	一般郷土	児童郷土	A・V	雑誌	その他	合計			
1	安川団地	22	95	159	5	3	5	8	22	0	297	25	1.6%	248
2	当山小学校	21	65	1,050	12	3	21	19	7	0	1,177	98	6.4%	954
3	西原児童センター	21	74	330	7	1	3	6	14	0	435	36	2.4%	411
4	浦西団地	22	752	896	59	42	11	52	88	1	1,901	158	10.4%	1,935
5	神森小学校	21	240	317	30	19	14	4	17	1	642	54	3.5%	600
6	前田自治会館	21	228	149	18	5	1	6	21	0	428	36	2.3%	395
7	県営港川団地	10	55	17	1	3	2	2	3	0	83	7	0.5%	85
8	県営経塚団地	21	221	120	4	3	5	7	11	0	371	31	2.0%	291
9	沢岬自治会館	22	366	299	15	41	13	11	71	0	816	68	4.5%	731
10	内間公民館	24	84	207	6	1	2	1	13	0	314	26	1.7%	315
11	丸大スーパー勢理客店	20	632	714	50	33	12	27	27	0	1,495	125	8.2%	1,430
12	サン・アビリティーズうらそえ	22	271	181	24	26	6	5	41	0	554	46	3.0%	545
13	県営神森団地	22	226	208	9	5	1	2	82	0	533	44	2.9%	509
14	仲西小学校	22	41	977	50	4	12	15	5	0	1,104	92	6.0%	1,029
15	屋富祖公民館	20	175	147	9	13	4	25	11	0	384	32	2.1%	276
16	城間公民館	21	296	79	35	9	8	2	26	0	455	38	2.5%	484
17	ユアサハイム	22	298	162	22	41	3	30	65	1	622	52	3.4%	659
18	港川自治会事務所	22	157	152	34	16	1	0	25	0	385	32	2.1%	387
19	牧港公民館	21	143	105	2	10	4	2	9	0	275	23	1.5%	304
20	マチナトタウン	22	185	127	7	7	1	10	34	0	371	31	2.0%	382
21	緑ヶ丘自治会館	22	93	32	11	3	1	0	3	0	143	12	0.8%	148
22	県営城間団地	22	153	66	13	4	2	7	6	0	251	21	1.4%	223
23	崎原自治会	22	18	7	1	0	0	0	2	0	28	2	0.2%	29
24	経塚ゆいまーるセンター	22	193	210	8	3	3	17	26	0	460	38	2.5%	398
25	県営浦添市街地住宅	22	118	105	23	5	9	8	15	0	283	24	1.5%	276
26	仲西公民館	24	82	106	8	14	5	0	13	0	228	19	1.2%	234
27	県営沢岬団地	24	374	149	8	3	5	80	41	0	660	55	3.6%	676
28	内間小学校	20	93	1,094	21	7	29	0	8	0	1,252	104	6.8%	1,340
29	宮城小学校	22	118	1,205	46	4	36	11	29	0	1,449	121	7.9%	1,067
30	鏡が丘特別支援学校本校	10	143	345	44	5	5	16	1	0	559	47	3.1%	599
31	鏡が丘特別支援学校分校	10	97	184	4	2	5	48	8	0	348	29	1.9%	299
32	浦添市産業振興センター・結の街	22	2	5	0	0	0	0	1	0	8	1	0.0%	12
	特別巡回(としよまる公開)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%	7
合 計		662	6,088	9,905	586	335	229	421	745	3	18,312	1,526	100%	17,278

※その他とは利用者よりレファレンスを受け、BM取置きとした資料。

●ステーション別予約・リクエスト統計【令和元年度】

貸出ステーション			予約・リクエスト受付							予約・リクエスト処理						
曜日	コース	ステーション名	一般書	児童書	郷土誌	雑誌	Y・A	A・V	未所蔵	合計	提供	キャンセル	期限切れ	断り	相互貸借	合計
日曜日	A	9 沢岬自治会館	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
		13 県営神森団地	0	0	0	0	0	0	0	0	78	1	0	0	0	79
		7 県営港川団地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		22 県営城間団地	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
水曜日	B	2 当山小学校	1	1	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	0	4
		19 牧港公民館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		3 西原児童センター	2	3	0	0	1	0	0	6	7	0	0	0	0	7
木曜日	C	29 宮城小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	31	2	0	0	0	33
		23 崎原自治会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		17 ユアサハイム	4	0	2	0	0	1	0	7	11	0	1	0	0	12
金曜日	D	28 内間小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		11 丸大スーパー勢理客店	2	0	0	1	0	0	0	3	17	1	1	0	2	21
		15 屋富祖公民館	0	3	3	0	0	0	0	6	7	0	0	0	0	7
土曜日	E	27 県営沢岬団地	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1
		10 内間公民館	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	2
		26 仲西公民館	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
日曜日	F	4 浦西団地	1	2	3	0	0	0	0	6	117	0	0	0	0	117
		20 マチナタウン	14	0	0	0	0	0	0	14	18	0	0	0	0	18
		25 県営浦添市街地住宅	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
		1 安川団地	1	0	1	0	1	0	0	3	2	0	0	0	0	2
木曜日	G	14 仲西小学校	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	1
		12 サン・アビリティーズうらそえ	2	2	0	0	0	1	0	5	6	0	0	0	0	6
		24 経塚ゆいまーるセンター	4	0	1	0	1	0	0	6	6	0	0	0	0	6
金曜日	H	6 前田自治会館	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		8 県営経塚団地	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2
		5 神森小学校	6	2	2	5	0	0	0	15	20	0	0	0	0	20
土曜日	I	18 港川自治会事務所	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
		21 緑ヶ丘自治会館	0	0	0	0	3	0	0	3	36	1	0	0	0	37
		16 城間公民館	2	0	0	0	3	0	0	5	11	0	0	0	0	11
月曜日	J	30 鏡が丘特別支援学校本校	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		31 鏡が丘特別支援学校分校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水曜日	K	32 浦添市産業振興センター・結の街	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
合計			46	19	13	7	10	2	0	97	384	6	2	0	2	394

※各ステーションでの予約・リクエスト受付件数と貸出・キャンセル・相互貸借等提供数を示す。

●資料購入実績【令和元年度】

令和2年3月

No	資料種別	令和元年度 予算	割合 (%)	令和元年度購入予定		令和元年度購入実績	
				平均単価 (円)※	冊(点)数	購入金額	購入 冊(点)数
1	一般書	4,392,000	48.3	1,800	2,440	4,420,007	2,348
2	児童書	1,760,000	19.3	1,600	1,100	1,750,521	1,280
3	郷土書	785,000	8.6	2,500	314	798,419	303
4	AV資料	98,000	1.1	2,600	38	91,537	30
5	YA	660,000	7.3	1,500	440	676,949	497
6	沖縄学研究室	140,000	1.5	4,000	35	138,950	22
7	雑誌	692,743	6.5	532	1,302	697,043	1,091
	(雑誌スポンサー制度)	-103,302					-
8	その他	472,257		-	-	425,050	-
	備品的資料費	9,000,000				8,998,476	5,571
9	新聞	594,000	-	-	-	602,539	26タイトル
	消耗品的資料費	594,000				602,539	
	資料費総額	9,594,000				9,601,015	

※平均単価・購入予定点数:平成30年度当館購入実績等より算出

※「8その他」は図書装備にかかる諸経費

※「備品的資料費」の割合は四捨五入の都合で合計は100%にならない

●資料購入費割振【令和2年度】

令和2年4月

No	資料種別	令和2年度 予算	割合 (%)	平均単価 (円)※	購入予定 数冊(点)	備考
1	一般書	4,401,000	48.4	1,800	2,445	
2	児童書	1,769,600	19.4	1,600	1,106	
3	郷土書	810,000	8.9	2,500	324	一般郷土・児童郷土
4	AV資料	112,000	1.2	2,800	40	音楽CD・録音図書等
5	YA	660,000	7.3	1,500	440	
6	沖縄学研究室	140,000	1.5	4,000	35	
7	雑誌	930,178	8.4	683	1,362	雑誌(購入分:767,052円) 64タイトル
	(雑誌スポンサー制度)	-163,126				R2年度雑誌スポンサー制度11タ イトル、個人スポンサー2タイト ル
8	その他	439,560		-	-	再編交付金事業市負担分を含む
	備品的資料費	9,100,000				
9	新聞	620,000	-	-	-	新聞(購入分)27タイトル
	消耗品的資料費	620,000				
	資料費総額	9,720,000				

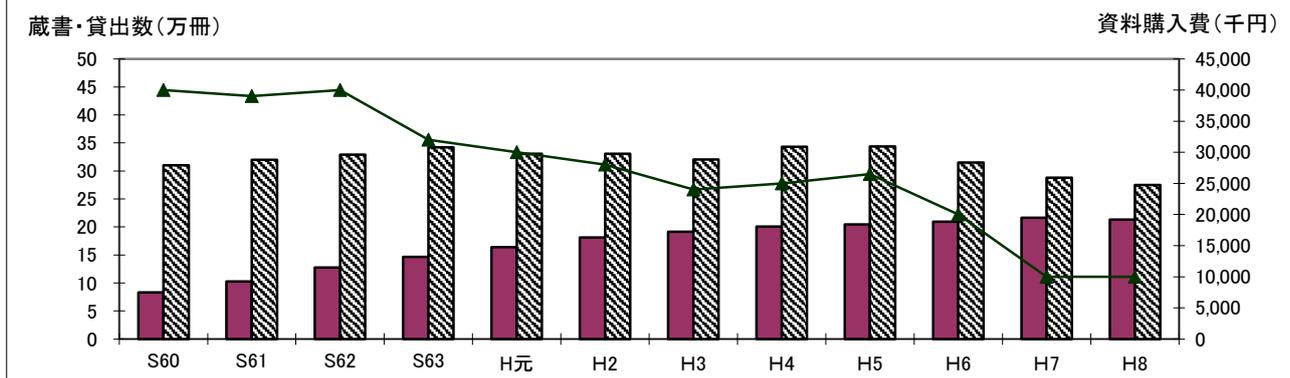
※平均単価・購入予定冊(点)数:令和元年度当館購入実績等より算出

※「8その他」は図書装備にかかる諸経費

※「備品的資料費」の割合は四捨五入の都合で合計は100%にならない

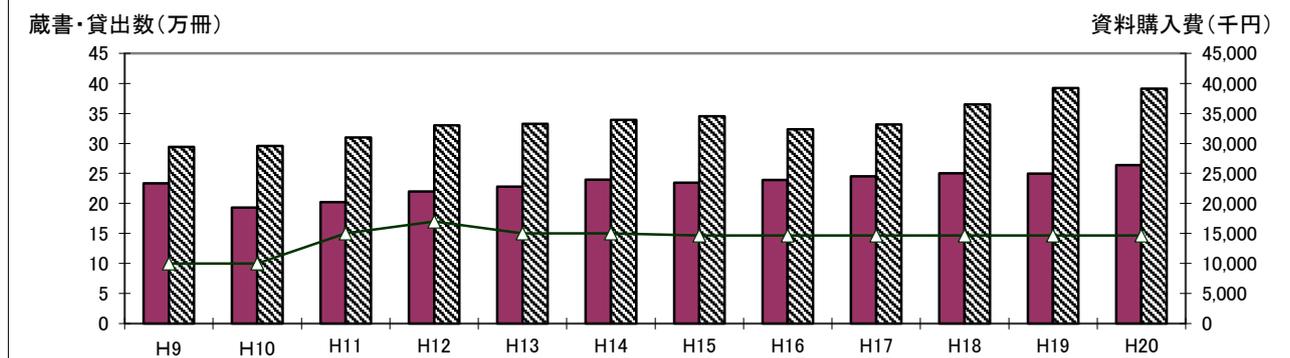
●蔵書数・貸出数・資料購入費等統計

【昭和60年度～平成8年度】



年度	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8
蔵書数(冊)	83,000	103,000	127,600	146,400	164,000	181,400	191,400	200,877	204,442	209,462	216,325	213,321
貸出数(冊) (個人・団体含む)	310,266	319,775	329,088	342,019	330,870	330,870	320,374	343,237	343,774	314,933	288,019	275,240
資料購入費 (千円)	40,000	39,035	40,000	32,000	30,000	28,000	24,000	25,000	26,500	20,000	10,000	10,000
市民1人あたり 冊数	1.00	1.20	1.46	1.66	1.84	2.00	2.08	2.14	2.16	2.18	2.22	2.16
市民1人あたり 資料購入費(円)	483	455	458	362	337	309	260	267	280	209	103	101
人口(人)	82,760	85,732	87,296	88,340	89,047	90,666	92,178	93,779	94,721	95,920	97,500	98,722

【平成9年度～平成20年度】



年度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
蔵書数(冊)	233,819	193,299	202,344	219,764	228,103	239,464	234,698	239,133	245,260	250,445	249,532	264,018
貸出数(冊) (個人・団体含む)	294,140	295,540	309,742	330,049	332,685	339,326	345,061	323,477	331,471	364,968	392,108	391,449
資料購入費 (千円)	10,000	10,000	15,000	17,000	15,000	15,000	14,650	14,650	14,650	14,650	14,650	14,650
市民1人あたり 冊数	2.23	1.90	1.96	2.11	2.18	2.27	2.21	2.23	2.27	2.30	2.28	2.39
市民1人あたり 資料購入費(円)	100	98	145	163	143	142	138	137	136	135	134	133
人口(人)	100,200	101,591	103,413	104,307	104,707	105,532	106,270	107,026	107,980	108,707	109,373	110,285

※平成12年度より資料購入費に雑誌含む。

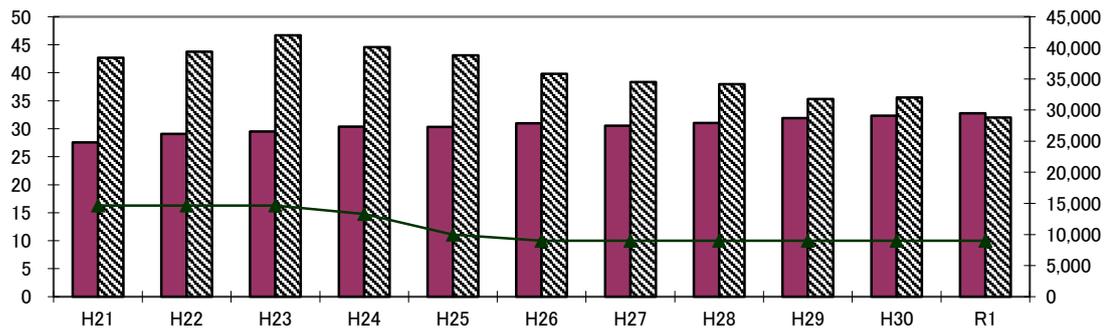
※人口は、各年度末現在。

【平成21年度～令和元年度】

蔵書数(冊) 貸出数(冊) 資料購入費

蔵書・貸出数(万冊)

資料購入費(千円)



年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
蔵書数(冊)	275,532	290,575	295,320	303,722	303,375	309,597	305,539	310,281	319,007	323,017	327,777
貸出数(冊) (個人・団体含む)	426,698	437,668	466,620	445,603	430,830	397,893	383,212	379,353	353,257	355,843	319,988
資料購入費 (千円)	14,650	14,650	14,650	13,295	10,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
市民1人あたり 冊数	2.48	2.61	2.64	2.67	2.66	2.72	2.69	2.73	2.80	2.83	2.85
市民1人あたり 資料購入費(円)	132	132	131	117	88	79	80	80	79	79	79
人口(人)	110,894	111,145	111,575	113,752	113,893	113,974	113,580	113,578	113,913	114,059	114,830

●各種過去3年比較統計

■施設利用に関すること

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度
開館日数	280	279	276	258
入館者数	163,937	157,104	149,917	127,011
1日平均入館者数	585	563	543	492
ICゲート退館時鳴動回数	813	955	884	676
自動貸出機貸出冊数	46,105	46,367	53,292	47,842
パスワード発行件数	704	489	622	501
閉館時受取ロッカー利用回数	74	91	71	42
かたりの部屋利用回数	32	45	26	21
授乳室利用回数	105	122	94	57

■BMIに関すること

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度
BM運行日数	243	238	232	228
ステーション数	32	32	32	32
うち学校	5	5	5	5
うち児童センター	2	2	2	2
利用者数	5,641	4,699	4,233	3,699
貸出冊数	27,787	24,425	21,293	18,312

■修理・弁償・督促に関すること

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度
資料修理件数	5,189	3,957	4,365	4,007
資料修理1ヶ月平均	432	330	364	334
毀損届受理件数	244	172	196	153
弁償件数	197	139	164	123
督促件数	5,293	4,607	3,672	2,252
うち1ヶ月延滞督促	2,811	2,746	2,174	1,226
うち2ヶ月延滞督促	1,080	1,033	766	558
うち3ヶ月延滞督促	545	-	-	-
うち6ヶ月延滞督促	238	271	231	165
長期延滞督促件数	619	557	501	303

■児童・YA・学校サービスに関すること

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度
児童0～12歳貸出冊数	81,866	74,529	71,641	65,381
児童書 貸出冊数	152,596	141,349	145,469	133,859
YA世代 貸出冊数	19,076	17,798	15,764	14,303
YA書 貸出冊数	15,301	15,296	16,395	15,695
集配サービス 予算	86,000	80,000	90,000	80,000
集配サービス 利用団体/集配先団体数	18/158	19/171	16/177	17/159
集配サービス 実績/回数	167	131	99	76
集配サービス 実績/金額	89,208	70,092	59,616	60,026

■団体に関すること

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度
団体登録数/団体貸出数	210/8,086	183/7,751	189/7,358	194/6,623

■資料に関すること

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度
受入図書冊数	7,720	8,119	7,123	7,379
受入図書冊数うち購入	5,602	5,887	5,674	5,571
年間除籍冊数	3,546	3,601	2,794	3,941
雑誌種数/うち購入	93/62	95/60	95/62	91/62
新聞種数/うち購入	31/27	33/29	31/27	30/26
図書等(備品購入費)平均単価(円)	1,606	1,528	1,586	1,615
不明資料件数	70	80	112	149

■予約・リクエスト・相互貸借に関すること

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度
予約件数	17,499	17,428	16,653	15,527
うち窓口受付	4,068	3,536	3,354	2,988
うちweb受付	11,567	12,192	11,791	11,243
うち館内OPAC受付	1,685	1,566	1,322	1,207
BM	179	134	186	89
うちリクエスト受付件数	678	560	554	526
うちリクエスト割合	3.87%	3.21%	3.33%	3.38%
リクエスト提供件数	購408/相214	購348/相174	購219/相238	購253/相204
相互貸借冊数	借286/貸484	借293/貸336	借410/貸411	借352/貸301
相互貸借郵送費(円)	52,968	49,549	47,201	46,987
相互貸借郵送費うち県内(円)	0	2,510	7,295	5,400
相互貸借郵送費うち県外(円)	52,968	47,039	39,906	41,587

■YA文芸賞・講演会に関すること

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度
YA文芸賞応募数	小説16/詩144	小説44/詩218	小説31/詩116	小説23/詩255
読書講演会参加人数	222	128	—	—
ビブリオバトル参加人数	—	—	23	12

●蔵書統計【令和元年度】

統計区分	単位:冊(点)			蔵書構成比
	本館	B M	全館	
一般書	161,507	1,631	163,138	50%
児童書	58,511	2,992	61,503	19%
一般郷土	41,848	184	42,032	13%
児童郷土	3,168	104	3,272	1%
AV資料	3,351	363	3,714	1%
YA	16,130	251	16,381	5%
沖縄学研究室	22,065	1	22,066	7%
雑誌	10,266	109	10,375	3%
アメリカ情報コーナー	5,281	15	5,296	2%
合計	322,127	5,650	327,777	100%

◎令和2年度 浦添市立図書館年間カレンダー◎

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

29日(水)昭和の日
30日(木)資料整理日

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

※5日(日)こどもの日は開館
3日(日)憲法記念日
4日(月)みどりの日
6日(水)憲法記念日の振替休館
7日(木)みどりの日の振替休館
29日(金)資料整理日

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

23日(日)慰霊の日
30日(火)資料整理日

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

23日(木)海の日
24日(金)スポーツの日

【開館時間】

午前9時30分～午後7時

【祝日開館日】

・こどもの日 5月5日

・文化の日 11月3日

【休館日】

<黒塗りつぶし>

・毎週月曜日

・国民の祝日及び慰霊の日(6月23日)

・年末年始

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

10日(月)山の日
11日(火)山の日の振替休館

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

※3日(日)文化の日は開館

【資料整理日】(毎月末日等)

<灰色塗りつぶし>

※末日が土・日曜日にあたる場合は平日にずらしております。

※7月、8月及び、蔵書点検の月は、資料整理日がありません。

<○印>

蔵書点検(予定)

平成32年2月2日(火)～平成32年2月12日(金)

※上記日程は、変更になる場合があります。

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

25日(金)資料整理日
29日(火)～31日(木)年末休館日

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

11日(木)建国記念の日
23日(火)天皇誕生日
2日(火)～12日(金)蔵書点検

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

23日(月)勤労感謝の日
24日(火)勤労感謝の日の振替休館
27日(金)資料整理日

20日(土)春分の日
31日(水)資料整理日

令和2年度 行事案内



ポントノチカラ～浦添市立図書館開館35周年～

浦添市立図書館年間スローガン

おはなし会

- ◇ **時間**：午前11時30分～正午 **場所**：かたりの部屋
◇ **おはなしの部屋（偶数月第2土曜日）** ※8、2月はお休み
「おはなしの木の会」による素ばなしや絵本の読み聞かせ
対象：4歳以上
- ◇ **空とぶじゅうたんおはなし会（偶数月第3日曜日）**
図書館職員による絵本の読み聞かせ
対象：どなたでも
- ◇ **にっこに赤ちゃんおはなし会（奇数月第3日曜日）**
図書館職員とボランティアによる手遊びや絵本の読み聞かせ
対象：0～2歳児とその保護者（10組 申込先着順）

出張！おはなしのたから箱

浦添市内の保育所（園）、幼稚園、学童、子育て支援センター等に図書館職員及びボランティアが、出張して「浦添・沖繩の民話」の読み聞かせ会をおこないます。内容は、地域に伝わる民話を中心に絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊び、わらべうたなどです。ぜひ、お問い合わせください。
※11/7（土）は図書館にて「おはなしのたから箱スペシャル」を開催します！

子ども読書ウィーク（4/18～5/17）

テーマ「出会えだね。とびっきりの1冊に。」

公益社団法人 読書推進運動協議会 2020年 第62回「こどもの読書週間」標榜



- ◇ **※雨天中止**
5/5（火）午前10時～午前11時 図書館前広場にて
読書月間（10/24～11/26）
- ◇ **としまる公開** ※雨天中止
11/3（火）午前10時～午前11時 図書館前広場にて
11/7（土）「まなびフェスタ浦添2020」にて公開予定

2020うらそえYA文芸表彰式&ピリオパトル

日時：11/29（日）午後2時～午後5時
場所：浦添市立図書館

夏休みイベント

- ◇ **夏休み子ども映画会**
日時：8/13（木）
午前：10時半～11時半 午後：2時～3時
場所：2階 視聴覚室
- ◇ **としまるおはなし会**
「おはなしの木の会」による絵本の読み聞かせ等
7/22（水）西原児童センター
時間：午後2時～2時30分
7/31（金）内間小学校
時間：午後1時～1時30分
8/6（木）経塚ゆいまーるセンター
時間：午後3時～3時30分
8/7（金）森の子児童センター
時間：午後3時～3時30分
- ◇ **としまるたんけん隊**
グループに分かれ、普段入ることのできない
閉架書庫やとしまるなどを探検！
日時：7/30（木）午前11時～午前11時45分
対象：小学生2年生～6年生（申込先着順）



一般向けイベント

- ◇ **暮らしに役立つ図書館 第12回**
9月開催予定 場所：2階 視聴覚室
- ◇ **アメリカ情報コーナーイベント**
◇ **英語のおはなし会** ※8、2月はお休み
日時：毎月第2火曜日 午前11時～11時30分
場所：かたりの部屋
浦添市国際交流員会による英語の絵本の読み聞かせ
- ◇ **やさしい本から読み始める英語多読**
日時：6月～11月 第1日曜日（全6回）
午前11時～正午
場所：2階 視聴覚室
X1家：英語に興味のある方、中学生以上の英語力
定員：20名（申込順）
内容：講師を招いて、多読についての講座
- ◇ **アメリカシネマ上映会**※英語音声・日本語字幕
日時：奇数月 第2日曜日 午後2時～午後4時
場所：2階 視聴覚室
※アメリカシネマ上映会…1月は成人式のため第3日曜日に変更
- ◇ **キッズ・イン・リッジ上映会**※英語音声・日本語字幕
日時：偶数月 第2日曜日 午後2時～午後4時
場所：2階 視聴覚室

※図書館の行事は全て無料です。

（一部は要申込・保険料負担あり）
※日程および内容に変更が出る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※行事の詳細は、「広報うらそえ」、当館HP
又は館内の掲示物等をご覧ください。



令和2年度 移動図書館『としまる』巡回表（令和2年4月～令和3年3月）

曜日	巡回ステーション	時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 日曜日	9. 沢庵自治会館	10:20～11:20	12	17	14	12	9	6	4	1	43※	17	14	-
	13. 県営神森団地	1:20～2:00	26	31	28	26	23	20	18	15	27※	31	28	-
	7. 県営港川団地	2:20～3:10								29※				
	22. 県営城間団地	3:30～4:20												
B 水曜日	2. 当山小学校	1:20～2:10	15	13	10	8	5	2	7	4	2	6	3	-
	3. 西原児童センター	2:30～3:10								18	16	20	17	-
	6. 前田自治会館	3:30～4:20												
C 木曜日	29. 宮城小学校	1:10～2:10	16	14	11	9	13	10	8	5	3	7	4	-
	23. 崎原自治会	2:35～3:15								19	17	21	25	-
	17. ユアサハイム	3:30～4:20												
D 金曜日	28. 内間小学校	1:00～1:50	10	8	12	10	14	11	9	13	4	15	12	-
	11. 丸大スパー 勢理客店	2:10～3:00	24	22	26	31	28	25	23		18	26(火)	26	-
	15. 屋富祖公民館	3:20～4:00												
E 土曜日	27. 県営沢庵団地	1:20～2:10	11	9	6	4	1	12	10	14	12	16	13	-
	10. 内間公民館	2:30～3:10	25	23	20	18	29	26	24	28	26	30	27	-
	26. 仲西公民館	3:30～4:20												
	4. 浦西公民館	10:20～11:20	5	10	7	5	2	13	11	8	6	10	7	-
F 日曜日	20. マチナタウン	1:20～2:00	19	24	21	19	30	27	25	22	20	24	21	-
	19. 牧港公民館	2:20～3:10												
	1. 安川団地	3:30～4:20	9	21	4	2	6	3	1	12	10	14	18	-
	14. 仲西小学校	1:30～2:20	23		18	16	20	17	29	26	24	28	21	-
G 木曜日	12. サン・アビリティーズらそえ	2:40～3:20												
	24. 経塚ゆいまーるセンター	3:40～4:20												
	25. 牧港小学校	1:10～2:00	17	1	5	3	7	4	2	6	11	8	5	-
	8. 県営経塚団地	2:20～3:10												
H 金曜日	5. 神森小学校	3:30～4:20												
	16. 城間公民館	10:20～11:20	4	2	13	11	8	5	3	21	5	9	6	-
	18. 港川自治会事務所	1:20～2:10	18	16	27	25	22	19	17	21	19	23	20	-
	21. 緑ヶ丘自治会館	2:30～3:10	14	12	9	14	-	8	13	10	8	12	9	-
J 月1回火	30. 鏡が丘特別支援学校本校	1:15～2:15	8	20	3	1	12	9	14	11	9	13	10	-
	31. 鏡が丘特別支援学校分校	2:30～3:15	22	17	17	29	26	23	28	25	23	27	24	-
K 水曜日	32. 浦添市産業振興センター・結の街	12:15～1:00												

※11月29日、12月13・27日の県営港川団地への巡回はいたしません。そのため、県営城間団地の巡回時間を2:20～3:10に変更いたします(期間については変更となる場合もございますのでご了承ください)

●年間カレンダー(開館スケジュール)に基づく為、巡回する曜日の変更もあります。

●車両の故障、悪天候、道路事情により予告なしに時間変更、または中止になる場合もありますのでご了承ください。

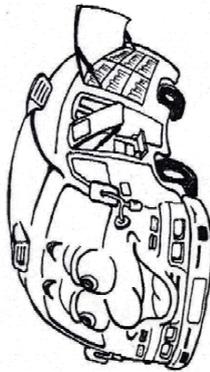
浦添市立図書館 TEL:098-876-4946

令和2年度

移動図書館

としよまる

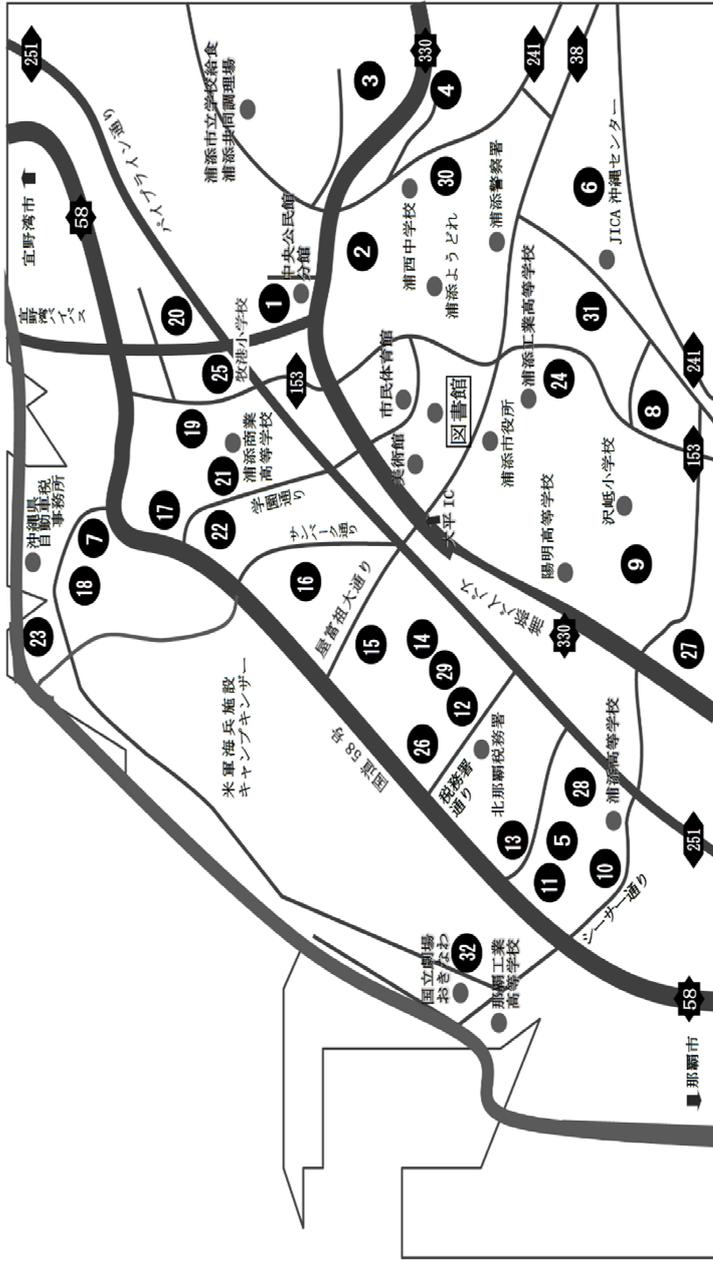
りようあんない
利用案内



- はじめの方には利用カードを発行します。
- 利用カードは浦添市立図書館でも使えます。
- 借りたい本と利用カードをいっしょに職員にお渡し下さい。
- カード1枚で図書10冊、雑誌3冊、CD2点、合計15点まで借りることができます。※貸出期間は2週間です
- 本の返却は、浦添市立図書館、各ステーションのどちらでもできます。
- 車面の故障、悪天候、道路事情により予告なしに時間変更または中止になる場合もありますのでご了承ください。

浦添市立図書館

〒901-2114 沖縄県浦添市安波茶 2-2-1
TEL 098-876-4946 FAX 098-875-1772
図書館ホームページ <http://library.city.urasoe.lg.jp>
図書館ツイッター <https://twitter.com/urasoeitylib>



- | | | | |
|-------------------------|---------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| 1 安川団地
(牧港3-30-8) | 10 内間公民館
(内間3-15-1) | 19 牧港公民館
(牧港1-4-6) | 28 内間小学校
(内間4-3-1) |
| 2 当山小学校
(当山2-34-1) | 11 丸大スーパー勢理客店
(勢理客2-9-13) | 20 マチナタウン
(牧港4-1-15) | 29 宮城小学校
(宮城3-7-3) |
| 3 西原児童センター
(西原4-9-1) | 12 サン・アピリティーズ
うらそえ(宮城4-11-1) | 21 緑ヶ丘自治会館
(港川1-6-8) | 30 鏡が丘特別支援学校本校
(当山3-2-7) |
| 4 浦西公民館
(西原6-22-1) | 13 県営神森団地
(仲西3-11-6) | 22 県営城間団地
(城間4-36) | 31 鏡が丘特別支援学校分校
(経塚715) |
| 5 神森小学校
(勢理客1-4-1) | 14 仲西小学校
(屋富祖2-32-1) | 23 嶺原自治会
(港川1577-4) | 32 浦添市産業振興センター
結の街(勢理客4-13-1) |
| 6 前田自治会館
(前田1-28-7) | 15 屋富祖公民館
(屋富祖3-1-1) | 24 経塚ゆいまーるセンター
(経塚1-17-1) | |
| 7 県営港川団地
(港川458-1) | 16 城間公民館
(城間1-9-1) | 25 牧港小学校
(牧港2-14-1) | |
| 8 県営経塚団地
(経塚560) | 17 ユアサハイム
(港川12-22-6) | 26 仲西公民館
(仲西1-3-11) | |
| 9 沢岫自治会館
(沢岫1-31-1) | 18 港川自治会事務所
(港川326) | 27 県営沢岫団地
(沢岫2-18-1) | |

●移動図書館(としまる)貸出風景



県営経塚団地



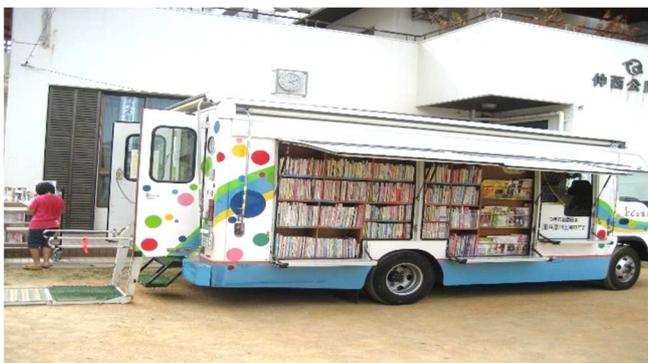
沢岬自治会館



経塚ゆいまーるセンター



西原児童センター



仲西公民館



県営沢岬団地



浦西公民館



ユアサハイム

●移動図書館（としまる）の運営基準

1. 趣旨

- ①図書館から遠い地域に居住する市民に対し、図書館サービスを行う。
- ②図書館からそう遠くないものの、河川、幹線道路、その他の障害物等によって時間的、あるいは心理的な距離が隔たっている市民に図書館サービスを保証する。
- ③身体の障がい、高齢、その他の事情により図書館を訪れることのできない市民に図書館サービスを保証する。
- ④分館の暫定的代替としての役割をはたしつつ、将来へ向けて図書館ネットワークの完成を目指す。

2. 方針

- ①図書館全体の奉仕計画に沿って、移動図書館の運営計画を立てる。
- ②移動図書館サービスは本館と同様とし、差異のないようにする。
- ③貸出サービスを中心にして、図書館の仕事と役割を直接利用体験を通じ、広く利用者に理解してもらう。

3. ステーションの設置基準

- ①本館から概ね1 km以上離れた場所を原則とする。
- ②既存ステーションから距離が0.5 km以上離れた場所を原則とする。
- ③その他、所属長が必要と認めた場所。

4. ステーションの設定条件

- ①人口集中度を考慮し、多数市民の利用が見込まれる場所。
- ②移動図書館車の運行、供用に支障のない場所。
- ③利用者の安全が保たれ、かつ、業務が余裕を持って行える場所。
- ④定期的巡回供用に支障のない場所。
- ⑤地域においてある一定度の合意形成が得られた場所。
- ⑥公的機関においては所属長による承認が得られた場所。

5. 設置場所の廃止・変更

- ①分館等図書館施設が設置され、その利用圏内に含まれた場所。
- ②利用が極端に減少した場所。
- ③ステーションの設置条件各項に該当しなくなった場所。
- ④その他、利用上又は運営上廃止の必要を所属長が認めた場合。

●学校連携

市立図書館と市内小・中学校と連携・協力をを行い、教育現場で必要な情報・資料提供の迅速化を図り、浦添市内の子どもの豊かな読書環境が育まれることを目的としている。

【内 容】

市立図書館では、市内小・中学校図書館がよりよいサービスを展開できるよう、学校図書館に対して次のサービスを実施している。

○浦添市図書館総合蔵書検索システム

市立図書館の蔵書を管理するサーバーに学校図書館の所蔵データを取り込む事により、市の図書資源の共有化を図る。市立図書館と学校図書館等類似機関の異なる蔵書管理システムのデータベース構造が共有化され、市立図書館のホームページや館内 OPAC から、市内小・中学校図書館の蔵書が検索することができる。

○学校レファレンス・団体貸出・図書集配サービス

学校からの団体貸出要望資料に関し、市立図書館の予算で集配サービスを実施している。

●JICA 沖縄連携

平成 24(2012)年 2 月 7 日(火)浦添市前田に所在する JICA 沖縄(旧:JICA 沖縄国際センター)と浦添市教育委員会の間で連携協力に関する協定が締結された。本協定は両者の所蔵資料等の有効かつ効率的な活用を図り、地域の振興ならびに浦添市が掲げる「国際性ゆたかな文化都市」の実現に寄与することを目的としている。

(1) 掲示・広報活動

- ・浦添市立図書館多文化コーナーに JICA 沖縄の掲示スペースを設置し、定期的にお知らせを掲示。
- ・市立図書館 HP にコーナーをつくり、常時お知らせを掲示。

(2) 相互貸借【令和元年度】

- ・JICA 沖縄図書資料室と浦添市立図書館の間で図書資料を中心に相互貸借を行う。

借受		貸出	
件数	冊数	件数	冊数
0	0	23	199

(3) 連携行事【令和元年度】

No	開催期日	内 容	参加人数
1	7 月 27 日 (土)	外国語絵本を作ろう(JICA 沖縄共同企画) JICA 研修員とパートナー組んで、お互いの母国語を教え合いながら絵本をつくる	9 名
2	8 月 1 日 (木)	夏休み一日図書館(JICA 沖縄共同企画) 市内の各小学校から集まった児童による、浦添市立図書館と JICA 沖縄図書資料室でのお仕事体験	4 名
3	2 月 16 日 (日)	おはなし会スタンプラリー「SDGs 14海の豊かさを守ろう」(JICA 沖縄共同企画) 県内各館が「SDGs」をテーマにおはなし会を開催し、参加した方は各館にてスタンプをもらう 『かりゆしの海』 まついのりこ//脚本・画 童心社 紙芝居 他	22 名

●雑誌スポンサー制度（寄贈提供）

雑誌のスポンサーを募集・活用することで新たな財源を確保し、図書館資料等の充実を図る目的で、平成25年度より雑誌スポンサー制度を導入している。

雑誌スポンサー制度とは、図書館で購読する雑誌の購入費用を負担していただき、提供雑誌の表紙にスポンサー名を掲載できる制度である。

県内で初めての制度であることから、平成24年10月から同制度の検討を始め、運営要領の制定、制度の広報活動等を行い、平成25年4月からの実施にいたった。

令和2年度は随時募集とし、現在雑誌スポンサーとして10事業所、11誌のご協力をいただいている。

(令和2年8月現在)

令和2年

令和2年度 雑誌スポンサー一覧（申込順、敬称略）

No	雑誌スポンサー名	提供雑誌名	金額
1	有限会社 かわばた不動産	旅の手帖	¥7,800
2	医療法人 大平会	文藝春秋	¥11,520
3		碁ワールド	¥11,880
4	株式会社 翁長設計	暮らしの手帖	¥5,988
5	手作りパンの店 モンプチブーランジュリー	クーヨン	¥10,560
6	稲嶺皮膚科医療法人 緑山会 かみやま皮フ科	週刊文春	¥22,000
7	稲嶺皮膚科	子供の科学	¥9,240
8	株式会社 国建	カーサブルータス	¥11,880
9	医療法人 エイチ・エス・アール 名嘉村クリニック	サンデー毎日	¥19,600
10	株式会社 沖縄科学 AV センター	Newton	¥13,068
11	株式会社 オーシーシー	週刊朝日	¥20,090
合 計			¥143,626

※雑誌スポンサー制度の実績

年 度	事業所数	提供誌数	金 額
令和元年度	12	13	¥103,302
30年度	9	11	¥77,220
29年度	11	13	¥102,134
28年度	12	13	¥109,812
27年度	14	15	¥126,132
26年度	14	14	¥119,963
25年度	10	10	¥100,000

●うらそえYA文芸賞

平成4(1992)年4月1日(水)、浦添市立図書館では、YA(ヤングアダルト)世代に十分な読書サービスを提供するため、県内初のYA(ワイエー)コーナーを開設した。

また浦添市が平成20年度に掲げた「浦添市子どもの読書活動推進計画」策定を踏まえ、「大人でもなく子どもでもない、自我に目覚めるこの世代の方々に、より適切な本を手渡したい」(浦添市子どもの読書活動推進計画より抜粋)との思いを具体的に実践すべく、平成21年度よりYA世代に対して、読書活動推進のキャンペーンを行うにあたり、「うらそえYA(ワイエー)文芸賞」を創設した。

この取り組みは、利用が伸び悩んでいるこの世代の読書意欲を刺激し、図書館をより身近な存在として感じてもらい、読書に対する好奇心を促すことを目的としている。

(1) 作品の種類及びテーマ

・短編小説部門

テーマ:浦添・図書館(読書)・その他自由

・詩部門

テーマ:浦添・図書館(読書)・その他自由

(2) 各賞

煌(きらめき)賞・輝(かがやき)賞・審査員特別賞・浦添市立図書館長賞(賞に漏れたが、特に優秀な作品に該当する場合に設ける)

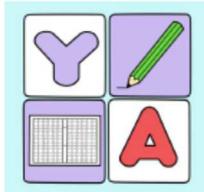
(各部門1編ずつ)

(3) 応募資格

- ・浦添市、那覇市、宜野湾市、西原町に在住、在勤、在学であること
- ・YA世代であること(当館では中学生(13歳)から大学生(22歳)をさす)

2020 ワイエー うらそえYA文芸賞作品募集!

主催：浦添市立図書館



あなたの作品が手にのびるよ!

歴史小説からファンタジーまで、個性あふれる作品持って来よう!

YA&YAコーナー・ワイエー

◆ 趣 意

浦添市立図書館では、平成4年に、県内初のYA(ワイエー)コーナーを設け、中学生から大学生をYA世代と位置づけ、その世代を重視したサービスに努めて参りました。そこで、この世代の文学活動や読書活動を盛り上げ、「才能発掘」の場を提供するため、YA世代の文芸作品を募集いたします。

短編小説の部

400字超原稿用紙
15枚以上20枚以内
(8,000~8,000字)

詩の部

400字超原稿用紙
5枚以内
(2,000字以内)

テーマ

「浦添」
「図書館(読書)」
「テーマ自由」

入賞作品

- ◆煌(きらめき)賞・・・浦添市長賞に相当
- ◆輝(かがやき)賞・・・浦添市教育長賞に相当
- ◆審査員特別賞

※入賞者には文書でお知らせすると共に、浦添市立図書館ホームページなどで公表します。
※入賞者には副賞を授与します。
※入賞作品は製本し、当館蔵書に所蔵するほか、市内および近隣市町村内中学校(中学・高校・大学)、県内公立図書館等へ配布します。
※入賞作品はうらそえ文芸賞誌に掲載されます。

応募期間:2020年6月2日(火)~8月30日(日)

お問い合わせ・応募先/浦添市立図書館 〒901-2114 浦添市安波茶 2-2-1
TEL: 098-876-4946/FAX: 098-875-1772
http://library.city.urasono.jp/ Eメールアドレス: tosyokan@city.urasono.lg.jp

2020 うらそえ YA 文芸賞作品募集事項

応募期間 2020年6月2日(火)~2020年8月30日(日) ※当日消込有効

応募資格 ①浦添市・那覇市・宜野湾市・西原町に在住・在勤・在学であること。
②YA世代であること(中学生~大学生・15歳~22歳まで)

応募規定 【短編小説部門】 400字超の原稿用紙 15枚以上~20枚以内 (8,000~8,000文字以内)。
【詩部門】 400字超の原稿用紙 5枚以内 (2,000文字以内)。
応募作品は、400字超原稿用紙の縦書きを使用いたします。作品にはページ数を入れてください。字書きの場合、黒色のペンを使用し、鉛筆は使用しないでください。パソコン等を使用する場合は、A4 縦横向き 1 枚あたり 20 行 × 20 行で、縦書きを原則とし、ページ数を入れてください。
※赤字・鉛字がある場合は、黒線で訂正する場合があります。
※原稿は平書き、もしくはワープロ原稿でお届けください。(縦書き原稿も、郵送不可)
※原稿用紙には必ず「本文のみ」(表紙、学校名等)の応募用紙に併記し、原稿用紙に記入しないでください
※応募作品は、自作未発表のものに限ります。応募作品は返却いたしません。
※応募作品は各部門1人1作品までとなっております。
※応募作品の返却は、浦添市立図書館に掲載します。

応募方法 かならず下記の応募用紙を作品に添付し、応募すること。
【個人】応募用紙に必ず、作品タイトル・テーマ・住所・性別・年齢・所属・電話番号・メールアドレス・学校名(学生の場合)を明記し、宛先欄に署名の上、ご応募ください。
※個人情報の取り扱いについて
応募にあたりお知らせしたい住所、性別、その他の個人情報は、文書等において、本文裏面の署名、本人および所属校への連絡、本文裏面裏面参加者の掲載に利用いたします。お知らせしない個人情報は第三者に提供することはありません。

応募先 〒901-2114 浦添市安波茶 2-2-1 浦添市立図書館 2020 うらそえYA文芸賞係
※開館中(9:30~18:00)に郵送、もしくは送付 ※月曜日は休館

審査員 審査員長 又原実希 (芥川賞作家・市内在住) 審査員 南ふう (ものかき・市内在住)
審査員 トーマヒロコ (詩人・市内在住) 審査員 浦添市教育委員会事務局
※1次審査は浦添市立図書館職員、校長にて行います。

発表 10月中旬に入賞者には文書でお知らせすると共に、浦添市立図書館ホームページなどで公表します。
発表日 2020年11月29日(日) 場所/浦添市立図書館

2020うらそえYA文芸賞 応募用紙・応募作品に関する誓約書

受付日: 受付職員:

応募部門	短編小説部門	詩部門
作品タイトル	テーマ	浦添・図書館(読書)・自由
氏名	ふみぎな	
性別	男・女	年齢
住所	学年	学生・社会人
自宅住所	〒	
連絡先(自宅・携帯)	メールアドレス	年 組
学校名	学年・組	

※応募作品は実写のオリジナル作品である はい・いいえ
他の作品からの引用は ない・ある 引用元記号
※別の作品に引用・転載・マナー・加工・改題・片づけ・改題(数行書き)の意図をします。
※応募作品の発表、WEBへの掲載権、その他二次利用権限などの権利は、主催者である浦添市立図書館に移譲いたします。

私は上記事項に関して間違いのないことを誓約いたします。

受付 No. _____
2020年 月 日 氏名 _____

●催し物【令和元年度】

(1) 読書月間・子ども読書週間

開催期間	名称(テーマ)	場所	備考
4月20日(土)～5月19日(日)	「ドは読書のド♪」	児童室、おはなしコーナー	子ども読書週間
5月5日(土)	としよまる公開	浦添市立図書館 正面玄関前	子ども読書週間
10月25日(金)～11月28日(木)	「my book my life～人生には本が欠かせない～」	エントランスホール	読書月間

(2) 読書案内

開催期間	名称(テーマ)	場所	備考
4月20日(土)～5月19日(日)	「りっかりっかとしよかん」	児童室おはなしコーナー、エントランスホール	資料展示・貸出
4月9日(火)～5月12日(日)	「こどもの日&母の日」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
5月9日(木)～5月31日(金)	「ようこそ令和、さようなら平成」	エントランスホール	一般スポット企画 資料展示・貸出
5月10日(金)～5月31日(金)	「Whether」	エントランスホール	一般スポット企画 資料展示・貸出
6月1日(土)～6月27日(木)	「令和、平和」	エントランスホール	資料展示・貸出
5月24日(金)～6月27日(木)	「父の日&雨のお話&むし菌のお話」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
6月25日(火)～7月7日(日)	「たなばた」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
6月29日(土)～9月1日(日)	「2019 夏ひんやり特集」	エントランスホール	一般スポット企画 資料展示・貸出
6月29日(土)～9月1日(日)	「YA夏休み企画」	エントランスホール	スポット企画 資料展示・貸出
6月29日(土)～9月1日(日)	「課題図書・指定図書・自由研究」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
7月6日(土)～10月20日(日)	組踊上演 300年パネル展	児童室、エントランスホール	国立劇場おきなわパネル展、関連資料展示・貸出
8月20日(火)～9月1日(日)	絵本作家 sava とおきなわのえほん	児童室 児童郷土書架	児童郷土スポット企画 資料展示・貸出
9月1日(日)～9月29日(日)	第11回暮らしに役立つ図書館講座 「古い支度-相続・遺言、尊厳死宣言」	エントランスホール	一般スポット企画 資料展示・貸出
9月3日(火)～9月29日(日)	動物愛護週間&猫について	エントランスホール	一般スポット企画 資料展示・貸出
9月6日(金)～9月26日(木)	「おじいちゃんおばあちゃんだいすき～敬老の日～」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
9月10日(火)～9月25日(水)	「健康増進普及月間」	エントランスホール	一般スポット企画 資料展示・貸出
9月11日(水)～10月13日(日)	「朗読CD特集～読書の秋 聴く読書～」	AVコーナー	AVスポット企画 資料展示・貸出

9月28日(土)～10月30日(水)	「PARTY★PARTY 2019」	エントランスホール	各資料担当合同企画 資料展示・貸出
9月28日(土)～10月30日(水)	「ハロウィン」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
11月1日(金)～12月8日(日)	「ビブリオバトル企画」	エントランスホール	スポット企画 資料展示・貸出
11月22日(金)～12月22日(日)	「12月1日は映画の日！ シネマミュージック特集」	AVコーナー	AVスポット企画 資料展示・貸出
11月30日(土)～1月12日(日)	「ゆく年 くる年」	エントランスホール	一般スポット企画 資料展示・貸出
11月30日(土)～12月26日(木)	「メリークリスマス」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
12月5日(木)～12月26日(木)	「Happy X'mas クリスマスソング特集」	AVコーナー	AVスポット企画 資料展示・貸出
1月14日(火)～1月30日(木)	「令和初のお正月★紅白 の本特集」	エントランスホール	各資料担当合同企画 資料展示・貸出
12月25日(水)～1月12日(日)	「おしょうがつ」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
1月17日(金)～2月2日(日)	「ふくはうち おにはそと」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
1月14日(火)～3月1日(日)	「スイーツ&バレンタイン 特集」	エントランスホール	一般スポット企画 資料展示・貸出
2月15日(土)～3月8日(日)	「ひなまつり」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
3月3日(火)～3月17日(火)	「心の健康パネル展」	エントランスホール	一般スポット企画 資料展示・貸出
3月3日(火)～4月28日(火)	「新生活応援特集」	エントランスホール	一般スポット企画 資料展示・貸出
3月17日(火)～4月28日(金)	「春、桜、入学式特集」	AVコーナー	AVスポット企画 資料展示・貸出
3月17日(火)～4月28日(火)	「はる、あたらしいこといっ ぱい！」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出

(3) Pick-Up

従来より季節のイベントや時宜に応じて読書案内を実施しているが、それらにさらに新鮮味をもたせ一早く利用者にお届けすることを目的として、平成30年1月より、Pick-Upコーナーを新設した。各資料には帯等を貼り、エントランス等にどのような経緯で当該本を取り上げたかを簡潔に表記するようにしている。

展示日	名称(テーマ)	備考
4月2日	新元号「令和(れいわ)」	新元号発表により。
4月3日	出張！おはなしのたから箱 (浜下り・海の絵本)	出張！おはなしのたから箱 4/2 受付開始にあわせて
4月10日	本屋大賞	本屋大賞発表により。
4月10日	新貨幣の人たち	新貨幣デザイン発表により。
4月10日	追悼 宮里 政玄	氏、逝去により。

4月26日	新館長、上里 隆史	H31年4月、浦添市立図書館第14代館長就任
5月21日	レオナルド・ダ・ビンチ	没後500年(1519年5月)
5月21日	沖縄本土復帰	祖国復帰より。
6月11日	追悼 田辺 聖子	氏、逝去により。
6月29日	月面着陸50周年	月面着陸して50年目を記念して
7月20日	魔法の美術館	浦添市美術館企画と連動。
9月4日	ノンフィクション本大賞、ノミネート作決定！！	本屋大賞ノミネート作決定にあわせて。
9月6日	追悼 池内 紀	氏、逝去により。
10月28日	ゆいレール、浦添へ！	10/1モノレール延伸により。
10月1日	浦添の戦(いくさ)跡	10/15浦添市戦没者追悼式
10月4日	消費税10%到来！！	10月1日より増税のため。
10月8日	がんばれ！！ニッポン！ラグビーW杯快進撃	W杯日本開催並びに日本快進撃を受けて。
10月8日	ノーベル賞ウイーク	ノーベル賞発表並びに化学賞日本人受賞により。
10月18日	松本清張賞作家らが『沖縄の歴史をかたる』(浦添市政50周年記念プレトークショー企画)	登壇者著作紹介(滝沢志郎、川越宗一、上里隆史)
11月1日	首里城	10/31首里城火災をうけて。
11月1日	出張！おはなしのたから箱	おはなしのたから箱スペシャル2019 沖縄・浦添のはなし開催にあわせて。
12月8日	ビブリオバトル関連(中学校実施)	2019 うらそえYA文芸賞&ビブリオバトル開催にあわせて。
11月30日	てだこのまちを歩こう！	2020 てだこウォーク関連
12月17日	追悼 中村 哲	氏、逝去により。
12月17日	癒し★ホッとSPOT	年末の慌ただしい季節にホッと一息。
12月28日	ブラタモリ新春スペシャル、浦添に！	番組OA(1/1)により。
1月17日	芥川賞・直木賞	賞受賞発表にともなう。
1月28日	本屋大賞	ノミネート作発表にともなう。
1月28日	感染症対策	新型コロナウイルス感染拡大による
2月15日	追悼 野村 克也	氏、逝去により。
2月19日	追悼 前田 考允	氏、逝去により。
2月20日	レオ・レオニ展	県立博物館での開催に伴って。

2月26日	第15回三好達治賞 佐藤モニカ・与那覇幹夫	賞受賞発表により。
3月17日	防災を考える～東日本大震災から9年～	3.11から9年を迎えることによる。

(4) ビブリオバトル (敬称略)

開催期日	講演内容	講師	場所	参加人数
12月8日(日)	令和元年度浦添市立図書館 ビブリオバトル	山口真也	2階視聴覚室	12名

(5) 講習会 (敬称略)

開催期日	講習内容	講師	場所	参加人数
9月20日(金)	第11回 暮らしに役立つ図書館 「老い支度-相続・遺言、尊厳死宣言」	平良 晶	2階視聴覚室	25名

(6) その他イベント (敬称略)

開催期日	内容	場所	参加人数	備考
8月1日(木)	一日図書館員 (JICA 沖縄共同企画)	浦添市立図書館内 JICA 沖縄	4名	夏休み行事
8月7日(水)	としょかんたんけん隊	浦添市立図書館内 としょまる	12名	夏休み行事

開催期日	内容	講師	場所	参加人数
11月2日(土)	おはなしのたから箱スペシャル 2019 沖縄・浦添のはなし	赤嶺 なをみ	児童室 かたりの部屋	23名

開催期日	内容	講師	場所	参加人数
11月24日(土)	松本清張賞作家らが「沖縄の歴史を語る」(浦添市市制50周年記念プレトークショー)	滝沢志郎、川越宗一、 上里隆史	ハーモニーセンター	114名

(7) 沖縄学講座 (敬称略)

テーマ:「琉球沖縄史像を検証する」 場所:2階視聴覚室

回	開催期日	内容	講師	参加人数
1	6月8日(土)	琉球の国家・社会像の見直し —権力・絵図・民衆—	豊見山 和行 (琉球大学人文社会学部教授)	67名
2	6月22日(土)	いま、琉球併合を考える —東アジア史の視点から—	波平 恒男 (琉球大学人文社会学部教授)	67名
3	6月29日(土)	なぜ『茶と琉球人』を書いたのか? —琉球沖縄史を見る眼—	武井 弘一 (琉球大学国際地域創造学部准教授)	71名

(8) 沖縄学研究室関連企画展

開催期日	名称 (テーマ)	場 所	備 考
4月27日(土)～6月30日(日)	平成31年度沖縄学講座関連企画「沖縄学研究室貴重資料展」	2階エレベーターホール	沖縄学講座に合わせて浦添の文化財写真パネルや実物資料および関連書籍を展示。
7月2日(火)～8月31日(土)	「琉球切手・沖縄の切手」展	2階エレベーターホール	復帰前に発行された琉球切手および郵便はがきや浦添に関する切手を紹介。
9月1日(日)～10月27日(日)	「又吉栄喜展」	2階エレベーターホール	『仏陀の小石』、短編集『ジョージが射殺した猪』、韓国語翻訳『豚の報い』刊行記念。
10月30日(水)～11月29日(金)	「うらそえの移民」展	2階エレベーターホール	「10.30 世界のウチナーンチュの日」関連企画展。『浦添市移民史』を編集・発行する際に収集および寄贈された資料を紹介。
11月30日(土)～12月28日(土)	沖縄学研究室所蔵貴重資料紹介①「琉球三省并三十六嶋之圖」	2階エレベーターホール	寛政3年写しと復刻版の2点を紹介。
1月5日(日)～2月2日(日)	沖縄学研究室所蔵貴重資料紹介②「伊波普猷関係資料」展	2階エレベーターホール	『古琉球』の初版本や伊波から柳田に宛てた直筆の年賀状等を紹介。
2月15日(土)～3月29日(日)	沖縄学研究室所蔵貴重資料紹介③『沖縄ことわざかるた』展	2階エレベーターホール	1975年に月刊沖縄社から発行された『沖縄ことわざかるた』の読み札と絵札を全て展示。

●映画会【令和元年度】

図書館と利用者の結びつきを目的に名作映画を上映している。

◆ 夏休み子ども映画会 午後1時30分～午後2時 2階視聴覚室にて

開催期日	内 容	参加人数
7月25日(木)	「いやだいやだ・にんじん・はんしろうがねらってる・ちいさなたまねぎさん」	16名
8月8日(木)	「とうふこぞう・ゆうれいのたまご・ばけものづかい」	35名

合計:51名

●おはなしの部屋【令和元年度】

語り聞かせ(ストーリーテリング)の機会をもつことで、子どもたちの聞く力と想像力を豊かに育て、お話を聞く楽しさや素晴らしさを伝える。

偶数月第2土曜日 午前11時30分～正午 かたりの部屋にて 読み手:おはなしの木の家

(敬称略)

実施日	内 容		担当者	参加者数
4/13 (土)	<p>テーマ◇「はるのおはなし」</p> <p>『ぼくにげちゃうよ』 マーガレット・W・ブラウン/作 クメントハード/絵 いわたみみ/訳 ほるぶ出版</p> <p>『そらいろのたね』 なかがわりえこ/作 おおむらゆりこ/絵 福音館書店</p> <p>『二ひきのこぐま』 イーラ/作 松岡享子/絵 こぐま社</p>	<p>人形</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	古謝	6名
6/8 (土)	<p>テーマ◇「雨のおはなし」</p> <p>かたつむり (折り紙) 韓国の詩</p> <p>『まりーちゃんとおおあめ』 フランソワーズ/作・絵 福音館書店</p> <p>『ちいちゃいちいちゃい』 イギリスとアイルランドの昔話より 石井桃子/編・訳 J.D.ハットン/絵 福音館書店</p> <p>『かえるのつなひき』 儀間比呂志/作・絵 福音館書店</p>	<p>詩</p> <p>絵本</p> <p>素話</p> <p>絵本</p>	古謝	4名
10/12 (土)	<p>テーマ◇「あきのおはなし」</p> <p>くまもんのおでかけ</p> <p>『マーシャとくま』 M・プラトフ/再話 E・ラチョフ/絵 福音館書店</p> <p>『二ほんのかきのき』 熊谷元一/作・絵 福音館書店</p> <p>『ぶどう畑のアオさん』 馬場のぼる/作・絵 こぐま社</p>	<p>素話(人形)</p> <p>素話</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	古謝	12名
12/14 (土)	<p>テーマ◇「ふゆのおはなし」</p> <p>『やまのこもりうた こぐまきょうこ』 のはらうた1より くどうなおこ/作 童話屋</p> <p>『金いろとさかのおんどり』 おはなしのろうそく3より 東京子ども図書館/編 東京子ども図書館</p> <p>『とんとんとめてくださいな』 こいでたん/文 こいでやすこ/絵 福音館書店</p> <p>『くんちゃんのだいいりょこう』 トロシー・マリノ/作・絵 岩波書店</p>	<p>指人形</p> <p>素話</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	古謝	9名

合計:31名
平均:約8名

●空とぶじゅうたんおはなし会【令和元年度】

読み聞かせや手あそびなどとおして図書に親しみを持たせ、子どもたちに読書の楽しさや素晴らしさを知ってもらおう。

偶数月第3日曜日 午前11時30分～正午 かたりの部屋にて 読み手:当館職員

実施日	内 容	参加者数	
4/21 (日)	<p>テーマ◇「ドは読書のド」</p> <p>はじまるよ</p> <p>『ドレミのうた』</p> <p>『寿限無』 斎藤孝/文 工藤リコ/絵 ほるぷ社</p> <p>ちょきちょきダンス</p> <p>『へんしんレストラン』 あきやまただし/作絵 金の星社</p> <p>『あがりめさがりめ』 とよたかずひこ 世界文化社</p>	<p>手遊び</p> <p>エプロンシアター</p> <p>絵本</p> <p>手遊び</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	6名
6/16 (日)	<p>テーマ◇「平和への祈り」</p> <p>『パパだいすき』 セバスチャン・ブラウン/作・絵 徳間書店</p> <p>『絵本 ひめゆり』 ひめゆり平和祈念資料館/文 三田圭介/絵 沖縄県女師・一高 女ひめゆり平和祈念財団 ひめゆり平和祈念資料館</p> <p>おりがみ(折鶴)</p>	<p>絵本</p> <p>絵本</p> <p>折紙</p>	8名
10/20 (日)	<p>テーマ◇「ハロウィン」</p> <p>はじまるよ</p> <p>『プリンちゃんのハロウィン』 なかがわちひろ/文 たかおゆうこ/絵 理論社</p> <p>1びきおばけ</p> <p>『しゃっくりがいこつ』 マージェリーカイラー/作 S.D.シンドラー/絵 セーラー出版</p> <p>『ハッピーハロウィン』 新井洋行/作・絵 講談社</p>	<p>手遊び</p> <p>絵本</p> <p>手遊び</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	6名
12/15 (日)	<p>テーマ◇「クリスマスのおはなし」</p> <p>ひげじいさん</p> <p>『100人のサンタクロース』 谷口智則/作・絵 文溪堂</p> <p>『なぜ、クリスマスツリーをかざるの?』 岩倉千春/脚本 アリマジュンコ/絵 童心社</p> <p>クリスマスクイズ</p> <p>『ぴよこたんのなぞなぞサンタクロース』 このみひかる/作・絵 あかね書房</p> <p>『7ひきこぐまのクリスマス』 たかはしかおり/作・絵 ひさかたチャイルド</p> <p>おりがみ(サンタクロース)</p>	<p>手遊び</p> <p>絵本</p> <p>紙芝居</p> <p>クイズ</p> <p>絵本</p> <p>折紙</p>	12名

2/16 (日)	テーマ◇「SDGs 14.海の豊かさを守ろう」 『かりゆしのうみ』 まついのりこ/脚本・画 童心社 手話「うみ」 『ウミガメものがたり』 鈴木まもる/作・絵 童心社 『うまれたよ！クマノミ』 大方洋二/写真・文 岩崎書店 スタンプラリー押印	紙芝居 手話 資料 資料 スタンプ	22名
-------------	---	-------------------------------	-----

合計:54名
平均:10名

●にこにこ赤ちゃんおはなし会【令和元年度】

おはなし会を通して、絵本を読むことの楽しさや大切さに触れ、赤ちゃんの心と体が豊かに育つよう絵本を開く“きっかけ”を作る。また、絵本を介して親子の触れ合いを高め、読み聞かせの仕方を伝えることにより、親に本と出会う機会を提供する。

奇数月第3日曜日 午前11時30分～正午 かたりの部屋にて 定員:親子10組

※9月開催のみ館外でのおはなし会(市保健相談センター2階ロビー 午後2時～2時30分)

読み手:読み聞かせボランティア・当館職員

(敬称略)

実施日	内 容		担当者	参加者数
5/19 (日)	コロコロたまご 『かくれんぼ』 『たべものだーれ』 よねづゆうすけ/作 講談社 いっぱんばしこちよこちよ(宮古 Ver./八重山 Ver.) 『こちよこちよさん』 おーなり由子/文 はたこうしろう/作 講談社 だんごだんごくっついた 『ぴょーん』 まつおかたつひで/作 ポプラ社 こぶたたぬききつねねこ/おはながわらった さよならあんころもち	手遊び エプロンシアター 絵本 手遊び 絵本 手遊び 絵本 手袋人形 絵本	恩河	14名
7/21 (日)	コロコロたまご 『いぬのおまわりさん』 『だるまさんの』 かがくいひろし/作 ブロンズ新社 てをたたきましよう 『どうぶついろいろかくれんぼ』 いしかわこうじ/作・絵 ポプラ社 こぶたたぬききつねねこ 『くっついた』 三浦太郎/作・絵 こぐま社 さよならあんころもち	手遊び パネルシアター 絵本 手遊び 絵本 手袋人形 紙芝居 手遊び	山口	23名
9/1 (日) (館外)	コロコロたまご てをたたきましよう 『なーんだなんだ』 カズコ G.ストーン/作 童心社	手遊び 歌 絵本	稲福	19名

	あたまかたひざぼん 『だるまさんが』 かがくいひろし/作 ブロンズ新社 こぶたたぬききつねねこ 『いないいないばああそび』 きむらゆういち/作 偕成社 さよならあんころもち	手遊び 大型絵本 手袋人形 絵本 手遊び		
11/17 (日)	コロコロたまご 『いぬのおまわりさん』 『たべものだーれ?』 よねづゆうすけ/作 講談社 いっぼんばしこちよこちよ 『だるまさんの』 かがくいひろし/作 ブロンズ新社 こぶたたぬききつねねこ 『くっついた』 三浦太郎/作・絵 こぐま社 さよならあんころもち	手遊び パネルアター 絵本 手遊び 絵本 手袋人形 絵本 手遊び	稲福	19名
1/19 (日)	コロコロたまご こぶたたぬききつねねこ 『おおきくおおきくおおきなあれ』 まついのりこ/脚本・画 童心社 いい正月や (うちなーぐち手遊び) 『ぱかっ』 森あさ子/作 ポプラ社 おもちぺったんこ 『ぴょーん』 まつおかたつひで/作・絵 ポプラ社 さよならあんころもち	手遊び 手袋人形 紙芝居 手遊び 絵本 手遊び 絵本 手遊び	稲福	19名
3/15 (日)	※ コロナ感染拡大防止のための臨時休館により、中止。			

合計: 94名
平均: 19名

●出張！おはなしのたから箱【令和元年度】

図書館スタッフ及びボランティアスタッフが、浦添市の保育所(園)、幼稚園、こども園、学童、子育て支援センター等に出張し、浦添・沖縄の民話を中心に読み聞かせを行い、郷土の文化にふれるきっかけとする。

読み手: 読み聞かせボランティア・当館職員

実施日	内 容	実施場所 時間	参加者 数
7/9 (火)	はじまるよ！ (ウチナーグチのかぞえ歌手遊び 赤嶺さん Ver.) 『カチャーシーをおどろうよ』 真栄城栄子/脚本 まついのりこ/絵 いっぼんばしこちよこちよ (宮古方言)	手遊び 紙芝居 手遊び 10:00 ～10:30	もこもこ 保育園 58人

	ふうゆべまー (八重山) 『うしろにいるのだあれ みなみのしまのなかまたち』 accototo /著 クイズ「絵本に登場した生きもの！方言でいえるかな？」 こぶたぬきつねこ あくしゅでこんにちは 唐船ドーイ (カチャーシー)	手遊び 絵本 クイズ 指人形 指人形 指人形		
9/13 (金)	『りゅうとにわとり』 儀間比呂志/絵・脚本 方言クイズ「体を表す言葉」 みーみんめー 「あたま かた ひざ ぽん (ちぶる かた ちんし ぽん)」 『なんぷう どうーし』 沖縄県立那覇工業高等学校グラフィックアート科 (第三十九期生) こぶたぬきつねこ あくしゅでこんにちは 唐船ドーイ (カチャーシー)	紙芝居 クイズ 手遊び 手遊び 絵本 指人形 指人形 指人形	あいのそのこども園 10:30 ~11:00	84人
1/10 (金)	はじまるよ (ウチナーグチのかぞえ歌手遊び 赤嶺さん Ver.) クイズこれなーに? はやくちことば「ムチムチムーチャー」 『がんにゅームーチャー』 沖縄県立那覇工業高等学校 グラフィックアート科 (第三十八期生) いー正月や (参考『沖縄のわらべうた』) いっぼんばしこちょこちょ (宮古方言) みーみんめー 『新・おきなわ昔ばなし4「ね・うし・とら・う・・・」』 ふるづかだるま/監修 しまくとうば解説 (三母音の原則) 方言クイズ 干支 こぶたぬきつねこ おはながわらった 図書館&としよまる紹介 (クイズ) 工作「紙とんぼ」	手遊び クイズ 早口言葉 絵本 わらべうた 手遊び 手遊び 絵本 解説 クイズ 指人形 手話ソング クイズ 工作	浦添市 子育て支援センターつどいの広場にここ 10:30 ~11:30	16人

合計：158名
平均：53名

●としよまるおはなし会【令和元年度】

夏休みのとしよまるにおける特別おはなし会。読み手:おはなしの木の会

実施日	内 容		ステーション名 時 間	参加者数
7/24 (水)	<p>テーマ◇ 夏のおはなし</p> <p>「かしこいモリー」(『おはなしのろうそく1』) 東京子ども図書館</p> <p>『まくらからくま』コジヤジコ/作 伊藤彰剛/絵 岩崎書店</p> <p>「いたずらこうさぎ」(『ストーリーテリングについて』) 子ども文庫の会</p> <p>『しっぽのはたらき』川田健/作 藪内正幸/絵 福音館書店</p>	おはなし 絵本 人形劇 絵本	西原児童 センター 15:40~16:30	23名
7/25 (木)	<p>テーマ◇ 夏のおはなし</p> <p>こんこん小山の小うさぎは</p> <p>「いたずらこうさぎ」(『ストーリーテリングについて』) 子ども文庫の会</p> <p>『トラのじゅうたんになりたかったトラ』ジェラルド・ローズ/作・絵 ふしみみ さを/訳 岩波書店</p> <p>『しっぽのはたらき』川田健/作 藪内正幸/絵 福音館書店</p>	手遊び 人形劇 絵本 絵本	経塚ゆい まるセ ンター 15:30~16:20	7名
7/26 (金)	<p>テーマ◇ 夏のおはなし</p> <p>「かしこいモリー」(『おはなしのろうそく1』) 東京子ども図書館</p> <p>「いたずらこうさぎ」(『ストーリーテリングについて』) 子ども文庫の会</p> <p>『ぼくにげちやうよ』マーガレット・W・ブラウン/作 クレメント・ハート/絵 いわたみみ/訳</p> <p>『まくらからくま』コジヤジコ/作 伊藤彰剛/絵 岩崎書店</p>	おはなし 人形劇 絵本 絵本	神森小学校 (森の子児童 センター) 15:30~16:30	21名
8/2 (金)	<p>テーマ◇ 夏のおはなし</p> <p>「ひなどりとネコ」ミャンマーの昔話 (『子どもに聞かせる世界の民話』) 実業之日本社</p> <p>「いたずらこうさぎ」(『ストーリーテリングについて』) 子ども文庫の会</p> <p>『こわーいはなし』せなけいこ/作・絵 鈴木出版</p> <p>『トラのじゅうたんになりたかったトラ』ジェラルド・ローズ/作・絵 ふしみみ さを/訳 岩波書店</p> <p>『ぼくにげちやうよ』マーガレット・W・ブラウン/作 クレメント・ハート/絵 いわたみみ/訳</p>	おはなし 人形劇 絵本 絵本 絵本	内間小学校 (地域コミュニ ティールーム) 13:30~14:20	64名

合計:115名
平均: 28名

●英語のおはなし会【令和元年度】

図書館児童室・アメリカ情報コーナーの絵本を利用し、浦添市の国際交流職員等による英語の絵本の読み聞かせを実施している。

毎月第2火曜日 午後4時～午後4時30分 かたりの部屋にて

読み手:シェイ・ヤマグチ (浦添市国際交流員) 安全管理:図書館職員

実施日	内 容		参加者数
4/9 (火)	『Goodnight Moon』Margaret Wise Brown/著 『Freight Train』Donald Crews/著 手遊び『Lucy Wincy Spider』 『It Looked Like Spilt Milk』Charles G.Show/著	洋書 洋書 洋書	15名
5/14 (火)	『How to Catch a Star』Oliver Jeffers/作 手遊び『Twinkle Twinkle Little Star』 『Round Trip』Jonas Ann/著 『光の旅かげの旅』アン・ジョナス/作 内海まお/訳	洋書 洋書と和書	13名
6/11 (火)	『Frog and Toad Together』Arnold Lobel/著 『ふたりはいつしょ』アーノルド・ローベル/作 三木卓/訳 手遊び『Open, Shut, Them』 『Not a Stick』Antoinette Portics/著	和書と洋書 洋書	12名
7/9 (火)	『The Three Robbers』Tomi Ungerer/作 『すてきな三にんぐみ』トミー＝アンゲラー/作 いまえよしと/訳 『The Giving Tree』Shel Silverstein/著 『From Head to Toe』Eric Carle/作	和書と洋書 洋書 洋書	14名
9/10 (火)	『The Very Hungry Caterpillar』Eric Carle/作 『Brown Bear, Brown Bear, What do You See』Eric Carle/作 『Polar Bear, Polar Bear, What do You Hear?』Eric Carle/作	洋書 洋書 洋書	7名
10/8 (火)	『Halloween Hustle』Charlotte Gunnufson/作 『The Night Before Halloween』Natsha Wing 『The Very Clumsy Click Beetle』Eric Carle/作 ハロウィン折り紙	洋書 洋書 洋書	20名
11/12 (火)	『Little Bird』Germano Zullo/作 『Around The Pomd : Who's Been Here?』Lindsay Barrett George/作 『Pet The Cat Big Easter Adventure』Kimberly and James Dean/作	洋書 洋書 洋書	10名
12/10 (火)	『We Wish You a Merry Christmas』Tracey Campbell Pearson/絵 『Where's Prancer?』Syd Hoff/作 『The Christmas Party』Adrienne Adams/作 『うさぎたちのクリスマス』エイリアン・アダムス/作 乾 侑美子/訳 サンタさん折り紙	洋書 洋書 和書と洋書	18名
1/14 (火)	『Big Red Barn』Margaret Wise Brown/著 『Dear Zoo』Rod Campbell/著 『The Adventures of Beekle The Unimaginary Friend』Dan Santat/著	洋書 洋書 洋書	6名
3/10 (火)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—

合計: 115名

平均: 13名

●アメリカ情報コーナーの概要

- ・沖縄と米国との友好親善の促進を目指し、平成 16 年 9 月 14 日浦添市立図書館 2 階に設置。
(平成 27 年 7 月 16 日、1 階多文化コーナー内に移設)
- ・資料や備品は在沖米国総領事館からの寄贈による。
- ・米国に関する資料を中心に、CD・DVD・iPad・Kindle を所蔵。
- ・毎月、英語のおはなし会・展示企画・文化イベント・講演会等を開催。

令和元年度資料構成

蔵書	点数
全資料冊数	4892
雑誌タイトル	32
AV (CD・DVD)	191

令和元年度受入冊数

図書	39
雑誌	274

■令和元年度アメリカ情報コーナー行事

	開催期日	内 容	講 師 等	参加人数
1	4月8日(日)	キッズイングリッシュ上映会『Dr.Dolittle』 (邦題:ドクタードリトル)	—	24名
2	4月2日(火) ~4月14日(日)	企画展『READ ポスター展』	—	240名
3	4月19日(金) ~5月5日(日)	企画展『Earth Day ポスター展』	—	180名
4	5月13日(土)	アメリカシネマ上映会『Forrest Gump』 (邦題:フォレスト・ガンブ/一期一会)	—	14名
5	6月2日(日) ~11月7日(木)	コーナー特集「英語多読に関する本」	—	2500名
6	6月2日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	16名
7	6月9日(日)	キッズイングリッシュ上映会『Finding Dory』 (邦題:ファインディング・ドリー)	—	32名
8	7月7日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	12名
9	7月14日(日)	アメリカシネマ上映会『Big Hero 6』 (邦題:ベイマックス)	—	15名
10	8月4日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	11名
11	8月10日(土)	A DAY IN AN AMERICAN ELEMENTARY SCHOOL アメリカの小学校の1日	在沖縄米国 総領事館職員	19名

12	8月19日(土)	空とぶじゅうたんおはなし会 米国人の司書によるスペシャルおはなし会	フォスターライブラリーより司書	27名
13	8月18日(日)	キッズイングリッシュ上映会 『Fantastic Beasts and Where to Find Them』 (邦題:ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅)	—	32名
14	9月1日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	18名
15	9月8日(日)	アメリカシネマ上映会『Coco』 (邦題:リメンバー・ミー)	—	24名
16	10月6日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	11名
17	10月13日(日)	キッズイングリッシュ上映会 『The Haunted Mansion』 (邦題:ホーンテッドマンシヨン)	—	31名
18	11月3日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	15名
19	11月10日(日)	アメリカシネマ上映会 『Wonder』 (邦題:ワンダー 君は太陽)	—	25名
20	12月3日(火) ~12月26日(木)	クリスマス特集展示	—	380名
21	12月15日(日)	キッズイングリッシュ上映会『Grinch』 (邦題:グリンチ)	—	19名
22	1月19日(日)	アメリカシネマ上映会『Lincoln』 (邦題:リンカーン)	—	12名
23	2月18日(火) ~2月29日(土)	企画展『Black History Month』	—	160名
24	3月8日(日)	アメリカシネマ上映会 『The Greatest Showman』 (邦題:グレイテスト・ショーマン)	新型コロナウィルス拡大防止のため中止	—
25	3月17日(火) ~3月31日(火)	企画展『Women's History Month』	—	220名



(多文化コーナー)



(多文化コーナー内 アメリカ情報コーナー)

●資料部門

□収集方針・選択方針・収集の流れ・選択基準

○図書館運営の原則

浦添市立図書館は、市民の幼児期から高齢期にいたるライフサイクル全体にわたる創造性豊かな自己教育の場であり、住民自治と地域文化の発展に寄与する自治体図書館として本来的な使命に立脚し、情報化社会にダイナミックに対応する「教育・文化・情報のための民主的機関」である。そして、図書館サービスは「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」の民主的サービスの原則によって運営される。

[資料収集規定]

(1) 資料収集方針

図書館運営の原則の考え方を受け、資料収集は、次の基本方針に沿って収集する。

基本方針

- ①市民の要求に基づいて、広く偏らずに資料を収集し、いろいろな立場の思想を抱合することが大前提である。公共図書館の任務は、「基本的人権の一つとして知る自由を持つ市民に資料を提供する」ことが第一義である。したがって、広範は市民の要求、特に潜在化している市民の要求や将来想定される市民の要求にも十分配慮することが求められる。さらに学校図書館をはじめとする各種団体等にも応じられるよう必要な資料を広範囲に収集するよう努める。なお、公共図書館として、この収集方針の範囲を超えていると思われるような資料の請求をうけた場合は、図書館の相互協力システムで他館から借用して提供するよう努める。
- ②図書、逐次刊行物、小冊子、パンフレット類、視聴覚資料（DVD、CD等）などの、多様な形態の資料を収集する。
- ③正確で信頼のおける情報を収集する。
- ④社会情勢に即した最新の資料を収集する。
- ⑤市民のリクエストに応じて、資料を収集する。
- ⑥利用に応じて、複本を備える。
- ⑦浦添市美術館、浦添市立教育研究所、文化財課等の類似機関との相互の連携、協力体制に基づく役割分担や他の図書館（室）との相互協力を踏まえ資料を収集する。
- ⑧資料の収集方法については、購入・寄贈などの手段を活用する。

(2) 資料の選択方針と留意点

資料選択の基本的方法は、著作者、内容、出版社などの観点から具体的な以下の評価基準を設け、図書館資料の選択に際して採否を判断するものである。

①資料選択方針

著作事項

- ア. 著作者・出版社に信頼のおけるものを選択する。
- イ. 著者が専門、または得意とすることがらについて書いたものを選択する。
- ウ. 発行所は、良心的な出版をしているところを選択する。
- エ. 発行所は商業主義が露骨でないところを選択する。
- オ. 発行年・版次は新しいものを選択する。

②内容

- ア. 俗悪なものに流れず健全なものを選択する。
- イ. その分野の対象に適して、読みやすく健全なものを選択する。
- ウ. 知識を得るための図書。
 - ・新しい知識や研究が述べられたり、新しい方法が紹介されていたりするものを選択する。
 - ・主題について巧みにまとめられているものを選択する。
 - ・一貫した論理で体系づけられ、論旨が明確であるものを選択する。
 - ・事実の叙述は、科学的に正確で実際的であるものを選択する。
 - ・各分野の基本となるものを選択する。
 - ・編集や執筆の態度が良心的であるものを選択する。
 - ・市民の要求にあっているものを選択する。

- ・取り扱っている範囲は、その主題について市民が学習や研究をするのに適切であるものを選択する。
 - ・異見・異説などのある場合は、必要に応じてこれを紹介し、かつ原拠が明示してあるものを選択する。
 - ・引用文・さし絵・写真・図表などは、明確・適切で必要に応じ原拠が示してあるものを選択する。
 - ・統計は正確で、調査年度及び原拠が明示してあるものを選択する。
 - ・資料の収集が充分になされているか。それらはその主題を解明するのに適切なものであるものを選択する。
 - ・主題の取り扱い方は、新しく適切なものを選択する。
 - ・主題の取り扱い方法が、研究・実験・観察などの目的を達成するのにふさわしいものを選択する。
- エ. 教養・レクリエーションのための図書。
- ・親しみ易く、楽しく読めるものを選択する。
 - ・市民の豊かな情操・判断力・鑑賞力・探究心・向上心を伸ばす内容であるものを選択する。
 - ・事実を物語っているものを選択する。
 - ・正しい道徳、正しい社会的正義感に立脚して書かれているものを選択する。
 - ・内容の取り扱いに片寄りが無い。また、前向きであるものを選択する。
 - ・市民の興味にあっているものを選択する。

③表現

- ア. 表現のしかたが著者の意図している読者層に即しているものを選択する。
- イ. 正しい語句が使用され明瞭でわかり易いものを選択する。
- ウ. 文章は内容を表現するのにふさわしく、しかも具体的であるものを選択する。
- エ. 翻訳においては、原意をよく伝える文章になっていて、また、原文に忠実であるとともに原作の意図するところを正しく伝えているものを選択する。
- オ. 絵画・写真・グラフ・図表などが、本文の理解を助けるよう工夫されている。また、その置かれている位置が適切なものを選択する。

④構成

- ア. 図書の構成は適切であるものを選択する。
- イ. 書名は内容をよく表しているものを選択する。
- ウ. 索引がついている。また、索引は必要な種類のものが完備しており、選択されている項目は必要にして充分であり、引き易いものを選択する。
- エ. 参考図書が掲げられているものを選択する。

⑤形態

- ア. 製本・外観・大きさが適切で、かつ書誌的な体裁が整っているものを選択する。
- イ. 装丁や表紙のデザインは、内容にふさわしいものを選択する。
- ウ. 製本は堅牢で図書館での長期の使用に耐えられるものを選択する。
- エ. ページ数は内容にふさわしいものを選択する。
- オ. 版のくみ方は、行間・字詰ともに余裕があり、読み易いものを選択する。
- カ. 乱丁・落丁などの事故がないものを選択する。
- キ. 誤植がないものを選択する。
- ク. 印刷は鮮明で見やすいものを選択する。
- ケ. さし絵・写真・地図などは色彩が鮮明で調和がとれ、大きさも適切であるものを選択する。
- コ. 用紙は良質で丈夫であるものを選択する。

⑥価格

- ア. 資料に対して適正なものを選択する。
- イ. 価格だけで安易な選択をしない。

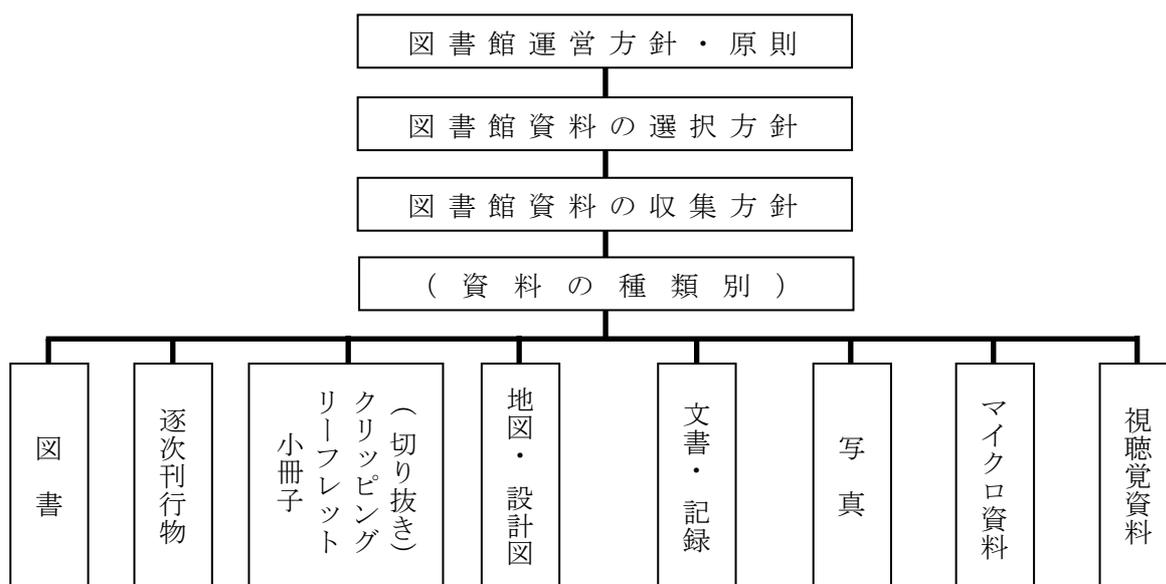
⑦寄贈資料

- ア. 他の図書館資料と同様に扱い、選択する。
- イ. 浦添市に関するすべての資料を選択する。
- ウ. 郷土に関する資料は積極的に選択する。

(3) 資料選択にあたっての留意点

- ①多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
 - ②著作者の思想的、宗教的立場にとらわれて、その著作を排除しない。
 - ③図書館員の個人的な関心や好みによって選択しない。
 - ④個人、組織、団体からの圧力や干渉によって、収集すべき資料を放棄したり、紛糾を恐れて自己規制をしない。
- ※ 以上のような方針で収集された資料がどのような思想や主張をもっていようとも、それは図書館及び図書館員が支持することを意味しない。資料の持つ思想や主張は、読者であるひとりひとりの市民の自由な思想と判断にゆだねられるものである。そのためにも、図書館ではあらゆる思想、主張が共存するように、資料収集が行われねばならない。
- ※ 「〇〇は収集するな」という形での提案ではなく、「〇〇を収集せよ」「〇〇を収集するならば〇〇をも収集せよ」、「〇〇を収集する際には〇〇に留意せよ」という形での提案が望ましい。そのことによって、図書館の蔵書がより豊かな広がりをもつことが可能となるのである。
- ※ 収集方針は常に市民の議論の対象となるよう市民に公開され、より豊かで実質的な内容あるものとしていく必要がある。
- ※ 以上のような資料選択の留意点も踏まえ、資料の収集・選択方針等は、時代に相応するよう形成されていくものである。

(4) 資料収集の流れ（参考文献『新・図書館ハンドブック』『図書館用語辞典』）



(5) 選書の組織（体制）

選書は、奉仕係職員を中心に、基本的に図書館職員の合議による選書（「選書会議」）を行う。また、必要に応じ他の職員等を含めた会議（「拡大選書会議」）をもつことができる。「選書会議」「拡大選書会議」は会議の開催による意見交換等を原則とするが、次の場合、文書等で代替することができる。

- ①提案文書に選書提案者名の明示がある。
 - ②提案文書に選書対象資料の書誌的事項の明示がある。
 - ③提案文書に選書理由の明示がある。
 - ④上記①～③に対し、「選書会議」「拡大選書会議」参加対象職員全員の合意が得られている。
- いずれの場合においても、選書の結果については『浦添市教育委員会事務決裁規程』（昭和56年6月1日教育委員会訓令甲第2号）第3条の手順を経、第6条別表第2に基づき決裁（課長決裁事項）を受ける。なお、選書に携わるものは、次の事項に留意し、常に公平で適切な選書を行い、バランスのとれた蔵書構成と共に、資料（情報）提供の迅速化をめざす。

□図書、出版、書籍販売等の歴史的な発展と現状についての歴史

- 利用者や地域社会についての知識
- 館の蔵書についての知識
- 収集のための道具（参考資料）についての知識とそれを使いこなす技術
- 選書ツール収集の技術
 - ・各種刊行物目録、論文の引用文献、出版案内、各図書館の資料目録、古書店の目録等
 - ・新聞、TV、ラジオ、インターネット、雑誌、パンフレット等各種メディアによる書評等
- 思想・信条などにおける公平性
- 各主題についての知識

(6) 資料の種類別選択基準（選書基準）

○図書

- ①継続図書購入をきめ、優先し収集する。
- ②読書案内の各テーマ・著者の本を計画的に収集する。
- ③世の中の動きに即した、時宜の得た本も適宜収集する。
- ④国内出版の和書を中心に、洋書も適宜検討し収集する。
- ⑤レファレンス資料は、基本的な参考図書に加え、最新のものを適宜収集する。
- ⑥多年度にわたり活用が見込まれる資料を優先し収集する。
- ⑦既蔵全集・シリーズ・セットもの等の欠本は、極力補充する。
- ⑧浦添市が活発に取り組む分野に関する図書も収集するよう努める。
- ⑨ドリル等の学校教材、書込式問題集、試験用参考書は収集しない。
- ⑩CD-ROM、DVD 付きの図書については、原則出版社が貸出可能としているものに限り収集する。

一般書（対象：概ね20歳以上、または社会人）

- ①市民の教養、調査研究、レクリエーション等に役立つ資料を各分野にわたり、体系的に収集する。
- ②洋書は市民の要望に即し、適宜収集する。
- ③各分野にわたり、人間の尊厳を損なうおそれのある資料を除き、基礎的なものを収集する。
- ④「名著・古典」から「最新の資料」までをバランスよく収集する。
- ⑤図書館法でいうところの教養（評論・概説書・入門書等）、調査研究（参考図書・学術書等）、レクリエーション（趣味・娯楽・文芸書等）の各ジャンルをバランスよく収集する。
- ⑥大活字本を積極的に収集する。
- ⑦利用対象の年代に合ったものを、バランスよく収集する。

0類 総記

- ①百科辞典、年鑑、新聞等は、レファレンスに利用される頻度が高いため、豊富な資料を収集する。
- ②図書館に関する資料、書誌・目録類、類縁機関に関する資料は積極的に収集する。
- ③叢書・全集は、必要なものは積極的に収集する。
- ④技術革新が著しく、社会的影響も大きい情報科学は、最新の情報を積極的に収集する。

1類 哲学

- ①哲学、心理学、倫理学、宗教については、各分野の基本書を体系的に収集する。
- ②初学者のための入門書・概説書に留意する。
- ③研究書・解説書だけでなく、必要があれば各分野の代表的原点も収集する。
- ④学界、マスコミ等で話題になっているテーマや著者、著作に留意する。
- ⑤心の充足を読書に求める市民のために、人生論、一般向けに書かれたわかりやすい宗教書などに留意する。
- ⑥宗教、占い、姓名判断、オカルトなどのジャンルには留意する。（全ての宗教、占い等を収集することは実際難しく、また資料による読み手への影響がときにはとりざたされるジャンルでもあるので、注意深い選書が望ましい。）

2類 歴史・地理

- ①歴史は、各分野の基本書を体系的に収集する。
- ②歴史はよく利用されるので、一般向けに書かれた歴史読物から入門書、啓蒙書、研究書、史料まで、多様なレベルのものを収集する。
- ③歴史は、歴史観による立論の対立があるので、それぞれの観点に立つ、多様な史料を収集する。

- ④歴史書は、信頼性と正確さを確かめ、特定の史観に偏らないように注意し収集する。
- ⑤通史は正しく史実をふまえているものを収集する。
- ⑥時代史は極めて学術的な著作が多いので、一般読者にも理解できるような平易なものも収集する。但し、沖縄学研究室との兼ねあいにもよりジャンルによっては専門書も考えられる。
- ⑦伝記は、自伝は詳細な生の資料を使用しているというすぐれた点があるが、自己評価、記述の客観性については、問題がありうる（近親者による伝記もこれに近い）。第三者が著者の場合は、客観的記述の可能性は高いが被伝者に対する著者の評価を伴うので、注意深い選書が望ましい。
- ⑧人々の地理的情報への要求は高まっているため、それに応え、旅行・紀行・案内記などに関する図書を、地理学とその周辺の図書・地図とともに収集する。

3類 社会科学

- ①社会科学は各分野の基本書を体系的に収集する。
- ②社会科学はさまざまな学説や主張が抗争している分野なので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
- ③社会科学はその時々時代の時代性と深く結びついている分野なので、今日的主題を重視して収集する。
- ④入門書、概説書は常に新鮮な資料をそろえ、利用の多い分野については、多様な類書を用意する。
- ⑤社会科学は、市民が高度の調査研究に進み得る分野なので、専門の研究者にもある程度のサービスが提供できるよう、必要な専門書は積極的に収集する。
- ⑥日常生活及び実務上必要な実用書、実務書は、豊富に収集する。
- ⑦年間出版点数的には9類文学の次に多く、利用者層や読書傾向を把握し絞り込んで選書する必要がある。

4類 自然科学

- ①自然科学はその進展が著しい分野なので、最新の情報を常に提供できるよう留意する。
- ②自然科学の分野は、非常に細分化・専門化されているので、個別分野の高度な専門書は収集しない。グレードは、大学の一般教養課程程度のもを中心とする。
- ③市民が自然科学全般及び主要な個別分野の状況を概観できるような入門書、概説書を中心に収集する。
- ④自然科学の最新分野について、わかりやすく書かれた本は、積極的に収集する。
- ⑤科学読み物、ドキュメンタリー、ルポタージュ、随筆、写真集、科学を応用したゲーム、遊びなどの一般向けの資料は、積極的に多種多様なものを収集する。
- ⑥科学関係のスタンダードな図書は、書き手によってテーマへのアプローチの仕方に違いがあり、いく通りかの資料をそろえる必要がある。
- ⑦この類は児童の利用も多い。場合によっては、児童書としても受入れることができる。

5類 工学・技術

- ①科学技術はその進展が著しいので、最新の情報を常に提供できるよう留意する。
- ②技術者と工学系学生が使用する高度で専門的な工学書は、利用の見込める資料のみ収集する。
- ③科学技術の最近の動向について、わかりやすく書かれた資料は、積極的に収集する。
- ④趣味や実用に役立つ資料は利用も多いが、蔵書全体のバランスを考え超過しないよう留意し収集する。
- ⑤実用書は図版のよい資料を多様に収集する。
- ⑥定評のある出版社の版を重ねた資料は、一定の水準をもっている。
- ⑦5類は蔵書が古くなりやすいので、最新情報を必要とするものには、特に蔵書更新を心がけ、全体の資料の新鮮度を保つようにする。

6類 産業

- ①社会科学との関連で、商業、運輸交通、通信事業を特に重視する。
- ②趣味に役立つ資料を積極的に収集する。
- ③ビジネスマンや商店主に役立つ資料を積極的に収集する。
- ④産業社会の新しい動向について分かりやすく書かれた資料は積極的に収集する。
- ⑤他の分野と比較しても出版点数が少ないジャンルであるが、多くの利用が期待される分野は充実させ、基本的なものの一部専門的なものが適当な構成になるよう配慮する。

7類 芸術

- ①市民の教養、趣味、娯楽に役立つ資料を鑑賞・研究と製作・実技等との両面にわたり、幅広く収集する。
- ②美術全集・画集・写真集・工芸名品集等は、基本的なものを中心に収集する。専門書については美術館でも収集すると考えられるので、美術館とのバランスに留意する。ただし、何年か経て色があせたもの等は更新するようにする。
- ③趣味として手がける人の多い分野については、入門書を中心に豊富に収集する。
- ④市民の動向・流行に留意し、新しい分野についての情報も迅速に提供できるように努める。また、利用の集中する部分には、十分な量の資料を用意する。
- ⑤著名な画家、彫刻家、写真家、工芸家、音楽家の作品集・伝記は、利用が多いので、なるべく収集する。
- ⑥大型本は、利用に耐えられるよう製本がしっかりしているかどうかをみる。

8類 言語

- ①市民の教養、学習、実用に役立つ資料を収集する。
- ②辞典類、実用書類、外国語習得のための入門書類を中心に収集する。
- ③辞典類はこの分野の核となる資料なので、重点をおいて収集する。
- ④辞典類の改訂については注意を払い、改訂された場合、速やかに更新することが必要である。
- ⑤大活字の事典は積極的に収集する。
- ⑥様々な言語に対して利用者の要求が高まっているため、適宜必要な資料を積極的に収集する。

9類 文学

- ①市民の関心がかつとも高く、また、最も出版点数、利用共に多い分野なので、各分野について豊富な資料を収集する。
- ②文学全般について、多様な資料要求に応えられる蔵書構成を心がける。
- ③日本文学を代表する古典の現代語訳は、様々な訳者が訳本を出版しており、それ自体が文学作品であるため、代表的な訳と思われるものは何点かそろえたい。
- ④全集、作品集に入っている作品でも、利用が多く見込まれるもの、また、単行本・文庫本の形態のほうが利用しやすい作品については単行本・文庫本を複本として収集する。
- ⑤受賞作品や話題になっている作品は、もれなく収集する。
- ⑥利用頻度が高く消耗の激しい文芸書については、必要に応じ買い換える。

児童書（対象：未出産児・0歳～小学生）

- ①図書館を利用する子どもは、ことに幼い子ほど館の蔵書に依存した読書生活を営むことが多く、この時代にふれる書物の影響は大人になってからの読書にはない深い永続的なものがあることから一般図書同様、慎重に収集する。
- ②次代を担う子どもたちのために、優れた児童図書の選択を広く行う。
- ③各ジャンルについて、速報性や時宜を得たものも必要であるが、児童書という性格上、児童の心理や成長発達を考え、より適切なものを選び収集する。
- ④各分野の評価の定まった基本図書や古典的な名著から新刊まで、幅広く優れた図書を収集する。また、日常的に維持・更新し、欠本が生じないように努める。
- ⑤子どもの興味や知的好奇心を満たすような図書を収集する。
- ⑥児童文化研究のための専門書やそのほかの関連資料もあわせて収集する。
- ⑦復刻（復刊）本は、積極的に収集する。
- ⑧利用頻度が高く消耗の激しいものについては、必要に応じ買い換える。
- ⑨調べ学習に対応できる国際理解、情報、環境、福祉、健康等のジャンルに関して、適切なものを選び収集する。
- ⑩性的、洗脳的、暴力・破壊的なもの等、子どもへの影響力が強いものについては慎重に考慮する。

絵本

- ①子供の知的・情緒的経験を広げ、想像力を豊かに養うものを中心に、幅広く収集する。
- ②「よい絵本」など各ブックリストなどにあげられる絵本はできるだけもれなく収集し、必要に応じて複本をそろえる。
- ③評価の定まった絵本作家の作品は、できるだけもれなく収集・保存する。
- ④評価の高い作品、評価の定まった絵本作家の作品を中心にできるだけ原書の絵本も収集する。

- ⑤絵が見るものに訴えかけるものを持っているものを選び収集する。
- ⑥絵がストーリーを語るものを選び収集する。
- ⑦絵と文がきちんと一体化されているものを選び収集する。
- ⑧構図がしっかりしていて、色もきちんとしているものを選び収集する。
- ⑨子どもにふさわしい、暖かみのある絵が描かれているものを選び収集する。
- ⑩ストーリーは子供にふさわしいものを選び収集する。
- ⑪長年にわたって読みつがれてきたものを選び収集する。
- ⑫古典・名作・昔話等を無理に対象年齢を下げず絵本化していないものを選び収集する。

紙芝居

- ①紙芝居の「ぬく」という性質を十分に生かしたものを選び収集する。
- ②画面の絵と語られる文が調和しているものを選び収集する。
- ③子どもの生活に密接した題材を扱ったものを選び収集する。
- ④子どもの生活を高められるものを選び収集する。
- ⑤子どもの想像の世界を広げられるものを選び収集する。

ノンフィクション全般

- ①子どもの興味を引きつける書き方の本、また、さらに興味を広げる本を選び収集する。
- ②子どもの発達段階に応じて、理解しやすい内容、表現方法の工夫のあるものを選び収集する。
- ③最新の資料で書かれている本（少なくとも3年以内）を選び収集する。
- ④適切な挿絵、写真が使われていて、内容の理解を助けるものを選び収集する。
- ⑤専門用語や難解な語句には、フリガナがふってあり、分かりやすい説明があるものを選び収集する。
- ⑥参考文献等が示されているものを選び収集する。
- ⑦学習参考書は選択しない。

J0類 総記

- ①子どもたちの調べ学習等にこたえられるよう、百科事典を中心に、調査研究のための資料を収集する。

J1類 哲学

- ①出版点数が少ないが、分かりやすい哲学、倫理、思想、宗教の資料を収集する。
- ②子どもたちの悩みにこたえられる人生論や心理の資料を収集する。

J2類 歴史

- ①利用も多く、出版点数も多いので、体系的に収集する。
- ②教科学習にも役立つ資料を収集する。
- ③利用の多い資料については、必要に応じて複本を収集する。
- ④図版、写真、イラスト、マンガなどを使った資料に留意する。

J3類 社会学

- ①子どもの社会に対する見方を広げ深める資料を体系的に収集する。
- ②社会の動向について記述されている資料に留意する。
- ③多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
- ④教科学習にも役立つ資料を収集する。

J4類 自然科学

- ①利用が多く、出版点数も多い分野なので、子どもに科学的な物の見方、考え方を育てる資料を基本に体系的に収集する。
- ②科学・技術の進歩にあわせ、内容の新しさに十分留意する。
- ③子どもの旺盛な知識欲にこたえられるよう幅広い多様なテーマの資料を収集する。
- ④自然に対する興味や関心を深め、子どもと自然とのふれあいの手引きとなるような資料を収集する。
- ⑤子どもの発達段階に応じた資料をそろえる。
- ⑥テーマが明確なものを選び収集する。
- ⑦正確な知識に基づいて書かれているものを選び収集する。
- ⑧実験に関する資料は、子どもが行っても安全性が高いものを選び収集する。
- ⑨結果だけでなく、過程や考え方が詳しく書かれているものを選び収集する。
- ⑩図鑑ものについては、目次・索引が整備されていて、ひきやすいものを選び収集する。

J5類 工学

- ①子どもたちに知的刺激を与え、創造や製作への意欲を高めるような、科学技術とその応用について、分かりやすく書かれた資料を収集する。
- ②工作や料理・手芸等の分野では、子どもたちが心から楽しみ遊べるような娯楽性、実用性の高い資料を収集する。
- ③科学技術の進展にあわせ、新しい内容の資料に留意する。

J6類 産業

- ①教科学習に役立つ多様な資料を収集する。
- ②ペットの飼い方や草花の栽培は、実用性の高い資料を収集する。
- ③情報化社会等産業界の新しい動向にふれた資料に留意する。

J7類 芸術

- ①利用が多いので、各分野の基本書を体系的に収集する。
- ②子どもたちが心から楽しみ遊べるような、娯楽性、実用性の高い資料を収集する。
- ③子どもたちの趣向や流行に留意し、最新情報を提供できるよう資料を収集する。
- ④図版、写真、イラスト、マンガを使用した資料に留意する。
- ⑤より豊かな生活を営む契機となりえるものを選び収集する。
- ⑥実際にできるように、基礎的なことから分かりやすく説明されているものを選び収集する。
- ⑦内容が正確なものを選び収集する。(折紙、あやとりで実際にできるもの等)
- ⑧身近なものを使ってでき、材料・道具の大切さと、正しい扱い方が書かれているものを選び収集する。

J8類 語学

- ①出版点数の少ない分野だが、教科学習に役立つ資料を中心に収集する。
- ②言葉を正しく理解し、表現することを目的とするものを選び収集する。
- ③分かりやすい表現で、興味深く学べるものを選び収集する。
- ④外国語は英語を主に収集する。

J9類 文学

- ①豊かな想像力を養えるもの、子どもの視野を広げて、より高度な読書の世界へと誘えるものを中心に幅広く収集する。
- ②『子どもの本棚』や各ブックリストなどにあげられた資料はなるべく収集し、必要に応じて複本をそろえる。
- ③評価の定まった作家の作品は、できるだけもれなく収集・保存する。
- ④子どもに人気のある作品は、必要に応じ複本をそろえる。
- ⑤筋運びが独創的で起承転結があり、話の中に引き込まれるものを選び収集する。
- ⑥登場人物が生き生きとして明確であり、子どもが共感できるものを選び収集する。
- ⑦作者の言いたいことが子どもにわかるように書いてあるものを選び収集する。
- ⑧不自然な飛躍や省略がなく、結末がはぐらかされず、子どもが読み終わって満足できるものを選び収集する。
- ⑨状況設定が暗くとも前向きに書かれていて、明日に希望と勇気をもたせてくれるもの、また、子どもの成長を促すものを選び収集する。
- ⑩挿絵が文章と一体となって、イメージを膨らませる手助けになっているものを選び収集する。
- ⑪言葉は美しく、簡潔な文章で書かれているものを選び収集する。
- ⑫行間、フリガナ、字の大きさ等にも留意し、子どもが読みやすいものを選び収集する。

RJ 参考図書(調べ学習用)

- ①子どもの調査研究に役立つ資料を収集する。
- ②基本的に貸出はしない。(貸出に対する要望については、必要に応じ複本を揃え応える。)
- ③最新の情報に留意し、資料の更新に努める。
- ④調べ物学習で使えるヤングアダルトの参考図書も必要に応じてここに排架し、活用を図る。

ヤングアダルト(対象：中学生～大学生)

- ①ヤングアダルト世代で必要な心理・成長・発達を考え、より適切なものを選び収集する。また、児童書と一般書の橋渡しとなる蔵書構成をめざすし収集する。
- ②調べ学習に対応できる国際理解、情報、環境、福祉、健康等のジャンルに関して、適切なものを選び収集する。

- ③ヤングアダルト世代が興味をもつジャンルに関しては、適宜収集する。
 - ④不明、汚破損の可能性が高い資料（文庫本、アニメ本、芸能人本等）については考慮し収集する。
 - ⑤写真、イラスト、マンガを使用した資料、入門書的な資料に留意する。
 - ⑥各分野の評価の定まった基本図書や古典的な名著から新刊まで、幅広く優れた図書を収集する。また、日常的に維持・更新し、欠本が生じないように努める。
 - ⑦各種進学案内、就職案内など進路の手助けとなる資料は、最新の情報を必要とするため、年度毎にバランスよく更新する。
 - ⑧性的、洗脳的、暴力・破壊的なもの等、読み手への影響力が強いものについては慎重に考慮する。
- ※一般書・児童書双方の選択基準を参照

郷土資料

- ①郷土資料とは「郷土と郷土関係者などに関する文献、視聴覚資料、博物館的資料などの当該地域に関する一切の資料」（『最新 図書館用語大辞典』柏書房 より）を指すが、当館で指す郷土資料の範囲は、以下のものを言う。
 - ア 現在の行政区域である沖縄県の全地域。
 - イ 奄美大島諸島と一部鹿児島県を準郷土資料とし郷土と同様に扱う。
 - ウ 郷土、その他郷土の事物現象を主題とした資料。
 - エ 一部に郷土関係の掲載及び郷土出身者の掲載がある資料。
 - オ 郷土において出版された資料。
 - カ 郷土出身者、郷土在住者の著作物。（内容が全く郷土と関係なくても。）
- ②郷土資料を計画的・網羅的に収集する。特に浦添市に関する資料や浦添市で刊行された資料（冊子、パンフレット、リーフレット等）は、もれなく積極的に収集する。（浦添市に関する資料は、一般的資料と異なり、他図書館に頼ることができないため、その収集は当館が負う重要な責務であると考え。）
- ③市民の調査、研究、教養その他生活情報に資するため、また郷土の歴史を後世につたえるため、郷土に関する多様な資料を積極的に収集する。
- ④必要に応じて複本を収集する。
- ⑤郷土資料の充実は、図書館だけの収集努力では限界があるので、資料に関する情報、寄贈、執筆等あらゆる面で、市民及び関係機関との協力を仰ぎながら収集する。
- ⑥郷土資料は別置記号を与え、整理する。一般的郷土資料は「K」浦添市関連資料は「S」、又吉栄喜文庫資料は「M」沖縄学関係は「UK」、県外関係機関資料を「U」とする。分類については、浦添市関連資料と一般的郷土資料は共通とする。
- ⑦分担収集については、沖縄学研究室、美術館などとも調整をはかりながら行う。特に本館郷土と沖縄学研究室は、適宜協議しながら収集する。
 - ア 本館は、原則として新刊書を中心に収集するが、沖縄学研究室以外の資料全般を可能な限り収集し、必要に応じ複本などの補充に努める。
 - ・浦添市が活発に取り組む分野についても収集するよう努める。
 - ・一般書・雑誌等で一部分郷土の記載があるものについても収集する。
 - イ 沖縄学研究室は、専門書、研究論文や本館未所蔵の古書等を中心に、必要に応じ新刊も収集する。

（収集範囲：沖縄関係・沖縄に関する中国をはじめとするアジア関係資料、県内外関係機関資料等。）

K0類 総記

K1類 哲学

K2類 歴史

- ①利用の多い分野なので、積極的に収集する。
- ②通史、時代史はすべて収集する。
- ③郷土の各地域史は、収集もれのないよう特に留意する。

K3類 社会科学

- ①この分野は、自治体発行の行政資料や政府刊行物が大部分を占める。
- ②行政の動勢を知る基本資料であるので、必要なものは極力収集する。
- ③行政の刊行する資料だけでなく、住民団体、市民団体などが刊行する資料に留意する。

④浦添市議会議事録はすべて収集する。

⑤沖縄県財政、浦添市財政を概観できる予算書・決算書をはじめとする資料は、積極的に収集する。

K4類 自然科学

K5類 工学・工業

K6類 産業

①利用が多い分野は、重点的に収集する。

②郷土の特産的なものに関しては重点をおいて収集する。

③浦添市内の企業、事業所の沿革等、関連資料を積極的に収集する。

K7類 芸術

①利用が多いので、積極的に収集する。

②『沖展』は開催地が浦添市となっているため、毎年収集するよう努める。

③芸術家、美術家、スポーツ選手の伝記などは極力収集するよう努める。

K8類 琉球方言

①積極的に収集する。

②利用が多いので、必要に応じて複本を収集する。

K9類 琉球文学

①郷土の文学を総括的に扱っている資料は積極的に収集する。

②郷土の文学者の伝記、作家論は極力収集するよう努める。

③郷土発行の文学雑誌、同人誌などは図書として扱う。

JK 児童郷土/EK 郷土絵本/JS 児童浦添市関連/PK 郷土紙芝居

①子どもの調査研究に役立つよう、郷土に関する資料を収集する。

②郷土を概観できる資料を収集する。

③浦添市関係資料についてはJSで収集する。

④利用が集中する主題や資料については、複本や類書を必要に応じて収集する。

⑤成人向け資料であっても、子どもの利用に適する資料を収集する。

参考図書

参考図書は「特定の知識・情報について調べるための図書。各項目の簡潔な説明が一定の体系順に配列してあり、求める知識・情報を容易に探し出せるように編纂してある。通読するのではなく、必要な箇所だけを読めばよいもの」(『最新 図書館用語大辞典』柏書房 より)である。図書館のレファレンスサービスを効果的に行うために重要な資料であり、参考図書の充実がレファレンスサービスを充実させる大きな要素である。当館では概ね、参考図書は、百科事典・総合年鑑などの一般参考図書と、専門事典・専門年鑑などの専門参考図書とに大別する。

①市民の調査研究に役立つ参考図書は、積極的に収集する。

②参考図書は原則として貸し出しを行わない。

○視聴覚資料

①比較的長期・多利用に耐えうるCD(コンパクトディスク)資料を基本とする。

CT(カセットテープ)は、特に必要な場合に限り収集する。

②郷土資料はジャンルを問わず、網羅的に収集し、浦添市出身、浦添市に関係のある人物・作品はもれなく収集する。

③レンタル業との競合を避け、発売開始後一定期間経たものを、下記のジャンルでバランス良く収集する。

ア 郷土(琉球民謡・県出身者の音楽・インディーズ盤等、図書の郷土の範囲に準ずるもの。)

イ クラシック音楽(古典派音楽・バレー音楽・声楽曲・歌劇・行進曲・宗教音楽等。)

ウ 児童音楽(アニメーション音楽を除く、唱歌・式・祭典音楽等、他児童に関するもの。)

エ 自然音・効果音

オ イージー・リスニング等(インストルメンタル・ムード音楽・実用音楽・フュージョン・ボーカルなしのジャズ及び映画音楽及び放送音楽等。)

カ 文学作品の朗読・解説等(文芸・口頭表現・語学・演芸・演劇等。)

キ 民族音楽(日本民謡・外国音楽・純邦楽等。)

④映像資料は、DVDの普及により市民の要求が高まっているため、DVD資料を基本とする。但し、DVDでは発売されず、ビデオ等の媒体のみで発売される資料については必要に応じて収集する。

⑤映像資料は、図書館行事に使用するもので上映許諾を得たもののみを選択する。

⑥CD-ROMは、著作権に配慮し、当分の間収集を見合わせる。

○雑誌・新聞・逐次刊行物

- ①発行の目的が誠実であるものを選択する。
- ②編集者に企画力や取材力があるものを選択する。
- ③伝統の有無も考慮し選択する。
- ④対象としている読者層を見極めているものを選択する。
- ⑤切り取りの多い趣味的なものは避ける。
- ⑥広告の占める割合の多いものは避ける。

○マンガ

- ①マンガは大衆文化のひとつとして確固たる地位を獲得しており、図書館として保存・提供するのに対応しい資料を収集する。
- ②日本のマンガ史上、重要とされる作品、各時代を代表する資料的価値の高い作品、社会的評価を得ている作品を選び収集する。
- ③原則として刊行が終了しており、評価の定まっているものを選び収集する。ただし、刊行が始まって15年経過し、すでに評価が定まっているものについては、刊行途中でも選書対象とする。

(例、『ガラスの仮面』『ドラえもん』『美味しんぼ』『小さな恋のものがたり』など。)

- ④文化庁メディア芸術祭・マンガ部門、手塚治虫文化賞、小学館漫画賞、講談社漫画賞、日本漫画家協会賞等を受賞した作品、候補にあがったものには留意する。その他、国内外の賞などで話題になったものには留意する。
- ⑤定評のある作家でも、名前だけで選ぶことはせず、個々の作品について選択する。
- ⑥演劇など他の芸術領域に影響を及ぼしているものには留意し、選択する。
- ⑦マンガの視覚的な特性を考慮し選択する。
- ⑧暴力及び性表現の露骨なものは慎重に選択する。
- ⑨反社会的・非道徳的な事柄を扱っているものは慎重に選択する。
- ⑩人間や生命の尊厳を脅かすもの、人権侵害・差別について配慮を欠くと認められるものについては選択の対象から外す。
- ⑪利用対象にあったものを選択する。
- ⑫児童向けについては、人間性を育み、教育上価値のあると思われるものを選択して収集する。また、多巻ものが多いため、購入の際にはタイトル選択に気をつける。

○ムック (mook)

①趣旨

一般的にムック (mook) とは「雑誌 (magazine) と図書 (book) の合成語で、雑誌風の図書、あるいは図書風の雑誌のこと。— 中略 — 雑誌的な内容・レイアウトのもので、号数を持ちながら1冊1冊は図書の性質を持つもの」(『最新 図書館用語大辞典』柏書房)をいう。当館では、雑誌同様終期を予期せず継続刊行されているが、雑誌扱いではなく図書として受け入れを要する資料を指す。

②受入基準

各資料の種類別選択基準に準じる。

ムックは雑誌同様継続購読が予想されるため、選書には細心の注意をはらうこととする。

但し、以下に該当する資料は資料の購入を控える。

ア 選択基準外。(館外貸出不可のCD-ROM、DVD等付録付き。)

イ 利用が見込めない(回転しない)ジャンル。

ウ 専門的すぎる資料。

エ 高価すぎるため、貸出用資料に適さないもの。

オ 不明、破損、汚損などになりやすいジャンル。

カ 書誌情報不詳。

キ 蔵書バランスを崩す恐れのある、特定ジャンルの資料。

○寄贈資料

- ①資料の収集、選択方針に準じて収集する。
- ②官公庁や研究機関等の刊行する各種の統計書や報告書等は、市販されていないものが多く、寄贈依頼、又は資料交換等によって積極的に収集する。

- ③本館と沖縄学研究室は、それぞれの収集方針により協議しながら収集に努める。
- ア 本館は、個人、出版社の刊行物及び官公庁発行の統計書や報告書等を収集する。
 - イ 沖縄学研究室は、官公庁発行の市町村史、文化財報告書、大学・各研究機関発行の紀要及び論文集等の専門的なものを収集する。

(7) リクエスト受入基準

①趣旨

一般的にリクエストとは「要求された資料に対して、所蔵の有無にかかわらず図書館側が何らかの方法により一定期間内に提供すること」(『最新 図書館用語大事典』柏書房)をいう。当館でいうリクエストは基本的には、所蔵しない資料を購入することを指し、相互貸借で他館から借用することも含む。

②受付件数

- ・年度で1利用者5点まで。(図書資料に限る)

③購入提供点数

リクエストを受けた資料は極力提供するよう努める。

しかし、特定の利用者が特定のジャンルを集中的にリクエストする傾向がある。その場合、蔵書バランスを崩す恐れがあるため、リクエストを受けた資料をすべて購入することは予算的にも実際困難である。あくまでも、全体の蔵書バランスを崩さないよう考慮したうえで、資料の購入を検討する。

④受入基準

各資料の種類別選択基準に準じる。

但し、以下に該当する資料の購入は控え、相互貸借による提供とする。

ア 選択基準外。(館外貸出不可のCD-ROM、DVD、漫画、参考書等。)

イ 利用が見込めない(回転しない)ジャンル。

ウ 専門的すぎる資料。

エ 全集、シリーズ、多巻ものの中の1冊。(1冊入れると全部入れる必要が生じる。)

オ 高価すぎるため、貸出用資料に適さないもの。

カ 不明、破損、汚損等になりやすいジャンル。

キ 書誌情報不詳。(書誌や版・刷の情報が不明。)

ク 入手不可。(品切れ・絶版等。)

ケ 利用者が相互貸借を希望している資料。

コ 蔵書バランスを崩す恐れのある、特定ジャンルの資料。

(8) 弁償資料代替指定基準

①趣旨

「公立図書館の蔵書は、住民の共有する貴重な知的財産であり、公立図書館は住民の信託に基づいて、資料の提供の任にあたっているものと考えられる。したがって、利用者が故意または不注意によって、利用中の図書館資料を汚損、破損または亡失したときは、弁償の責任を負わなければならない」(『最新 図書館用語大事典』柏書房) 当館もまた公立図書館として市民の知的財産を守る使命があり、利用者が図書館資料を汚損、破損または亡失したときには当該者による弁償の基準について必要な事項を以下に定める。

②弁償の原則

- ・亡失等資料と同一のものを弁償する。
- ・現物弁償を原則として、現金弁償は行わない。

③代替資料による弁償

- ・同一資料が絶版等の理由により入手不可能な場合は、課長の指定する代替資料にて弁償を指定する。

ア 図書

- ・当館選択基準に準じた資料。
- ・亡失等資料の相当額(価格内)資料。
- ・購入・入手可能な資料。
- ・同分類で該当資料がない場合はこの限りではない。

- ・官公庁発行資料で非売品の場合は、発行先に在庫を確認した上で指定。
- ・亡失等資料の価格が不明、または貴重で時価が出版当時の定価と著しく異なる場合、古書店へ現在の流通価格を確認した上で指定。

イ 雑誌

- ・絶版になるサイクルが早く、また現物資料での購入が可能だとしても、保存年限切れで確実に数年後には除籍になってしまうため、現物の入手可・不可に関わらず図書での指定に代える。
- ・図書の代替指定に準じる。
- ・沖縄関係の雑誌は除籍後製本化し永年保存となるため、入手の有無を確認し、できるだけ現物弁償とする。

ウ 視聴覚資料

- ・図書の代替指定に準じる。
- ・視聴覚資料選択基準内の範囲内で、弁償資料の価格内で購入可能な資料を指定する。但し、廃盤等により貴重資料となった視聴覚資料の場合は、時価の価格での指定とする。

(9) 館外貸出禁止資料（禁帯出・貴重資料）指定基準

①趣旨

当館における館外貸出禁止資料（禁帯出・貴重資料）の指定基準を定める。

②指定

- ・次項に掲げる基準に従い、館長がこれを行う。
- ・館長は、必要に応じて館外貸出禁止資料（禁帯出・貴重資料）の指定を解除することができる。

③館外貸出禁止資料（禁帯出・貴重資料）の指定基準

- ・参考図書など利用が頻繁なもの
- ・高価なもの
- ・欠本を生じた場合に、集書としての価値を失い、かつ補充が困難となるもの
- ・資料的・歴史的価値があるもの
- ・一括して取扱うことによって資料的価値の生ずるもの
- ・特殊なしかけ絵本等貸出用資料として適さないもの
- ・新聞原紙、雑誌・逐次刊行物の最新号
- ・レファレンス資料として活用できるもの
- ・貴重資料においては、特に入手困難なもの
- ・その他、館長が必要と認めたもの

(10) 書架移動に関するマニュアル

目的

- ・開架書架において新鮮な魅力あるよりよい書架づくりをめざす。
 - ・開架書架、閉架書庫への移動作業の効率化を図る。
除架（開架書架から抜き取りを行う際の目安）→閉架書庫へ
 - ・個々の資料について、その資料的価値、利用頻度、類書の多寡などを考慮しながら総合的に評価する。
 - ・抜き取りの判断は現物にあたって行う。
 - ・判断に迷うときには複数の職員にて判断する。
- ※閉架書庫へ移動した資料でも、開架書架の状態や、時宜、出版流通状況等にあわせ柔軟に開架書架⇔閉架書庫の移動を行う。

[本館]

一般書

①複本・・・基本的に閉架書庫へ

- ・出版年の古い方を抜く。
- ・同じ出版年の場合は傷み具合を加味。

- ・ 出版年が前後する場合には傷みが激しい方を抜く。
 - ・ 改版が出た場合には旧版を抜く。
- ※但し以下の場合を除く。
- ・ 同タイトルで出版社違い。
 - ・ 同タイトルの単行本と文庫本、単行本と全集。(収録。)
 - ・ 利用頻度の高いもの。
- ②新版が出た旧版資料
- ・ 年鑑、シリーズもの等。
- ③受入後相当期間を経過し、かつ利用頻度が低いもの。
- ・ 平成7年(1995)〈開館10年〉以前に購入したもの。
 - ・ 過去3年間貸出が一度もないもの。
- ※但し、基本図書についてはその限りでない。
- ④書架不明になる可能性が高いもの。
- ⑤類書が多いもの。
- ⑥開架書架への排架にそぐわないもの。
- ・ 資料の内容に修正・変更があったもの。(数値データ等にズレがある等。)
 - ・ 内容が時代に適さない実用書。
 - ・ 季節感がずれている実用書。
 - ・ 多巻もので巻号が揃わないもの。
 - ・ 「シミあり」「落書きあり」等シール貼付資料のうち、状態が悪いもの。
 - ・ 背文字が焼けたもの。
 - ・ 型紙、付録がないもの。
 - ・ その他、利用者の読書意欲を阻害するようなもの。

YA

- ①複本・・・基本的に閉架書庫へ。
- ・ 出版年の古い方を抜く。
 - ・ 同じ出版年の場合は傷み具合を加味。
 - ・ 出版年が前後する場合には傷みが激しい方を抜く。
 - ・ 1冊はBM、その他は閉架書庫へ。
- ②新版が出た旧版資料。
- ・ 『なるには』シリーズ、留学・学校案内、レファレンス資料等。
- ※但し、禁帯資料である留学・学校案内、レファレンス資料の旧版は貸出用へ。
- ③受入後相当期間を経過し、かつ利用頻度が低いもの。
- ・ 平成7年(1995)〈開館10年〉以前に購入したもの。
 - ・ 過去3年間貸出が一度もないもの。
- ※但し、岩波少年文庫等の基本図書についてはその限りでない。
- ④書架不明になる可能性が高いもの。
- ⑤類書が多いもの。
- ⑥開架書架への排架にそぐわないもの。
- ・ 資料の内容に修正・変更があったもの。(数値データ等にズレがある等。)
 - ・ 内容が時代に適さない実用書。
 - ・ 季節感がずれている実用書。
 - ・ 多巻もので巻号が揃わないもの。
 - ・ 「シミあり」「落書きあり」等シール貼付資料のうち、状態が悪いもの。
 - ・ 背文字が焼けたもの。
 - ・ 型紙、付録がないもの。
 - ・ その他、児童・生徒の読書意欲を阻害するようなもの。

児童書

- ①複本・・・基本的に閉架書庫へ。
- ・ 0～9類：利用頻度に関わらず複本は全て閉架書庫へ。

※但し、4類と9類については除く、特に9類については、以下3点に関しては除く。

(1)ハードカバーと文庫版の出版社が異なる。

(2)翻訳者が異なる。

(3)前記(1)で出版社が同じだが利用頻度の高いもの。

・絵本

(1)利用頻度が低いもの・・・過去5年間の貸出累計数が全館で10回以上ならば複本1冊以上残し、その他は閉架書庫へ。

(2)出版から3年経過した本・・・複本を開架書架に残し、あとは閉架書庫へ。

(冊数は状況により異なる。)

(これまでの平均回転数を参考にし10回とする。)

(3)状態が悪いもの以外は抜き取りを行わない。

(利用頻度が高いため。)

(4)JK・EK・JS・・・1~2冊を開架書庫に残し、あとは閉架書庫へ。

(総合学習等調べものの状況により異なる。)

②新版が出た旧版資料、情報が古いもの。

・年鑑、シリーズもの、児童レファレンス資料等。

※但し、禁帯資料である児童レファレンス資料の旧版は貸出用へ、旧旧版は閉架書庫へ。

③開架書架への排架にそぐわないもの。

・資料の内容に修正・変更があったもの。(数値データ等にズレがある等。)

・内容が時代に適さない実用書。

・「シミあり」「落書きあり」等シール貼付資料のうち、児童の利用に不適切と思われる状態の悪いもの。

・背文字が焼けたもの。

・型紙、付録がないもの。

レファレンス資料(郷土資料含)

①複本・・・基本的に閉架書庫へ。

※但し、利用頻度の高いものは除く。

②新版が出た旧版資料。

・年鑑、統計、シリーズもの等。

※但し、禁帯資料である資格関連、家庭の医学関連の旧版は貸出用へ、旧旧版は閉架書庫へ。

・平成7年(1995)〈開館10年〉以前に購入したもの。

・過去3年間貸出が一度もないもの。(禁帯資料を除く。)

※但し、ジャンルが少ないものに関してはこの限りでない。

③類書が多いもの。

④開架書架への排架にそぐわないもの。

・「シミあり」「落書きあり」等シール貼付資料のうち、著しく状態が悪いもの。

雑誌

・原則として雑誌書架の半分を目安とし、それを超えるようであれば閉架書庫へ移動、雑誌の厚み・大きさ等で書架がすぐにいっぱいになるものは随時古いものから移動。

①受入後相当期間を経過したもの。

(1)月刊誌・・・出版6ヶ月後。

(2)週刊誌・・・出版3ヵ月後。

(3)隔月刊誌・季刊誌・不定期刊誌・・・雑誌書架の半分を目安とする。

②書架不明になる可能性が高いもの。(最新号の紛失が続くもの等。)

③季節感がずれているもの。

④汚損・破損の激しいもの。

AV

①複本はBMへ移動。

②提供が困難と思われる資料(1曲以上音飛び、歌詞カードや解説書なしのもの、CD枚数が

不足等)については閉架書庫へ移動。提供が困難な資料につき、貸出禁止の状態にする。

③録音図書(逐次)は保存年限が1年のため毎年蔵書点検前に前年度分を閉架書庫へ。

[BM]

BM(車)→BM(BMコーナー)、BM(BMコーナー)→開架、BM(車)→開架、開架→BM(車)

- ・原則として、BMからすぐ閉架書庫へ移動とはせず、まずは開架書庫へ移動する。BM書架の状況や利用者動向に注目し、適宜BM(車)⇔BM(BMコーナー)⇔開架の移動をする。その際にはBM・本館協力の上で行う。

一般書

- ・BM利用者の多様なニーズに併せ、定期的には本館との入替を行う。
- ・BMで利用の少ないものを本館へ移動する。その際には以下のことを考慮する。
※但し、BMと本館合意の上で必要に応じての移動についてはその限りではない。また、BMに所蔵がないもので必要なものを適宜本館から補充移動する。
 - (1) BM(車)→BM(BMコーナー)
- ・としまる書架へ入りきれなくなったもの。
- ・過去1年間貸出が一度もないもの。
 - (2) BM(車)→開架
- ・所蔵状態が悪いもの。

YA

- ・BM(車)に関しては随時、本館YA書架から補充する。また絶えず担当間で調整を行い、各書架移動動向に注目し、資料の移動を行う。

児童書

- ・本館からBMにない資料を、開架書架からは所蔵状態がよいものをBMへ移動。BMからの開架書架へ移動する際には、本館児童担当に引き継ぐ。
本館児童担当は本館開架資料の状態と比較し、状態のよいものを開架書架へ出し、その他は閉架書庫へ移動する。複本の状況も考慮する。

郷土書

- ・複本があるもののうち、過去1年間貸出が一度もないものは閉架書庫へ。

雑誌

- ・出版後半年を越えるものに関しては本館へ移動。但し、回転数が多いものについては10ヶ月を越えてもよい。

AV

- ・提供が困難と思われる資料(1曲以上音飛び、歌詞カードや解説書なしのもの、CD枚数が不足等)については閉架書庫へ移動。提供困難な資料につき、貸出禁止の状態にする。
- ・補充は随時本館AV書架から行う。また絶えずBM・本館AVで調整を行い、各書架の利用動向に注目し、BM⇔AV開架書架での資料の移動を行う。

除籍提案

前項までの基準により閉架書庫へ移動した資料で、特に次のことに留意し、除籍する。

- ①衛生面で問題のあるもの。
- ②復元不能なもの。
- ③内容が時代に適さないもの。
- ④閉架書庫を占有し、書庫(書架)を圧迫しているもの。
- ⑤著しく利用頻度が低いもの。
- ⑥その他、資料提供・書架管理業務において新たに発生した原因により所蔵が適切と思われな
いもの等、「除籍基準」の各項目に該当するものを、奉仕係各担当をともし館長への除籍提案
をすることができる。提案の際には、資料の状態を「除汚」「除そ」とする。

●文化部紀要『よのつち』図書館関係執筆者一覧

◆執筆職員【執筆順】

号	執筆者	タイトル
創刊号	森田牧子・石川典子 神山睦美・又吉愛子	凶南の鵬翼 ～働く場・育てる場としての公共図書館～Vol. 1
	玉城伸子	オモロに見る神女 —高級神女三十三君と地方神女—
2	當銘めぐみ	アメリカ公共図書館視察報告
4	津波 清	家譜に見る士族の位階と職
	前津政廣	浦添市移民史編集刊行事業について
	栗野 慎一郎	【史料ノート】幕末維新期の「琉球情報」に関する史料学的研究 —『大日本維新資料』『維新史料綱要』に見る琉球関係記事—
5	津波 清	浦添の今昔と移住者の軌跡
	森田牧子	図書館サービスの一年 —そしてここに至るまでの数年—
	前津政廣	南米ブラジル・アルゼンチンにおける移民現地調査報告
6	前津政廣	南米(ペルー・ボリビア・ブラジル)移民調査概要報告(Ⅱ)
	平良元輝	次代に架ける喜びの虹 —移動図書館[としまる]のあゆみ—
7	津波 清	ハワイ諸島・北米移民移住調査概要
	新城恵理	アメリカ情報コーナー開設と図書館行事
	比嘉要一・口野美由紀 森田牧子・銘苺千賀代	「新おはなしコーナー(仮称)増築のことなど —児童サービスの充実を期して—
8	砂川郁子	開館 26 周年を経て図書館管理を考える
9	栗野慎一郎	幕末維新期の「琉球情報」に関する史料学的研究Ⅱ —『島津斉彬文書』に見る「評定所文書」関連記事—
10	栗野慎一郎	幕末維新期の「琉球情報」に関する史料学的研究Ⅲ —『尚家文書』に見る「評定所文書」関係記事 (異国船関係資料を中心に)—
11	仲地清	沖縄の日本復帰とそれが在沖フィリピン人社会へ与えた影響
	森田牧子・宇良留美	アメリカ情報コーナーの10年
12	鈴木悠・安和吉則 栗野慎一郎	呉姓我那覇家の家族史 —泊家伝承の厨子甕と家譜から—
	栗野慎一郎	尚維衡の浦添隠棲について—関係史料を読む—
	石川友紀	カナダへの沖縄出身移民の歴史と実態

『よのつち』とは、浦添と沖縄の歴史、文化美術、工芸、自然などに関する調査・研究と、浦添市の文化財、文化振興、図書館、美術館の将来展望につながる調査・研究などを通して浦添市や沖縄県の文化・学術・文化行政の振興と発展に寄与することを目的に浦添市教育委員会文化部が発行する。また、その発行を通して浦添市文化部職員の資質向上を図るとともにその趣旨に賛同する者を支援することを目的とする。

沖縄学研究室

●沖縄学研究室の概要

開 室 平成2年4月1日

所蔵資料 約30,000点(図書資料、マイクロフィルム、写真、パネル等)

●沖縄学研究室の運営方針

沖縄学研究室の運営方針を「浦添市立図書館の設置および管理に関する条例施行規則第2条14号、15号」と「浦添市立図書館の努力目標(4)」に基づいて次のように定める。

1. 施行規則第2条

14号「郷土資料及び地方行政資料の収集並びに貸出し」

15号「沖縄学の研究」

2. 図書館の努力目標

(4)「浦添市に関する全ての資料を収集する。また、市の地域的・歴史的特性を踏まえ沖縄学研究の拠点となる図書館を目指す」

●令和2年度沖縄学研究室の重点目標と主な事業計画

令和2年度沖縄学研究室の重点目標を次のように設定し、主な事業を次のように計画する。

1. 重点目標及び努力目標

浦添市立図書館の施行規則及び努力目標の規定を受け、重点目標を次のように定める。

- (1) 沖縄学に関するレファレンスの充実、強化を図る。
- (2) 沖縄(琉球)・中国・朝鮮半島及び東南アジアに関する資料の充実、強化を図る。
- (3) 歴史資料(古文書・行政文書等)の収集・保存・活用に努める。
- (4) 浦添の歴史文化整備保存事業の成果の普及に努める。
- (5) 琉球王国評定所文書の成果の普及に努める。
- (6) 関係機関、団体との連絡調整を図り連携を強化する。

2. 主な事業計画

浦添市立図書館の運営方針及び努力目標を受け、次のような事業を実施する。

- (1) 沖縄学に関するレファレンス
 - ①浦添・沖縄に関するレファレンス
 - ②沖縄学講座・展示会の開催
- (2) 沖縄(琉球)・中国・朝鮮半島及び東南アジアに関する資料収集
 - ①沖縄(琉球)・中国・朝鮮半島及び東南アジアに関する図書資料等の収集
 - ②沖縄学に関する研究論文等の収集
 - ③友好都市である中国福建省泉州市の資料収集
- (3) 歴史資料(古文書・行政文書等)の収集とその保存活用
 - ①沖縄及び浦添に関する古文書の収集

- ②浦添市行政文書から歴史資料となる文書の選別収集及び保存
- (4) 浦添の歴史文化整備保存事業の成果の普及を図る
 - ①浦添の歴史資料の収集・整備・保存
 - ②浦添の歴史資料の活用・普及（展示会・講演会等の開催・所蔵写真のデジタル化およびホームページ掲載）
 - ③『浦添市移民史 証言・資料編』『浦添市移民史 本編』の普及を図る
 - ④浦添市内字誌編集に対する資料の提供および協力
- (5) 浦添市史事業の成果の普及を図る
- (6) 琉球王国評定所文書刊行事業の成果の普及を図る
- (7) 浦添市移民史編集刊行事業の成果の普及を図る
- (8) 県内外の関係機関との連携
 - ①県内外の関係機関の事業への協力・参加（ex. 沖縄地域学リポジトリ）
 - ②関係機関・団体等の機関誌、会誌、資料等の収集
- (9) 又吉栄喜文庫関連企画の実施

● 沖縄学研究室所蔵資料と利用方法

研究室の資料は約 30,000 点、浦添市に関連する文献資料をはじめ、沖縄（琉球）・中国・朝鮮半島及び東南アジアの歴史・文化に関する資料を所蔵している。

あわせて浦添市史の編集・刊行のために収集した写真や地図、戦前の新聞資料（マイクロ複製）および琉球王国評定所文書の編集・刊行のために収集した影印本（マイクロ複製）などを所蔵している。影印本（マイクロ複製）公開に向け、現在関係機関と調整中。

また平成 19 年度から 24 年度までに実施した移民史編集刊行事業に伴い外務省外交史料館をはじめ、JICA 横浜海外移住資料館、県内市町村史等から移民出稼ぎ移住関係資料を収集した。

郷土レファレンス資料もあわせて排架し利用者の調査・研究の利便性を図っている。

令和元年度沖縄学講座「琉球沖縄史像を検証する」のようす



第 1 回「琉球の国家・社会像の見直し—権力・絵図・民衆—」
講師：豊見山 和行 氏 6 月 8 日（土）



第 2 回「いま、琉球併合を考える—東アジア史の視点から—」
講師：波平 恒男 氏 6 月 22 日（土）



第 3 回「なぜ『茶と琉球人』を書いたのか？—琉球沖縄史を見る眼—」
講師：武井 弘一 氏 6 月 29 日（土）



会場の受講者のようす（第 2 回）

● 沖縄学研究室刊行物の紹介

- ① 『沖縄学研究室－利用あんない』 1990年7月発行
- ② 『沖縄学研究室所蔵未公開・新収蔵写真展－写真のむこう側 ウラソエ・沖縄』 (図録) 2001年9月発行
- ③ 『平成14年度浦添市立図書館沖縄学研究室企画展－行政資料にみる浦添の戦後』 (図録) 2002年11月発行
- ④ 『浦添市立図書館特別企画展 ウラシーンチュの「移民・出稼・移住」展』 (図録) 2006年10月発行
- ⑤ 『浦添市移民史ビジュアル版その1 海外移民編 世界に羽ばたいたウラシーンチュたち』 2011年9月発行
- ⑥ 『浦添市移民史ビジュアル版その2 アジア太平洋・国内編 もうひとつのウラシーンチュたちの体験－渡航・戦争・戦後－』 2013年3月発行
- ⑦ 『浦添市移民史 証言・資料編』 2014年3月発行
- ⑧ 『浦添市移民史 本編』 2015年3月発行
- ⑨ 『又吉栄喜文庫開設展－すべては浦添からはじまった－』 2017年9月発行
- ⑩ 『すべては浦添からはじまった 又吉栄喜文庫開設記念トークショー』 2018年9月発行

〔紀要〕

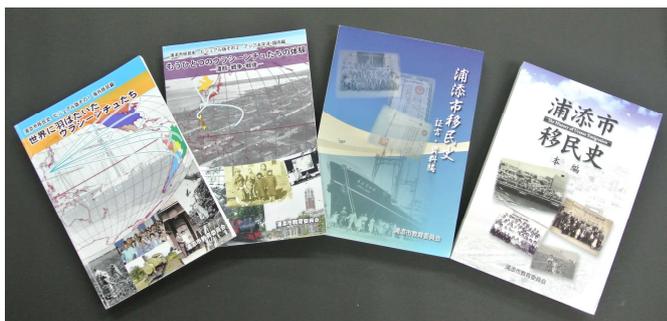
- ① 『浦添市立図書館紀要』 第1号～15号 1989年12月～2004年3月発行
- ② 『浦添市文化部紀要 よのつち』 第1号～12号 2005年3月～2016年3月発行

〔琉球王国評定所文書〕

- ① 『琉球王国評定所文書』 (全18巻、補遺別巻、総索引) 1988年3月～2003年3月発行
2002年12月に沖縄タイムス出版文化賞 (特別賞) 受賞
- ② 『旧琉球藩評定所書類目録』 (『琉球王国評定所文書』別冊) 1989年3月発行
- ③ 『琉球王国評定所文書刊行事業完了記念シンポジウム報告書 百田紙に記された琉球の近世』 2002年7月発行



『琉球王国評定所文書』
(1988年3月～2003年3月発行)



『浦添市移民史ビジュアル版その1』
『浦添市移民史ビジュアル版その2』
『浦添市移民史 証言・資料編』
『浦添市移民史 本編』
(2011年9月～2015年3月発行)

●浦添の歴史文化整備保存事業

本市は、「浦添市史」通史編、資料編、別巻の全8巻を完結し10余年の歳月をかけて浦添市史編集事業を平成2年度に終了した。加えて昭和63年に『写真で見る浦添のあゆみ』を発刊し、市史編集事業の成果とした。

平成19年度から24年度までに実施した浦添市移民史編集刊行事業においては移民・出稼ぎにおける一世、二世の聴取調査及び戦後60年を経て浦添市の発展の礎となった移住についての聴取調査、資料収集を実施し、平成23年度に『浦添市移民史ビジュアル版その1 海外移民編 世界に羽ばたいたウラシーンチュたち』、平成24年度は『浦添市移民史ビジュアル版その2 アジア太平洋・国内編 もうひとつのウラシーンチュたちの体験ー渡航・戦争・戦後ー』を刊行した。

『浦添市史』、『浦添市移民史ビジュアル版』の刊行をもって歴史や文化に関心のある市民のニーズに応じてきたが、事業過程で収集した口承民話、戦争体験、移民体験、移住等の聴き取り記録や収集した写真資料等の多くがいまだ市民の目に触れないでいる。

「浦添の歴史文化整備保存事業」はこれらを「浦添の歴史文化資料」とし市民共有の財産として整備保存管理し、後世に引き継ぐために実施した。

平成25年度は『浦添市移民史ビジュアル版』を深く掘り下げ浦添の移民にかかる多くの証言や資料を盛り込んだ『浦添市移民史 証言・資料編』を刊行した。

平成26年度は『浦添市移民史 本編』を刊行し、浦添市における海外移民・移住や出稼ぎ等の実相や、それが浦添市の各面に及ぼした影響等について、当時の経済的・社会的背景も踏まえて検証し、これを明らかにした。

これら成果物を普及し移民先の浦添出身者や移民先国の人々と交流を行うことで、互いの国の歴史・文化の相互理解に繋がり国際化時代に対応できる人材を育成するとともに、浦添・沖縄の歴史と文化を国内外へ周知することに寄与する。



10.30 世界のウチナーンチュの日企画「うらそえの移民」展（期間：令和元年10月30日～11月28日）



寄贈および収集移民関連資料

●寄贈総数表【令和元年度】

■本館寄贈

内 訳		郵 送		持 込		合 計	
		件 数	592	件 数	849	件 数	1,441
資 料 区 分		受 付	受 入	受 付	受 入	受 付	受 入
		部 数	部 数	部 数	部 数	部 数	部 数
図書資料	一 般 資 料	103	57	497	238	600	295
	郷 土 資 料	243	241	378	369	621	610
	児 童 資 料	32	30	117	101	149	131
	Y A 資 料	7	6	20	19	27	25
	洋 書	0	0	0	0	0	0
小 計		385	334	1,012	727	1,397	1,061
A V 資 料		0	0	1	1	1	1
雑 誌 資 料		0	0	0	0	0	0
逐 次 資 料		285	283	1,874	895	2,159	1,178
新 聞 資 料		0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0
合 計		670	617	2,887	1,623	3,557	2,240

総合計 1,441 件 (3,557部 うち受入 2,240部)

■アメリカ情報コーナー寄贈

内 訳		郵 送		持 込		合 計	
		件 数	0	件 数	16	件 数	16
資 料 区 分		受 付	受 入	受 付	受 入	受 付	受 入
		部 数	部 数	部 数	部 数	部 数	部 数
図 書 資 料		0	0	39	39	39	39
A V 資 料		0	0	1	1	1	1
雑 誌 資 料		0	0	274	274	274	274
新 聞 資 料		0	0	12	12	12	12
そ の 他		0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	326	326	326	326

総合計 16 件 (受入326部)

■沖縄学研究室寄贈

内 訳		郵 送		持 込		合 計	
		件 数	117	件 数	29	件 数	146
資 料 区 分		受 付	受 入	受 付	受 入	受 付	受 入
		部 数	部 数	部 数	部 数	部 数	部 数
図 書 資 料		76	63	30	30	106	93
A V 資 料		0	0	0	0	0	0
雑 誌 資 料		0	0	0	0	0	0
逐 次 資 料		79	71	2	2	81	73
新 聞 資 料		0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0
合 計		155	134	32	32	187	166

総合計 146 件 (187部 うち受入 166部)

●個人寄贈者一覧【令和元年度 敬称略】

ア行 東江 すま子 宇座 恵美子 上原 正守 運天 政徳 親富祖 京太
 カ行 金城 順子
 サ行 下地 義雄 砂川 健夫
 タ行 平良 順子 玉城 貴子 知念 和美 手登根 光子
 ナ行 中川 稔 仲村 利江 仲村 誠
 ハ行 比嘉 由香
 マ行 宮里 忠明

A・K I・H I・M I・E I・W U・T U・H O・Y O・M O・K K・H K・M K・A K・M K・N K・K K・Y
 K・T S・T S・S S・A S・T J・M S・T S・A S・A T・R T・M T・R T・S T・N T・S T・T T・T
 T・T N・A N・K N・M N・N N・A H・T H・K H・S H・W H・T M・Y M・S M・H M・Y M・K M・N
 M・Y Y・M Y・M Y・Y Y・S M・M N・M N・N O・S U・R I・Y U・H K・H U・T A・Y

※氏名掲載を希望しない方は、イニシャルで掲載しています。アルファベット順[姓・名の順]

※団体寄贈者に関しましては、掲載を割愛しています。

●ベストリーダー【令和元年度】

資料区分別に、貸出回数が多かった資料上位 10 位まで表示しています。

(マンガを除く。)

<児童書>

順位	貸出回数	資料名	編著者	出版社	分類
1	106	ぞうくんのさんぽ	なかの/ひろたか // さく・え	福音館書店	EA
2	89	14 ひきのあさごはん	いわむら/かずお // 作	童心社	EX
3	85	かいけつゾロリのきょうふのカーレース	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	J913
4	84	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま/けん // [え]	こぐま社	EA
4	84	ぴょーん	まつおか/たつひで // 作・絵	ポプラ社	EA
5	83	ぶくちゃんのすてきなばんつ	ひろかわ/さえこ // さく	アリス館	EA
6	82	かいけつゾロリイシ・ノシ大ピンチ!!	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	J913
7	80	かいけつゾロリのにんじゃ大さくせん	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	J913
8	79	かいけつゾロリとなぞのひこうき	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	J913
8	79	こぐまちゃんおはよう	わかやま/けん // [え]	こぐま社	EA
9	74	かいけつゾロリの大金もち	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	J913
9	74	かいけつゾロリのじごくりょこう	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	J913
9	74	こぐまちゃんおぼーる	わかやま/けん // [え]	こぐま社	EA
10	72	おつきさまこんばんは	林 明子 // さく	福音館書店	EA
10	72	かいけつゾロリ大けつとう!ゾロリじょう	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	EA

<児童郷土>

順位	貸出回数	資料名	編著者	出版社	分類
1	46	はじめてのおともだち	ひな // 文	新星出版	EK
2	31	だるまちゃんとキジムナちゃん	加古/里子 // さく・え	福音館書店	EK
3	23	森ぬゆうびんやさん	あかみね/すすむ // 文・絵	文進印刷	EK
4	16	うしろにいるのだあれ うみのなかまたち	accototo // 著	幻冬舎	EK
5	15	ぼくもあつたらいいなあ	いさお名ゴ支部 // 作絵	FEC オフィス	EK
5	15	沖縄県観光学習教材	沖縄県観光商工部観光振興課 // 編	沖縄県観光商工部観光振興課	JK29
7	14	しずくちゃん 14	ぎぼ/りつこ // 作・絵	岩崎書店	EK
7	14	いのちのまつり	草場一壽 // 作	サンマーク出版	EK
7	14	にやんにやんにやん 日本にやんこツアーのまき	なかじま/みすず // 文・絵	徳間書店	JK29
10	13	おきなわが食べてきたもの	上里/隆史 // 文	ボーダーインク	JK383
10	13	モーモーぐわーぬえんそうくわい いちやりばちよーでー	赤嶺/進 // 文・絵	文進印刷	EK

10	13	バキムン退治	具志川市学校図書館司 書研究会 // 文	具志川市教育 委員会	P
10	13	サンゴのしま	吉山/佳子 // さく・え	ボーダーインク	EK
10	13	わすれたって、いいんだよ	上条/さなえ // 文	光村教育図書	EK
10	13	しあわせのたね	上間/陽恵 // 著	えんじえるぷら ねっと	EK

<YA>

順位	貸出回数	資料名	編著者	出版社	分類
1	51	蜜蜂と遠雷	恩田陸 // 著	幻冬舎	Y913.6
2	37	漫画君たちはどう生きるか	吉野源三郎 // 原作	マガジンハウス	Y159
3	35	かがみの孤城	辻村深月 // 著	ポプラ社	Y913.6
4	33	君の膵臓を食いたい	住野よる // 著	双葉社	Y913.6
5	26	振袖大好き！2011-2012	中野俊一 // 編	世界文化社	Y593.8
5	26	トラペジウム	高山一実 // 著	KADOKAWA	Y913.6
7	25	そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ // 著	文藝春秋	Y913.6
8	23	ボールペンでちょこっとイラスト帖	あらいのりこ // 著	永岡書店	Y726.5
8	23	ボールペンで描くかわいいイラスト BOOK	森シホカ // 著	成美堂出版	Y726.5
10	21	スヌーピーのおべんとう絵本	チャールズ・M・シュル ツ // 原作	復刊ドットコム	Y596.4
10	21	スヌーピーの料理絵本	チャールズ・M・シュル ツ // 原作	復刊ドットコム	Y596.2
10	21	誰だってちょっと落ちこぼれ スヌーピー たちに学ぶ知恵	河合隼雄 // 著 谷川俊太郎 // 著	講談社	Y726.1
10	21	5分後に意外な結末 ex	桃戸ハル // 編著	学研プラス	Y908

<一般書>

順位	貸出回数	資料名	編著者	出版社	分類
1	68	マスカレード・ホテル	東野 圭吾 // 著	集英社	913.6
2	56	火花	又吉 直樹 // 著	文藝春秋	913.6
3	52	コンビニ人間	村田 紗耶香 // 著	文藝春秋	913.6
4	41	昨日がなければ明日もない	宮部 みゆき // 著	文藝春秋	913.6
5	40	人生がときめく片づけの魔法 (1)	近藤 麻理恵 // 著	サンマーク出版	597
6	35	ある男	平野 啓一郎 // 著	文藝春秋	913.6
7	34	フーガはユーガ	伊坂 幸太郎 // 著	実業之日本社	913.6
7	34	愛なき世界	三浦 しをん // 著	中央公論新社	913.6
9	33	沈黙のパレード	東野 圭吾 // 著	文藝春秋	913.6
10	31	盤上の向日葵	柚月 裕子 // 著	中央公論新社	913.6
10	31	花の鎖	湊 かなえ // 著	文藝春秋	913.6

<AV>

順位	貸出回数	資料名	演奏者等	出版社	分類
1	23	イメージ クラシック	ポール・クロスリー//[ほか]演奏	Sony Music Japan International	A101
2	21	ジャズ・シネマ・ノスタルジア	東京キネマ・ジャズトリオ//演奏	King Record	A230
2	21	明日の健康のための やすらぎの音楽	石川 滋//コントラバス	日本コロムビア	A134
4	20	立川志らく 2	立川 志らく//口演	Sony Music Direct	A560
5	19	英語で楽しむみんなだいすき ミュージカル&映画のうた		日本コロムビア	A262
6	18	ベストさくらソング		日本クラウン	A260
6	18	Finally	Namie Amuro//歌	エイベックス・エンタ テインメント	A290
8	17	おやこで歌おう! さいしん★キッズソング	山野/さと子//[ほか]歌	King Record	A990
9	16	君の名は。	RADWIMPS//演奏	ユニバーサルミュー ジック	A995
9	16	琉球舞踊曲集 2	安富祖流絃声会//演奏	国際貿易	A370
9	16	永遠の映画音楽デラックス	ジョン・ノルシア・ストリングス//[ほか]演奏	コロムビアミュージッ クエンタテインメント	A261
9	16	雨の日クラシック	リーナ・メジューエワ//[ほか]演奏	日本コロムビア	A101

<一般郷土>

順位	貸出回数	資料名	編著者	出版社	分類
1	55	宝島	真藤/順丈 // 著	講談社	K930
2	51	入れ子の水は月に轆かれ	オーガニックゆうき // 著	早川書房	K930
3	37	仏陀の小石	又吉/栄喜 // 著	講談社	K930
3	31	マンガ沖縄・琉球の歴史	上里/隆史 // 著	河出書房新社	K201
5	27	DA PUMP の世界	チーム DA PUMP // 編	アース出版局	K760
5	27	DA PUMP の素颜	グループ沖縄 // 編	サンエイト	K760
7	26	宮良當壯全集 8[甲編]	宮良/當壯 // 著	第一書房	K080
7	26	宮良當壯全集 8[乙編]	宮良/當壯 // 著	第一書房	K080
7	26	誤解だらけの沖縄と領土問題	八幡/和郎 // 著	イースト・プレス	K319
10	25	沖縄問題、解決策はこれだ!	橋下/徹 // 著	朝日出版社	K390

<雑誌>

順位	貸出回数	資料名	巻次	出版社	分類
1	23	日経 WOMA	2018年3月号	日経 BP 社	婦人
2	22	ニュートン	2019年4月号	ニュートンプレス	趣味

3	20	ニュートン	2019年3月号	ニュートンプレス	趣味
4	19	ニュートン	2018年6月号	ニュートンプレス	趣味
4	19	BE-PAL	2019年4月号	小学館	趣味
4	19	エッセ	2019年3月号	フジテレビジョン	婦人
4	19	サンキュ!	2019年1月号	ベネッセコーポレーション	婦人
8	18	エッセ	2018年5月号	フジテレビジョン	婦人
8	18	クロワッサン	2018年2月10日号	マガジンハウス	婦人
8	18	サンキュ!	2018年4月号	ベネッセコーポレーション	婦人

	タイトル	分類	発行頻度	受入区分	保存年限	備 考
1	あうる	総合	隔月	寄贈	10年	H23年3月まで
2	AERA	総合	週刊	購入	1年	
3	アグリおきなわ	総合	隔月	寄贈	10年	H21年3月まで
4	アサヒカメラ	趣味	月刊	購入	3年	
5	ALBAアルパトロスピー	スポーツ	月2	購入	3年	
6	anan	婦人	週刊	購入	3年	
7	家の光	婦人	月刊	寄贈	5年	
8	ViVi	婦人	月刊	購入	3年	
9	栄養と料理	婦人	月刊	購入	3年	
10	ESSE	婦人	月刊	購入	3年	
11	edu	児童	月刊	寄贈	3年	H28年3月以降休刊
☆12	NHKきょうの健康	総合	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入、H27年4月より再度購入
13	NHKきょうの料理	婦人	月刊	購入	3年	
14	NHK趣味の園芸やさいの時間	趣味	隔月	購入	3年	
15	NHKすてきにハンドメイド	婦人	月刊	購入	3年	
16	おきなわ倶楽部	総合	月刊	寄贈	10年	
17	沖縄県医師会報	総合	月刊	寄贈	10年	
18	おきなわ釣り天国	趣味	隔月	購入	3年	
19	男の隠れ家	趣味	月刊	寄贈	3年	
20	おひさま	児童	隔月	購入	5年	H30年3月以降休刊
21	会社 四季報	総合	季刊	購入	5年	
☆22	Casa BRUTUS	総合	月刊	寄贈	3年	
25	家電批評	総合	月刊	購入	3年	
26	空手道	スポーツ	月刊	購入	5年	H28年2月まで購入
☆27	かぞくのじかん	総合	季刊	寄贈	3年	
28	季刊 沖縄	総合	季刊	寄贈	10年	
29	Gb(ギターブック)	趣味	月刊	購入	永年	H15年5月以降休刊
30	キネマ旬報	趣味	月2	購入	永年	
☆31	クーヨン	児童	月刊	寄贈	5年	
☆32	暮らしの手帖	婦人	隔月	寄贈	永年	
☆33	クロワッサン	婦人	月2	寄贈	3年	
34	芸術新潮	趣味	月刊	購入	永年	H24年3月まで購入
35	月刊書写書道	趣味	月刊	寄贈	3年	
36	月刊ポプラディア	児童	月刊	購入	5年	H23年4月以降休刊
37	現代	総合	月刊	購入	永年	H21年1月以降休刊
38	現代思想	総合	月刊	購入	永年	H24年3月まで購入
39	現代の図書館	総合	季刊	寄贈	10年	
☆40	子どもの科学	児童	月刊	購入	5年	
41	子どもの本棚	児童	月刊	購入	5年	H25年3月まで購入
42	この本読んで	児童	季刊	購入	5年	
43	コーラルウェイ	総合	隔月	寄贈	10年	製本S60～H15年
☆44	碁ワールド	趣味	月刊	寄贈	3年	
45	財界九州	総合	月刊	購入	10年	H25年3月まで購入
46	サッカーマガジン	スポーツ	月刊	購入	3年	H28年9月以降『SOCCER MAGAZINE ZONE』からタイトル名を変更。
47	SOCCER MAGAZINE ZONE	スポーツ	月刊	購入	3年	H25年11月以降『週刊サッカーマガジン』からタイトル名を変更し、月刊誌となる。
48	サライ	総合	月刊	購入	3年	H30年3月まで
49	サンキュ	婦人	月刊	購入	3年	
50	サンデー毎日	総合	週刊	購入	1年	
51	CNN ENGLISH EXPRESS	総合	月刊	購入	10年	
52	自治おきなわ	総合	季刊	寄贈	10年	
53	自治新報	総合	月刊	寄贈	3年	H16年4月まで
54	社会教育	総合	月刊	寄贈	3年	
55	JAZZ LIFE	趣味	月刊	購入	永年	H18年3月まで購入
56	週刊朝日	総合	週刊	寄贈	1年	
57	週刊新潮	総合	週刊	購入	1年	
58	週刊ダイヤモンド	総合	週刊	購入	1年	
59	週刊東洋経済	総合	週刊	購入	1年	
☆60	週刊文春	総合	週刊	寄贈	1年	
61	週刊ベースボール	スポーツ	週刊	購入	1年	
62	将棋世界	趣味	月刊	購入	3年	

	タイトル	分類	発行頻度	受入区分	保存年限	備 考
63	新建築	趣味	月刊	購入	永年	
64	新 幼児と保育	児童	隔月	購入	3年	H23年4月『3・4・5歳児の保育』と『0・1・2歳児の保育』が合併H24年3月まで購入
65	スカイワード	総合	月刊	寄贈	5年	
66	スクリーン	趣味	月刊	購入	3年	
67	Soup	婦人	月刊	購入	3年	H29年5月以降休刊
68	スポーツイベント ハンドボール	スポーツ	月刊	購入	3年	
69	スポーツグラフィック ナンバー	スポーツ	隔週	購入	3年	
70	SUMAI no SEKKEI	趣味	隔月	購入	3年	
71	世界	総合	月刊	購入	永年	H25年3月まで購入
72	SEVEVTEEN	婦人	月刊	購入	3年	
73	ダ・ヴィンチ	総合	月刊	購入	3年	
74	ターザン	スポーツ	月2	購入	3年	
☆75	旅の手帖	趣味	月刊	寄贈	3年	
76	致知	総合	月刊	寄贈	5年	
77	ちゃぐりん	児童	月刊	寄贈	5年	
78	CHANTO	婦人	月刊	購入	3年	H26年6月以降『すてきな奥さん』からタイトル名を変更
79	図書	総合	月刊	寄贈	3年	
80	図書館雑誌	総合	月刊	寄贈	10年	
81	nicora	婦人	月刊	寄贈	3年	
☆82	日経WOMAN	婦人	月刊	寄贈	3年	
83	日経エンターテイメント	総合	月刊	購入	3年	
84	日経TRENDY	総合	月刊	購入	3年	
85	日経パソコン	趣味	月2	購入	3年	
86	日経ビジネス	総合	週刊	購入	1年	
87	日経ヘルス	婦人	月刊	購入	3年	
88	日経マネー	総合	月刊	購入	3年	
89	News week 英語版	総合	週刊	購入	永年	H24年12月まで購入
90	News week 日本版	総合	週刊	購入	1年	
91	ニュースがわかる	児童	月刊	購入	5年	
☆92	Newton	趣味	月刊	寄贈	3年	
93	NONSTOP ENGLISH WAVE	総合	月刊	購入	10年	H23年3月以降休刊
94	non-no	婦人	月刊	購入	3年	
95	俳句界	趣味	月刊	寄贈	3年	
96	華風	総合	月刊	寄贈	3年	
97	月刊ピアノ	趣味	月刊	購入	3年	
98	PHP	総合	月刊	購入	3年	
99	ビジネスチャンス	総合	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
100	BE-PAL	趣味	月刊	購入	3年	
101	Fishing Cafe	趣味	季刊	寄贈	5年	
102	婦人公論	婦人	月2	寄贈	3年	
103	婦人之友	婦人	月刊	購入	3年	
104	武道	スポーツ	月刊	寄贈	3年	
105	PRESIDENT	総合	月2	購入	3年	
106	Pre-mo	婦人	季刊	購入	3年	
107	文学界	総合	月刊	寄贈	3年	
☆108	文藝春秋	総合	月刊	寄贈	5年	
109	Body-mo	婦人	季刊	購入	3年	
110	みすず	総合	月刊	寄贈	3年	
111	ミセス	婦人	月刊	購入	3年	
112	MOE	総合	月刊	購入	5年	
113	ゆうゆう	婦人	月刊	購入	3年	
114	ゆほびか	総合	月刊	購入	3年	
115	LA MER	趣味	隔月	寄贈	3年	H29年3・4月号以降休刊
116	ランナーズ	スポーツ	月刊	購入	3年	
117	LEE	婦人	月刊	寄贈	3年	
118	レタスクラブ	婦人	月刊	購入	3年	

☆はスポンサー制度による雑誌。

※過去に所蔵していた雑誌については、平成29年度浦添市立図書館報(p71～p73)を参照。

●アメリカ情報コーナー所蔵雑誌 タイトル一覧

令和元年度受入雑誌一覧

No.	タイトル	分類	発行頻度	受入区分	保存年限	備考1	備考2	備考3
1	Baby Bug	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2017年5月～		欠号あり
2	Beanz	アメリカ	隔月	寄贈	3年	2019年2月号～		欠号あり
3	Better Homes and Gardens	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2011年1月～	平成23年度中止 平成25年度再開	欠号あり
4	Bon Appetit	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月～	平成24年度中止 平成25年度再開	欠号あり
5	Bookmarks	アメリカ	隔月	寄贈	3年	2014年1-2月号～		欠号あり
6	Disney Junior	アメリカ	隔月	寄贈	3年	2017年7月～		欠号あり
7	Entertainment Weekly	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2012年12月28日号～		欠号あり
8	Forbes	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2017年7月～		欠号あり
9	Highlights for Children	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年2月号～	平成25年度中止 平成28年度再開	欠号あり
10	InStyle	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～		欠号あり
11	Muse	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～		欠号あり
12	National Geographic Kids	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2012年12月・2013年1月号～		欠号あり
13	National Geographic Little Kids	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2018年1月号～		欠号あり
14	National Geographic Traveler	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2012年12月号～		欠号あり
15	Parents	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2017年7月～		欠号あり
16	Rolling Stone	アメリカ	隔週	寄贈	3年	2012年12月20日号～		欠号あり
17	Smithsonian	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～		欠号あり
18	Sports Illustrated Kids	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2012年12月号～		欠号あり
19	Super Science	アメリカ	週刊	寄贈	3年	2017年9月号～		欠号あり
20	The Oprah Magazine	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～		欠号あり
21	The Week	アメリカ	週刊	寄贈	3年	2012年12月28日号～		欠号あり
22	Time(米国版)	アメリカ	週刊	寄贈	3年	2013年1月14日号～	平成26年度再開	欠号あり

受入中止雑誌一覧

24	Art in America	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月～2017年1月号	平成28年度中止	欠号あり
25	Community College Journal	アメリカ	隔月	寄贈	3年	2016年2-3月号～2017年6-7月号	平成29年度中止	欠号あり
26	Highlights High Five Bilinguen	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2017年6月～	平成30年度中止	欠号あり
27	Fortune	アメリカ	月2	寄贈	3年	2016年12月号～2017年3月号	平成28年度中止	欠号あり
28	J-14(Just for Teens)	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2016年1月号～2017年7月号	平成29年度中止	欠号あり
29	Real Simple	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2016年12月号～2017年2月号	平成28年度中止	欠号あり
30	Teen Vogue	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2016年10月号～2017年2月号	平成28年度中止	欠号あり
31	Zoo Books	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2016年10月号～2017年5月号	平成29年度中止	欠号あり
32	留学ジャーナル	アメリカ	隔月	寄贈	3年	2016年7月号～2016年11月号	平成28年度中止	欠号あり

●所蔵逐次刊行物 タイトル一覧

◎ 新聞・雑誌コーナー(一般) 逐次刊行物タイトル一覧 (バックナンバーは新聞・雑誌コーナーに保管)

No.	タイトル	発行元	刊行 頻度	保存 年限	備 考
1	AFF(アフ)	農林統計協会	月刊	1年	
2	with PETs(ウイズ'ペット)	日本愛玩動物協会	隔月	1年	
3	エルモ	駐留軍等労働者労務管理機構那覇支部	季刊	1年	
4	環境儀	国立環境研究所	季刊	1年	
5	くらし塾金融塾	金融広報中央委員会	季刊	1年	
6	くらしの豆知識	独立行政法人 国民生活センター	年1回	1年	
7	クローバー	ジェイ・ブロード	季刊	1年	
8	広報	日本広報協会	月刊	1年	
9	自治体国際フォーラム	文部科学省	月刊	1年	
10	司法の窓	最高裁判所	年1回	1年	
11	JAXA航空マガジン	宇宙航空研究開発機構	季刊	1年	
12	JAXA's(ジャクサス)	宇宙航空研究開発機構	季刊	1年	
13	食品安全	食品安全委員会	季刊	1年	
14	書齋の窓	有斐閣	隔月	1年	
15	SHOPPIG NOW 日本の海運	(公財)日本海事広報協会	年1回	1年	
16	総務省	総務省	月刊	1年	
17	育てる	育てる会	月刊	1年	
18	地域づくり	地域活性化センター	月刊	1年	
19	点字 厚生	日本盲人会連合	隔月	1年	
20	日展ニュース	日展	季刊	1年	
21	日本オーケストラ連盟ニュース	日本オーケストラ連盟	季刊	1年	
22	日本教育	日本教育会	月刊	1年	
23	日本の祭り	一般財団法人地域伝統芸能活用センター	季刊	1年	
24	B.S.TIMES	関西ビジネスサテライト新聞社	隔月	1年	
25	ふれあいらしんばん	内閣府政府広報室	不定期	1年	
26	ぼうさい	内閣府(防災担当)	季刊	1年	
27	ほうてらす	日本司法支援センター	季刊	1年	
28	まち・むら	あしたの日本を創る協会	季刊	1年	
29	MAMOR	扶桑社	月刊	1年	
30	未来	未来社	季刊	1年	
31	ミルククラブ	中央酪農会議・ミルククラブ	季刊	1年	
32	mundi(ムンディ)	国際協力事業団	月刊	1年	
33	UP	東京大学出版	月刊	1年	

◎浦添市インフォメーションコーナー(円柱書架) 逐次刊行物タイトル一覧

※製→製本・図書登録

No.	タイトル	発行元	刊行頻度	保存年限	浦添市関係	備考
1	広報うらそえ	浦添市国際交流課	月刊	永年	○	製：1号(1957年9月)～723号(2020年3月)
2	うらそえ市議会だより	浦添市議会事務局	年3回	永年	○	1～121号(欠号あり) 製：1～71号
3	うらそえ 【浦添商工会議所報】	浦添商工会議所	月刊	永年	○	1～347号(欠号多) 製：1～128号
4	うらそえ社協だより (点訳本付き)	浦添市社会福祉協議会	月刊	永年	○	4～371号/製：4～200号
5	いきいき 【浦添市中央公民館だより】	浦添市立中央公民館	月刊	永年	○	1～306号(欠号多) 製：1～146号
6	ぐるりん【浦添市リサイクルプラザ「ドリーム21」】	ぐるりん会・浦添市環境施設課	月刊	永年	○	1～312号(欠号あり)
7	きよらさ 【浦添市美術館ニュース】	浦添市美術館	年3回	永年	○	1～88号 製：1～47号
8	MUSEUM NEWS	浦添市美術館友の会	月刊	永年	○	Vol.40～163(欠号多)
9	うらおそい歴史新聞	浦添市教育委員会文化課 (うらおそい歴史ガイド友の会)	不定期	永年	○	1～54号
10	はながわら	浦添市立図書館	月刊	永年	○	H17年4月より休刊、H13年2月より「よくよむ」統合、H20年5月復活/1～345号(欠号あり)/製：1～232号
11	YA!YA!YA!【YA通信】	浦添市立図書館	不定期	永年	○	1～31号
12	つどいの広場 あいあいだより	浦添市つどいの広場 (経塚児童センター内)	月刊	永年	○	～R2.2(欠号あり)
13	つどいの広場 さんさんだより	浦添市つどいの広場 (小湾保育所2F)	月刊	永年	○	～139号(欠号あり)
14	つどいの広場 にこにこだより	浦添市つどいの広場 (西原児童センター2F)	月刊	永年	○	～R2.3号(欠号あり)
15	内間児童センター	内間児童センター	月刊	永年	○	製：47～198号 /～369号(欠号あり)
16	浦城っ子児童センター	浦城っ子児童センター	月刊	永年	○	製：1～20号 /～190号(欠号あり)
17	うらそえぐすく児童センター	うらそえぐすく児童センター	月刊	永年	○	～152号(欠号あり)
18	柿の実ひろば	浦添市子育て支援センター 「柿の実」	月刊	永年	○	～146号(欠号あり)
19	経塚児童センター	経塚児童センター	月刊	永年	○	製：1～114号 /～284号(欠号あり)
20	西原児童センター	西原児童センター	月刊	永年	○	製：1～163号(欠号あり) /～334号(欠号あり)
21	前田ユブシが丘児童センター	前田ユブシが丘児童センター	月刊	永年	○	～H28.2(欠号あり)
22	まちなと児童センター	まちなと児童センター	月刊	永年	○	製：1～32号(22,23欠) /～201号(欠号あり)
23	みーぐるぐる	浦添市子育て支援センター 「ていんさぐの家」	月刊	永年	○	製：1～64号 /～246号(欠号あり)
24	宮城ヶ原児童センター わんぱくだより	宮城ヶ原児童センター	月刊	永年	○	製：1～45号 /～210号(欠号あり)

No.	タイトル	発行元	刊行 頻度	保存 年限	浦添市 関係	備考
25	宮城っ子児童センター	宮城っ子児童センター	月刊	永年	○	～120号(欠号あり)
26	森の子児童センター	森の子児童センター	月刊	永年	○	～R2.3(欠号あり)
27	ゆいゆいだより ／ゆいゆい新聞	子育て支援センター 「ほるとの家」	月刊	永年	○	～149号(欠号あり)
28	わかくさ	若草児童センター	月刊	永年	○	製:152～234号 ／No.402(欠号あり)
29	たいようのえくぼ	たいようのえくぼ	不定期	3年		～Vol.32(欠号あり)

◎新聞・雑誌コーナー(沖縄県関係) 逐次刊行物タイトル一覧 (バックナンバーは沖縄学研究室)

No.	タイトル	発行元	刊行 頻度	保存 年限	浦添市 関係	備考
1	A g r e (アグレ)	求人おきなわ	週刊	1年		
2	あだんの実	沖縄県ゆうな協会事務局	年1回	3年		
3	いきいき健康あいらんど	沖縄県保健医療福祉事業団	季刊	3年		
4	えら部	株式会社アークワン	隔月	3年	○	
5	大きな輪	キャンプバトラー海兵隊基地 統合報道部	季刊	3年		
6	おきぎん調査月報	沖縄銀行	月刊	3年		
7	おきなわ薬剤師会	沖縄薬剤師会	年5回	3年		平成30年11月より受 入開始
8	沖縄音楽旅行	プランニングオフィスコーダ	隔月	3年		
9	おしごとmagazineLエール	沖縄県女性就業・動労相談セ ンター	隔月	3年		平成30年11月より受 入開始
10	月刊工連ニュース	沖縄県工業連合会	月刊	3年		
11	jobnabi (ジョブナビ)	沖縄県キャリアセンター	隔月	3年		
12	中小企業だより	沖縄県中小企業団体中央会	月刊	3年		
13	美ら島沖縄	沖縄県知事公室広報交流課	月刊	3年		
14	はいさい	那覇防衛施設局総務部広報室	隔月	3年		
15	パンだより	沖縄県製パン事業協同組合	年4回	3年		
16	南ぬ風 (ふえーぬかじ)	海洋博覧会記念公園管理財団	季刊	3年		
17	福祉情報沖縄	沖縄県社会福祉協議会沖縄県 福祉人材センター	隔月	3年		
18	群星－むりぶしー	内閣府沖縄総合事務局総務部 総務課	隔月	3年		
19	ゆんたく	NHK沖縄放送局	月刊	3年		
20	りゅうぎん調査	㈱りゅうぎん総合研究所	月刊	3年		

◎沖縄学研究室 逐次刊行物タイトル一覧

※製→製本・図書登録

No.	タイトル	発行元	刊行頻度	保存年限	浦添市関係	備考
1	アーカイブズ 沖縄県公文書館だより	沖縄県公文書館	年2回	永年		1～58号
2	アーキビスト	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会会報	不定期	永年		No.52～71(欠号あり)
3	あやかりの杜だより／あやかりの杜図書館だより	北中城村あやかりの杜	月1回	3年		127～140号
4	ういずこーぷ	生活共同組合 こーぷおきなわ	月1回	3年	○	H29.4月 ～R2.5月(欠号あり)
5	御城(うぐしく)だより	首里城公園管理センター	年4回	3年		No.1～9(旧首里城通信)
6	浦添市てだこ市民大学雑記帳	てだこ市民大学事務局	不定期	永年	○	2～35号(欠号あり)
7	大分県立公文書館だより	大分県立公文書館	年1回	永年		第19号～27号
8	沖縄県史だより	沖縄県文化振興会公文書管理部	年1回	永年		第1号～28号(欠号あり)
9	沖縄県平和祈念資料館だより	沖縄県平和祈念資料館	年2回	永年		No.2～38(欠号あり)
10	沖縄県立図書館通信	沖縄県立図書館	月1回	永年		No.37～135(欠号あり)
11	沖縄染織研究会通信	沖縄染織研究会	隔月	永年		No.1～101(欠号あり)
12	おきなわ鉄軌道ニュース	沖縄県企画部	不定期	永年		1号～8号(欠号あり)
13	沖縄ベンチャースタジオ	沖縄県産業振興公社	年4回	3年		49～60号
14	沖縄法政研究所所報	沖縄国際大学沖縄法政研究所	年1回	永年		2号～29号(欠号あり)
15	おきみゅー通信	沖縄県立博物館・美術館	季刊	3年		No.2～14
16	卸団地ニュースOKINAWA	沖縄県卸商業団地協同組合	月刊	永年	○	205～279号(欠号あり)
17	海邦スポーツ	沖縄県体育協会	年2回	3年		No.67～72(欠号あり)
18	がじまる	沖縄県消費生活センター	年4回	3年		No.386 ～397(欠号あり)
19	がじまる	名護市立中央図書館	月1回	3年		No.271～308(欠号あり)
20	がじゅまる通信	榕樹社	不定期	永年		No.1～55(欠号あり)
21	神奈川県立公文書館だより	神奈川県立公文書館	年2回	永年		No.28～41(欠号あり)
22	キャンパスニライ	放送大学沖縄学習センター	季刊	3年		82号～90号(欠号あり)
23	九州大学記録資料館 News Letter	九州大学附属図書館付設記録資料館	年1回	永年		1号～12号(欠号あり)
24	景況トレンド 【沖縄公庫県内企業景況調査報告】	沖縄振興開発金融公庫	季刊	3年		No.89～101
25	研究所図書室だより	浦添市立教育研究所図書室	月刊	永年	○	H19.6～R2.6(欠号多)

No.	タイトル	発行元	刊行頻度	保存年限	浦添市関係	備考
26	公庫レポート	沖縄振興開発金融公庫	不定期	3年		No.150～164
27	ごさまる通信	中城村護佐丸歴史資料図書館	月1回	3年		No.13～93
28	しまたてい	沖縄しまたて協会	季刊	永年	○	No.1～101(欠号あり)
29	市民会議だより	浦添市青少年健全育成市民会議	年2回	永年	○	1～46号/製:1～27号
30	宅建おきなわ	沖縄県宅地建物取引業協会	年4回	3年		Vol.148～160
31	ているるちゃんがいっく!	沖縄県男女共同参画センター	不定期	永年		No.31～58(欠号あり)
32	としょかんだより	与那原町立図書館	月1回	3年		No.170～205(欠号あり)
33	図書館だより	沖縄市立図書館	月1回	3年		270～302号
34	土地連会報	沖縄県軍用地等地主会連合会	年2回	3年		60～65号
35	南島考古だより	沖縄考古学会	不定期	永年		44～112号
36	南島文化研究所所報	沖縄国際大学南島文化研究所	年1回	永年		1号～65号(欠号あり)
37	ニュースレター	浦添市国際交流協会	年3回	永年	○	2009年度1号～2018年版(欠号あり)
38	ハーモニーセンターだより	浦添市ハーモニーセンター	不定期	永年	○	No.1～7 /旧「ハーモニーだより」
39	パチ・パチ号	宮城珠算学校	隔月	永年	○	1～281号(欠号あり) /製:1～160号
40	ひめゆり平和祈念資料館 資料館だより	ひめゆり平和祈念資料館	年2回	永年		2号～63号(欠号あり)
41	広島県立文書館だより	広島県立文書館	年1回	永年		38号～44号(欠号あり)
42	ふれあいの杜	糸満市立図書館	隔月	3年		117～135号
43	法人企業景気予測調査	沖縄総合事務局 財務部	年4回	3年		H29.4-6月期 ～H31.1-3月期
44	法政大学沖縄文化研究所所報	法政大学沖縄文化研究所	年2回	永年		1号～86号(欠号あり)
45	港川自治会だより	港川自治会	月2回	永年	○	103～331号(欠号あり)
46	宮古郷土史研究会会報	宮古郷土史研究会	隔月	永年		No.27～215(欠号あり)
47	民俗学研究所ニュース	成城大学民俗学研究所	定期	永年		No.43～127(欠号あり)
48	Library Info 図書資料室だより	JICA沖縄図書資料室	月刊	永年	○	2002.8～2020.6(欠号あり)
49	琉球政府文書デジタルアーカイブ 琉政だより	沖縄県文化振興会公文書管理部	不定期	永年		1号～12号
50	私の本棚	恩納村文化情報センター	定期	3年		No.3～39(欠号あり)

●所蔵新聞一覧

(令和2年3月現在)

No.	新聞名	全所蔵年月日	保存年限			備考
			原紙	製本	縮刷版	原紙(未製本)→原紙製本→製縮刷版→縮
1	沖縄タイムス	1973年7月～現在	一定期間 経過で 原紙製本	永年	永年	1973年7月～1983年3月(製) 1984年5月～1985年3月(製) 1985年5月～1986年12月(製) 1990年7月～1996年2月(製) 2006年4月～2008年5月(製) 1976年2月～1977年6月(縮) 1978年6月～1978年10月(縮) 1978年12月～1979年2月(縮) 1979年4月～1980年6月(縮) 1980年8月～2006年3月(縮) →2006年3月で縮刷版廃刊 2008年6月～現在(原)
2	琉球新報	1965年9月～現在 欠号 (1968年11・12月) (1970年～1973年6月)	一定期間 経過で 原紙製本	永年	永年	1973年7月～1996年2月(製) 1999年7月～2008年5月(製) 1965年9月～1968年10月(縮) 1969年1月～1969年12月(縮) 1993年8月～1999年6月(縮) →1999年6月で縮刷版廃刊 2008年6月～現在(原)
3	宮古新報	2013年～現在	原紙5年	×	×	2014年～2019年3月(原)
4	宮古毎日新聞	2019年～現在	原紙6年	×	×	2019年4月～現在(原)
5	八重山毎日新聞	2014年～現在	原紙5年	×	×	2014年～現在(原)
6	朝日新聞(東京版)	1942年～現在 欠号 (1951年～1983年 1986年12月, 1988年12月)	3年	×	永年	1942年～1950年(縮刷復刻版) 1984年～1986年11月(縮) 1987年～1988年11月(縮) 1989年～2014年(縮) 2016年～現在(原)
7	毎日新聞(東京版)	1990年～現在 欠号 (1999年4月～2003年, 2004年5・8月)	3年	×	永年	1990年～1999年3月(縮) 2016年～現在(原)
8	読売新聞(東京版)	1990年～現在 欠号 (1990年1・2・5・6・10月 1997年3月～2003年)	3年	×	永年	1990年3・4・7～9・11・12月(縮) 1991年～1997年2月(縮) 2016年～現在(原)
9	日本経済新聞	1984年2月～現在 欠号 (1984年1月・6月 1986年2～5・12月 1987年1～5・10月 1988年12月 1989年2月 1990年2～5月)	縮刷版 登録次第 当該月 原紙廃棄	×	永年	1984年2・3・7～12月(縮) 1985年～1986年1・6～11月(縮) 1987年6～9・11・12月(縮) 1988年1～11月(縮) 1989年1・3～12月(縮) 1990年1・6～12月(縮) 1991年～現在(縮)
10	スポーツニッポン	2017年～現在	1年	×	×	2018年～現在(原)
11	日経MJ(流通新聞)	2016年～2019年3月	3年	×	×	2016年～2019年3月(原)
12	日刊工業新聞	2016年～2019年3月	3年	×	×	2016年～2019年3月(原)
13	観光とけいざい	1984年～現在 欠号 (1987年11月～1988年1月) [294号～297号],	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	1984年～1987年10月(製) [214号～293号] 1988年2月～2006年12月(製) [298号～713号] 2007年1月～現在(原) [714号～現在]
14	しんぶん赤旗	2018年～現在	1年	×	×	2018年～現在(原)
15	公明新聞	2018年～現在	1年	×	×	2018年～現在(原)

No.	新聞名	全所蔵年月日	保存年限			備考
			原紙	製本	縮刷版	原紙(未製本)→原紙製本→製縮刷版→縮
16	社会新報	2018年～現在	1年	×	×	2018年～現在(原)
17	自由民主	2018年～現在	1年	×	×	2018年～現在(原)
18	プレス民主	2018年～現在	1年	×	×	2018年～現在(原)
19	高校生新聞・高校生スポーツ	2018年～現在	1年	×	×	2018年～現在(原)
20	朝日中高生新聞	2018年～現在	1年	×	×	2018年～現在(原)
21	毎日小学生新聞	2018年～2019年3月	1年	×	×	2018年～2019年3月(原)
22	ニッキン	2016年～現在	3年	×	×	2016年～現在(原)
23	民団新聞	2018年～現在	1年	×	×	2018年～現在(原)
24	The Japan Times	2016年～現在	3年	×	×	2016年～現在(原)
25	USA TODAY	2016年～現在	3年	×	×	2016年～現在(原)
26	福島民友	2018年～現在	1年	×	×	2018年～現在(原)
27	福島民報	2018年～現在	1年	×	×	2018年～現在(原)
28	沖縄建設新聞	1979年～1980年 2015年～現在	3年	×	永年	1979年～1980年(縮) 2016年～現在(原)
29	サンデーおきなわ(休刊)	1992年～1996年3月	×	永年	×	1992年～1996年3月(製)
30	つり沖縄新聞(休刊)	1987年～1994年4月 欠号 (1992年11月,12月)	×	永年	×	1987年～1992年10月(製) 1993年～1994年4月(製)
31	週刊レキオ	1985年4月～現在	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	1985年4～2006年12月(製) [No.1～No.1134] 2007年1月～現在(原) [No.1135～現在]
32	ほーむぶらざ	1985年～現在 欠号 (1985年8月[No.15]・ 1987年1月[No.32])	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	1985年1月～2007年7月前半(製) [No.8～No.1050] 2007年7月後半～現在(原) [No.1051～現在]
33	週刊タイムス住宅新聞	1985年7月～現在 欠号 (1995年4月～1995年9月) [501号～525号] (1996年4月～1996年8月) [551号～575号]	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	1985年7月～2007年6月前半(製)
34	かふう	2006年1月～現在 欠号 (2006年2月3日[vol.18])	一定期間 経過で 原紙製本	×	×	2006年1月～現在(原)
35	うらそえタイムス (シュエット浦添へ改称)	2003年8月～2005年8月 欠号 (2005年1月[16・17号])	×	永年	×	2003年8月～2005年8月(製) ・2003年8月創刊 《沖縄タイムス浦添販売店会南地区 発行》
36	シュエット浦添(休刊)	2005年9月～2006年1月	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	2005年9月～2006年1月(原) ・2005年9月創刊、2006年6月休刊 《沖縄タイムス浦添販売店会南地区 発行》
37	てだこタイムス (ていだタイムスへ統合)	2000年3月～2001年4月 欠号 (2001年3月[13号])	×	永年	×	2000年3月～2001年4月(製) ・2000年3月創刊 《沖縄タイムス屋富祖販売センター 発行》
38	ていだタイムス	2003年6月～2008年6月 欠号 (2003年8月[第3号])	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	2003年6月～2005年12月(製) 2006年1月～2008年6月(原) ・2003年6月創刊 《沖縄タイムス浦添販売店会北地区 発行》
39	がんじゅうタイムス	(日付なし)[No.1]～現在 欠号(No.12・13・16・18 25・28・29)	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	(日付なし)[No.1]～現在(原) 《沖縄タイムス浦添中央販売センター》
40	てだこネット	2005/2/1 2006年1月～2007年12月	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	2005年2月(原) 2006年1月～2007年12月(原) 《琉球新報浦添ニュータウン販売所発行》

●沖繩学研究室 所蔵新聞一覽

(令和2年3月現在)

No.	新聞名	製本/縮刷版	元号	西曆	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
1	琉球新報	複写製本	明治31	1898				○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			明治32	1899	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治33	1900	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治34	1901	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			明治35	1902	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			明治36	1903	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			明治37	1904	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			明治38	1905	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			明治39	1906	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			明治40	1907	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			明治41	1908	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			明治42	1909	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			明治43	1910	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			明治44	1911	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			大正元	1912	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			大正2	1913	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			大正3	1914	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			大正4	1915	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			大正5	1916	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			大正6	1917	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			大正7	1918	○	○	○	○	○									
			大正8	1919														
			大正9	1920														
			大正10	1921														
			大正11	1922														
			大正12	1923														
			大正13	1924	大正13年～大正15年													
			大正14	1925														
			昭和元	1926														
			昭和2	1927														
			昭和3	1928														
			昭和4	1929	昭和4年～昭和5年													
			昭和5	1930														
昭和6	1931																	
昭和7	1932																	
昭和8	1933																	
昭和9	1934																	
昭和10	1935																	
昭和11	1936													○				
昭和12	1937																	
昭和13	1938	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
昭和14	1939	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
昭和15	1940	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
昭和28	1953	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
昭和29	1954	○	○	○	○	○	○	○										
2	琉球新報	縮刷版	昭和40	1965										○	○	○		
			昭和41	1966	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			昭和42	1967	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			昭和43	1968	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
			昭和44	1969	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

No.	新聞名	製本/縮刷版	元号	西暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
3	沖縄新報	複写製本	昭和16	1941	昭和16年～昭和19年												
			昭和17	1942													
			昭和18	1943													
			昭和19	1944													
			昭和20	1945	○	○											
4	うるま新報	複写製本	昭和20	1945	昭和20年～昭和21年												
			昭和21	1946													
			昭和22	1947	昭和22年～昭和23年												
			昭和23	1948													
			昭和24	1949	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和25	1950	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和26	1951	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
5	沖縄日報	複写製本	昭和11	1936	昭和11年												
			昭和12	1937													
			昭和13	1938	○	○	○	○	○	○	○						
			昭和14	1939													
			昭和15	1940		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	沖縄新民報	複写製本	昭和21	1946	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和22	1947	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和23	1948	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和24	1949	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和25	1950	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和26	1951	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和27	1952	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和28	1953	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	沖縄人民党 中央機関紙「人民」	縮刷版	昭和37	1962	1962年～1965年												
			昭和38	1963													
			昭和39	1964													
			昭和40	1965													
			昭和41	1966	1966年～1968年												
			昭和42	1967													
			昭和43	1968													
			昭和44	1969	1969年～1970年												
			昭和45	1970													
			昭和46	1971	1971年～1973年												
			昭和47	1972													
昭和48	1973																
8	先嶋新聞	複写製本	大正6	1917													1917年
			大正7	1918	1918年												
			大正8	1919	1919年												
			大正9	1920	1920年												
			大正10	1921	1921年												
			大正11	1922	1922年												
			大正12	1923	1923年												
			大正13	1924	1924年												
			大正14	1925	1925年												
			大正15	1926	1926年												
			昭和21	1946	○	○	○	○	○	○							
			9	人民導報	複写製本	昭和21	1946	○	○	○	○	○	○				

●「沖縄タイムス」所蔵一覧

◎:原紙製本・縮刷版あり

●:原紙製本のみ

○:縮刷版のみ

■:原紙製本破損あり・閲覧禁止

△:原紙のみ

×:所蔵なし

沖縄タイムス 新聞記事データベース 1997(H9)年～

(令和2年3月現在)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
S48	1973	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●
S49	1974	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S50	1975	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S51	1976	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S52	1977	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●
S53	1978	●	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎
S54	1979	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S55	1980	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎
S56	1981	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S57	1982	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S58	1983	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S59	1984	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S60	1985	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S61	1986	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S62	1987	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S63	1988	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H元	1989	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H2	1990	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H3	1991	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H4	1992	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H5	1993	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H6	1994	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H7	1995	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H8	1996	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H9	1997	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H10	1998	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H11	1999	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H12	2000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H13	2001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H14	2002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H15	2003	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H16	2004	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H17	2005	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H18	2006	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H19	2007	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H20	2008	●	●	●	●	●	△	△	△	△	△	△	△
H21	2009	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H22	2010	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H23	2011	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H24	2012	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H25	2013	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H26	2014	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H27	2015	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H28	2016	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H29	2017	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H30	2018	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
R元	2019	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
R2	2020	△	△	△									

●「琉球新報」所蔵一覧

◎:原紙製本・縮刷版あり

●:原紙製本のみ

○:縮刷版のみ

■:原紙製本破損あり・閲覧禁止

△:原紙のみ

×:所蔵なし

琉球新報 新聞記事データベース 1998(H10)年～

(令和2年3月現在)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
S40	1965	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
S41	1966	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S42	1967	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S43	1968	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
S44	1969	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S45	1970	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
S46	1971	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
S47	1972	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
S48	1973	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●
S49	1974	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S50	1975	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S51	1976	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S52	1977	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S53	1978	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S54	1979	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S55	1980	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S56	1981	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S57	1982	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S58	1983	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S59	1984	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S60	1985	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S61	1986	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S62	1987	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S63	1988	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H元	1989	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H2	1990	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H3	1991	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H4	1992	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H5	1993	●	●	●	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎	◎
H6	1994	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H7	1995	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H8	1996	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H9	1997	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H10	1998	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H11	1999	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●
H12	2000	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H13	2001	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H14	2002	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H15	2003	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H16	2004	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H17	2005	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H18	2006	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H19	2007	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H20	2008	●	●	●	●	●	△	△	△	△	△	△	△
H21	2009	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H22	2010	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H23	2011	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H24	2012	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H25	2013	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H26	2014	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H27	2015	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H28	2016	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H29	2017	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H30	2018	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
R元	2019	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
R2	2020	△	△	△									

●浦添市立図書館協議会委員名簿【令和2年度】

浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例（昭和 59 年条例第 34 号）第 7 条により、市立図書館の運営に関する館長の諮問機関として「浦添市立図書館協議会」が設置されております。

当協議会は、学識経験者、学校教育関係者及び社会教育関係者等で構成され、図書館運営上の基本的事項について検討し、その結果を館長に具申する活動を行っております。

	氏 名	役 職 名	備 考
1	仲西 正勝	前浦添市立図書館長	学識経験者
2	山口 真也	沖縄国際大学 教授	社会教育関係者
3	日高 智子	ていだの会代表	〃
4	長嶺 悦子	前浦城っ子児童センター館長	〃
5	棚原 歩	内間小学校校長	〃

浦添市立図書館に関する新聞記事【令和元年度】

①	掲載年月日	平成31年4月4日(木)	新聞紙名	沖縄タイムス(24面)
	みだし	【きょうナニある?】/イベント		
	記事			
	▼戦後浦添のガラス瓶展(浦添市立図書館、~5月12日)			
②	掲載年月日	平成31年4月6日(土)	新聞紙名	沖縄タイムス(28面)
	みだし	【きょうナニある?】/イベント		
	記事			
	▼戦後浦添のガラス瓶展(浦添市立図書館、~5月12日)			
③	掲載年月日	令和元年4月8日(月)	新聞紙名	沖縄タイムス(20面)
	みだし	民話読み聞かせ出張 / 浦添市立図書館 開催施設募る		
	記事			
	<p>【浦添】市立図書館では本年度から、読み聞かせ会「おはなしのたから箱 浦添(うらしー)・沖縄(うちなー)のはなし」の出張版を始める。開催場所を館外の幼稚園などに広げることで、より多くの子どもに地域の民話を伝えていく。</p> <p>地域の民話やしまくとぅばに親しんでもらおうと、同館の読み聞かせ会は2012年に始まった。「城間ナーカ」といった浦添に伝わる民話をはじめ、絵本「おにムーチー」など季節に合わせた読み聞かせや手遊びを楽しんできた。</p> <p>同館の担当者は「図書館から遠い地域に住む家族もいる。出張することでもっとたくさんの子どもたちに浦添の民話や歴史に興味を持ってもらえたら」と願った。</p> <p>出張読み聞かせ会は年5カ所の開催で、各施設1回のみ。申し込みは先着順。問い合わせは同館、電話098(876)4946。</p> <p>(写真説明)浦添市立図書館での読み聞かせ会の様子(提供)</p>			
④	掲載年月日	平成31年4月9日(火)	新聞紙名	沖縄タイムス(24面)
	みだし	【きょうナニある?】/イベント		
	記事			
	▼戦後浦添のガラス瓶展(浦添市立図書館、~5月12日)			
⑤	掲載年月日	平成31年4月14日(日)	新聞紙名	琉球新報(31面)
	みだし	歴史学習充実へ/浦添図書館長に上里さん(琉球史研究)/4月就任、講座など意欲		
	記事			
	<p>【浦添】琉球史が専門で法政大学沖縄文化研究所研究員の上里隆史さん(42)が4月、浦添市立図書館の館長に就任した。数多くの著書があり、琉球の歴史を分かりやすく解説してきた上里さん。図書館行政は初挑戦ながらも「かつて浦添は琉球の中心でもあった。子ども向けの歴史講座を開くなどして、自分の特色を出していきたい」と意気込んでいる。</p> <p>上里さんは琉球大の高良倉吉ゼミで琉球史を学び、早稲田大大学院では琉球とアジアの交流史を研究した。在野の研究者として執筆と公演活動を展開し「島人もびっくりオモシロ琉球・沖縄史」など、著作は18冊以上に上る。NHKドラマ「テンペスト」の時代考証も担当した。</p> <p>館長就任を打診されたのは2月ごろ。「驚いたが、浦添市立図書館には沖縄学研究室もある。自分とつながりが深く、やりがいがあると思った」。1日付で、市教育委員会から図書館長に委嘱された。</p> <p>図書館長を打診した嵩元盛兼教育長は「専門家なので大変頼もしい。地域の特色、歴史を子どもたちに伝えてほしい」。松本哲治市長も「市民と一緒に足元の歴史や文化を掘り起こしたいと考えていた。浦添の歴史に造詣の深い上里さんなら、図書館長に適任だ」と話した。</p> <p>師匠の高良さんも過去に6年間、浦添市立図書館の館長を務めていた。上里さんは「先生には到底かなわない」と言いつつ、「琉球時代の首里を江戸とすれば、浦添は京都や奈良に匹敵する歴史ある場所。これまでの自分の研究を生かして、歴史や知識を分かりやすく伝えられたら」と力を込めた。</p>			
⑥	掲載年月日	平成31年4月17日(水)	新聞紙名	沖縄タイムス(26面)
	みだし	【きょうナニある?】/イベント		
	記事			

	▼戦後浦添のガラス瓶展 (浦添市立図書館、～5月12日)		
⑦	掲載年月日	平成31年4月24日(水)	新聞紙名 沖縄タイムス(28面)
	みだし	【きょうナニある?】/イベント	
	記事		
	▼戦後浦添のガラス瓶展 (浦添市立図書館、～5月12日)		
⑧	掲載年月日	平成31年5月10日(金)	新聞紙名 琉球新報(12面)
	みだし	<情報交差点> 「沖縄学」講座 受講生を募集 / 浦添市立図書館	
	記事		
	浦添市立図書館では2019年度沖縄学講座「琉球沖縄史像を検証する」の受講者を募集している。場所は同図書館で、6月8日、22日、29日の午前10時～正午、全3回。定員50人(先着順)。受講料は無料。 講座では第1回「琉球の国家・社会像の見直し」、第2回「いま、琉球併合を考える」、第3回「なぜ『茶と琉球人』を書いたのか?」をテーマに、琉球大学の講師らを招く。すべての講座に手話通訳あり。 受講は電話と図書館カウンターで受け付けている。問い合わせ(電話)098(876)4946(月曜休館)。		
⑨	掲載年月日	令和元年5月13日(月)	新聞紙名 沖縄タイムス(20面)
	みだし	浦添の歴史伝えたい / 琉球歴史研究家の上里隆史さん / 民間初 市立図書館長に	
	記事		
	【浦添】市立図書館の館長に、琉球歴史研究家の上里隆史さん(42)が民間出身で初めて就任した。県内でも珍しいという民間出身館長に、市の歴史の魅力や、図書館の今後の展望について聞いた。(聞き手=浦添西原担当・宮里美紀) - 沖縄の歴史に関心を持ったきっかけは。 「母の故郷、長野県で生まれた。父が那覇市の出身で、5歳ごろ首里に引っ越した。龍潭池で遊び、首里城のそばから通学したこと、沖縄の歴史に興味を持つ一因だったかもしれない」 - 専門は。 「琉球大学で高良倉吉教授(当時)に師事し、今から500～600年前の『古琉球』と呼ばれる時代を専門に研究してきた。沖縄でアジアとの交易が始まり、外の文化とチャンプルーして沖縄文化が作られていく時期だ」 - 市の歴史の魅力は。 「浦添はかつて琉球の中心だった。首里を江戸と例えるなら、浦添は京都や奈良に匹敵するような歴史がある。というのも、最初に朝貢貿易を始め、中国と公的な関係をつくったのは浦添グスクの察度(さつと)。これを機に政治、経済、文化などあらゆる沖縄の社会が様相を異にしていく。前近代という歴史の中で、浦添が果たした役割は大きい」 - 市立図書館の展望は。 「これから浦添城が整備され、沖縄都市モノレールが通って首里城のような観光地になるはずだ。そこで、市民の皆さんに地域の歴史を知ってもらい、初心者向けの講座ができればと考えている。これまで沖縄の歴史を分かりやすく伝えようと、絵本や漫画など複数の書籍を出してきた経験を生かせればと思う」 - 思い描く図書館像は。 「リラックスして本を読めるような憩いの場になれば良いですね。また、図書館には最新の知が集まっているので、社会の変化が激しい時代を生きる子どもたちに、未来に通用する知識をわくわく感を持って伝えられる場でありたい」 (写真説明) 浦添市立図書館で初の民間出身館長に就任した上里隆史さん=同館		
⑩	掲載年月日	令和元年7月25日(木)	新聞紙名 琉球新報(10面)
	みだし	街角ガイド養成講座受講者を募集 / 来月1日から	
	記事		
	NPO法人那覇街角ガイド(仲間盛吉会長)は8月1日から第10期ガイド養成講座の受講者を募集する。同月31日まで。歴史家で浦添市立図書館長の上里隆史さんや、那覇市歴史博物館の外間政明さんらが講師を務める。仲間会長らが23日、琉球新報社を訪れ、受講を呼び掛けた=写真。琉球の歴史に興味があり、講座終了後に街角ガイドの会員として活動できる70歳未満が対象。受講料は5千円。定員25人で、9月12日～12月7日の約3カ月間に全25回の講座を予定している。 受講希望者はてんぶす那覇3階の街角ガイド事務局かホームページで入手できる申込書を郵送かファックス、持参で申し込む。問い合わせは事務局(電話)098(860)5960。		
⑪	掲載年月日	令和元年8月17日(土)	新聞紙名 沖縄タイムス(4面)
	みだし	[KUMIODORI300]泣いて笑って!琉球オペラ / 命懸けの大恋愛に宿敵とのバトル…/ 初心者でもわかる「組踊」入門	
	記事		

今年「組踊」が上演された年から 300 年目に当たる。琉球文化の頂点を極めた伝統芸能として、ユネスコの世界無形文化遺産にも登録されている組踊。沖縄が誇る文化、と知ってはいるが「伝統」と聞くと敷居が高くて、どう楽しんだらいいかわからないと思っている県民も少なくないだろう。そこで初心者でも楽しめるポイントを紹介したい。組踊の創始者・玉城朝薫の真のすごさについて、浦添市立図書館長で琉球歴史家の上里隆史氏に聞いた。併せて「朝薫の五番」と称される演目も「イマ目線」で紹介する。(企画・制作 沖縄タイムス社営業局)

迷ったら「朝薫の五番」鑑賞

ストーリーの筋を知っておくと、何か展開が読めるので安心だ。まずはテッパン「執心鐘入」。ざっくり言うと、お付き合いを断られたことを恨み、スカーと化した鬼女に追われるイケメンの話。見どころは鬼女が鐘から逆さづりになって顔を出すアクロバティックなシーン。女がぬっと出てくる姿はホラーだ。

お次は「銘苺子」。羽衣を隠された天女が仕方なく農夫と結婚し、子をなすのだが、結局天界に帰ってしまうお話。子どもに後ろ髪引かれながら飛び去る母の苦悩はハンカチ必須。“宇宙人”と地球人の溝はやっぱり深いと言わざるを得ない琉球スペースオペラ。

その他仇討物の「二童敵討」、誘拐された子どもと母の物語「女物狂」、古代からの悪者キャラ大蛇伝説を基にした「孝行の巻」は、「朝薫の五番」と呼ばれる演目。まずは基本の古典を押さえて鑑賞しよう。

若手「推しメン」応援

古典的な組踊の演者は男性。女形をあでやかに踊る立方(たちかた)、三線・太鼓・箏など古典音楽を奏でる地謡(じかた)も若手が活躍している。お気に入りの演者を通して、さまざまな演目を鑑賞するのも理解を深めるきっかけになるかも。最初の組踊に触れるなら、国立劇場おきなわ(浦添市)がオススメ。演目や演者のスケジュールをチェックしよう。

【「朝薫の五番」とは】1719年、玉城朝薫が初めて上演したのが「二童敵討」(護佐丸敵討)と「執心鐘入」。その後「銘苺子」「女物狂」「孝行の巻」も創作。これらの作品を朝薫の五番と称している。その完成度の高さから朝薫の五番はその後の組踊の規範となっている。

(写図説明) 執心鐘入

(写図説明) 銘苺子(めかるしー)

(写図説明) 孝行の巻(こうこうのまき)

(写図説明) 二童敵討

(写図説明) 女物狂

(写図説明) 【立方】佐辺良和さん

(写図説明) 【三線】新垣俊道さん

(写図説明) 【箏】池間北斗さん

(写図説明) 【太鼓】久志大樹さん

掲載年月日	令和元年9月10日(火)	新聞紙名	沖縄タイムス(23面)
-------	--------------	------	-------------

みだし	沖縄史 幅広く学ぶ / 浦添 上里図書館長が講演		
-----	--------------------------	--	--

記事

【浦添】琉球歴史研究家の上里隆史浦添市立図書館長＝写真＝による講座「ゼロからまなぶ沖縄の歴史入門」(主催・同図書館)が8月17日、同図書館であった。約50人が来場し、約6600年前の貝塚時代から戦後まで沖縄市を幅広く学んだ。上里館長は「歴史を学ぶときの見取り図として講座を使ってくれたら」と話した。

⑫ 講座では沖縄史を、サンゴ礁の内海(ラグーン)で魚や貝を捕って暮らしていた「貝塚時代」、琉球王国が成立する「古琉球」、薩摩藩による征服以降の「近世琉球」、明治政府により沖縄県になった「近代沖縄」、米軍統治下に置かれた「戦後沖縄」などと5時代に分けて説明した。

上里館長は、現在の沖縄本島が南北や東西で分けられていないのは、古琉球時代に「北山、中山、南山とで勢力争いをした三山時代の影響だ」などと、歴史を現在の暮らしと関連づけて分かりやすく解説した。

また、豚や昆布などを使った琉球料理、古典舞踊、赤瓦など「近世琉球にできた沖縄の伝統」を紹介。「石敢当は久米島にある1733年のものが最古といわれている」と話すと、来場者は興味深そうにうなずいていた。

掲載年月日	令和元年10月1日(火)	新聞紙名	沖縄タイムス(タブ左綴8面)
-------	--------------	------	----------------

みだし	[ゆいレール新駅特集 2019.10.1] 人々と街のミライをつなぐ/ ゆいレール4駅延長スペシャル		
-----	--	--	--

記 事

待ちに待ったゆいレールの新4駅が開業した。石嶺駅・経塚駅・浦添前田駅・てだこ浦西駅から広がる公共交通の未来と、地域の歴史・文化を生かしたプロモーションについて、沖縄都市モノレール株式会社(那覇市宇安次嶺)の美里義雅代表取締役社長と、今春から民間初の浦添市立図書館長に就任した上里隆史氏(琉球歴史研究者)が語り合った。移動手段の利便性向上に加え、目からウロコな新駅エリアの再発見がいっぱい。知れば得するゆいレールの活用術も紹介する。

■那覇都市圏内の渋滞緩和へ

→浦添市への延長の目的は何ですか？

美里 今回の延長は、那覇都市圏内の交通渋滞緩和が目的です。ゆいレールを浦西まで延長してフルインターチェンジを整備し、沖縄自動車道と結節。隣接地にパーク&ライド駐車場を整備し、那覇市内へモノレールで移動させる「浦添ルート案」の推奨が、2008年3月21日に決まりました。

上里 軌道交通が那覇市以外に延長されたのは、戦後沖縄の交通史においてすごく画期的なことです。浦添は、舜天・英祖・察度という3王統を輩出した琉球王国統一以前の「古都」で、浦添グスクは古琉球(12世紀～1609年)前半期の政治・経済・文化の中心でした。首里が日本史という江戸に相当するなら、浦添は京都や奈良に匹敵する。古の風景や自然が残る一方で新しい街づくりも進んでいます。歴史と新しさが混在する浦添の魅力に触れてもらう機会が、ゆいレール延長で生まれましたね。

→新たな4駅の特徴・見どころは？

美里 石嶺駅、経塚駅、浦添前田駅、てだこ浦西駅は車窓からの眺めがとても素晴らしいです。各駅とも地域にちなんだステンドグラスをデザインしました。例えば石嶺駅は旗頭とエイサーがモチーフ。コンコース階の窓の配置で、駅舎と交通広場が一体となるような眺望を確保しています。駅チャイムもそれぞれ違います。

上里 石嶺には琉球王族・伊江御殿の墓もあります。石嶺駅開業で首里の隅々までカバーできましたね。

美里 組踊の祖・玉城朝薫ゆかりの経塚駅周辺は豊かな緑と調和する駅舎構造になっています。浦添前田駅周辺には浦添グスクや巨岩「ワカリジー」(通称・為朝岩)があり屋根や外壁のガラスは地域性を感じられる設計になっています。

上里 浦添前田駅は私が勤務する浦添市立図書館の最寄り駅。図書館までは少し距離があるので、バスなどの交通機関と駅がうまく連結できるといいですね。

美里 浦添前田駅とてだこ浦西駅の間には初の地下区間があります。約600メートルの地下トンネルを抜けると、すぐガラス屋根が印象的なてだこ浦西駅が広がります。周辺の開発が進むてだこ浦西駅の大きな特徴は、1千台規模のP&R駐車場を併設し、車からモノレールへの乗り換えがシームレスにできる点。沖縄自動車道幸地インターチェンジ(仮称)ができれば、中北部からの移動はよりスムーズになると思います。

■独自の「こども未来カード」

→ゆいレールを普段利用して感じることは？

上里 やはり定時・定速で運行されていますから、移動時間が正確でとても助かっています。多言語のアナウンスなど、細かい気配りもすごいと思います。

美里 ありがとうございます。定時性はゆいレールの特徴ですからね。ほかに何か気になる点がありますか？

上里 混雑の慢性化ですね。沖縄観光が盛り上がる中で、県民の足と観光客の足、両者をどう充足させながら利用できるかが課題ではないでしょうか。

美里 混雑解消については、運行間隔を短くするなど社内努力で対応しています。10月からはダイヤも改正し、平日・土日ともに日中は8分間隔で運行します。朝のラッシュ時は4分間隔で運行するなど、輸送力の増強に努めます。

上里 気持ちよく乗れるようにいろいろ改善策を取られているんですね。私は県外に行くことも多いので、ゆいレールでも全国共通の交通系ICカードが使えるとありがたいのですが。

美里 2020年4月からSuicaなどの利用サービスを開始します。観光客を中心に券売機前の混雑が顕著になっていますので、ICカードやキャッシュレスで利便性を高め、ストレスのない移動を実現していきたいと考えております。

上里 また「こども未来カード」はとてもいい取り組みですね。

美里 「こども未来カード」は低所得世帯の高校生などに対し、通常運賃の半額を弊社が負担する独自の割引運賃制度です。沖縄子ども未来県民会議から通学費の負担軽減への協力依頼を受け、2017年4月にスタートしました。少しでも社会に寄与できればと、障がいのある方や免許返納者などへの割引乗車も実施しております。

■琉球史の「二大拠点」も結ぶ

—今回の延長への期待は？

上里 那覇空港と浦添がダイレクトにつながることで、首里城と浦添グスクという琉球史の中心となる大拠点が二段構えで登場します。これまで県内外の人があまり触れてこなかった新しい歴史のコンテンツが、ゆいレールの延長で初めて目の目を見ることとなります。これは浦添だけでなく、沖縄観光にとっても大きなチャンスだと思います。

美里 沖縄の歴史を古琉球から学べるというのは、非常にストーリー性がありますね。ゆいレールでは浦添延長開業を記念して10月20日に全線で終日無料のお客さま感謝デーを実施します。当日はただこまつりもありますので、浦添市を訪れるきっかけにもなると思います。気軽に乗車いただいて、ゆいレールの特徴である定時性や空中からの景色を味わっていただきたい。

上里 今回の延長で、人の流れも、見える風景もガラッと変わってきます。浦添の歴史や文化に直接触れる県民、環境客が一気に増えると、再発見にもつながると思います。この変化や気づきが、これからの沖縄にどう作用していくのか、すごく楽しみです。

美里 「人と街をつなぐネットワーク」というのが弊社の経営理念にあります。公共交通事業者として安全第一に、地域と密に情報交換しながら人の行き来の利便性を高めることで、浦添市が発展することを願っております。

うえざと・たかし 琉球歴史研究家。1976年生まれ、長野県出身、沖縄育ち。早稲田大学大学院修士課程修了。法政大学沖縄文化研究所国内研究員を経て、今春から浦添市立図書館長に就任。専門は古琉球・海域アジア史。主な著作に『海の王国・琉球』『尚氏と首里城』『新聞投稿に見る百年前の沖縄』ほか10冊以上。NHKドラマ「テンペスト」時代考証も務めた。

みさと・よしまさ 1950年、多良間村出身。専修大学経済学部経済学科卒。2009年4月から金秀バイオで代表取締役社長、副会長を務める。15年6月から現職。

古琉球の拠点だった浦添

【浦添三大王統】浦添では12世紀半ばごろから、舜天王・英祖王・察度王と三つの王統が興り、約250年にわたって本島中部一帯を支配下に収めていた。浦添グスクは14世紀には当時最大級で、首里城に匹敵するほどの規模とも言われている。1406年、後に琉球王国を築く尚巴志によって滅ぼされたが、首里城に拠点を移すまでは浦添グスクが政治・外交・文化の中心地だった。

戦後沖縄のモデルとなった浦添市立図書館

【浦添市立図書館】1985年に開館、戦後沖縄の地域図書館のモデルとなった。戦前から米軍統治時代を経て、県立図書館以外に図書館サービスがほとんどない中、80年代に入り、市民に社会教育・生涯教育の機会を提供しようと当時の浦添市長・比嘉昇氏のもとで最先端の図書館として建設された。建物は戦後日本を代表する建築家で、皇居の御所を設計した内井昭蔵氏が設計した。県内初のコンピュータ導入、市内各所を巡回する移動図書館も始め、一連の取り組みが注目され県内外から多くの視察が訪れた。また沖縄学研究室を設置、琉球王国時代の史料編さんを行い93年放送のNHK大河ドラマ「琉球の風」の時代考証の拠点にもなった。

(写図説明) 琉球王国初期の王陵「浦添ようどれ」。浦添グスク北側崖下に位置し、英祖王陵と尚寧王陵の二つの墓室を石垣が囲む＝浦添市仲間

(写図説明) ゆいレール4駅延長について語り合う美里義雅・沖縄都市モノレール社長と上里隆史・浦添市立図書館長(左から)＝那覇市安次嶺、沖縄都市モノレール

(写図説明) 浦添市立図書館長／上里隆史氏

(写図説明) 沖縄都市モノレール株式会社 代表取締役社長／美里義雅氏

掲載年月日	令和元年10月16日(水)	新聞紙名	琉球新報(10面)
-------	---------------	------	-----------

みだし	<会と催し>海域アジアの倭寇を考える / 稲村賢敷生誕125年 県立芸大で26日シンポ		
-----	---	--	--

記事

⑭

宮古島の郷土史研究家・稲村賢敷(1894～1978)の生誕125年を記念したシンポジウム「海域アジアの倭寇について考える」(宮古島市教育委員会主催、琉球・沖縄歴史研究会共催)が26日午後1時から午後5時、那覇市の県立芸術大学・大講堂で開かれる。入場無料。

	<p>14～16 世紀に日本や沖縄、中国などの東アジアの海域で活動していた交易集団について意見交換する。</p> <p>県立埋蔵文化財センターの瀬戸哲也主任専門員が「14～16 世紀の琉球列島における陶磁交易からみた倭寇」、浦添市立図書館の上里隆史館長が「歴史学から見た琉球の倭寇について」、立正大学の島村幸一教授が「琉球の歌謡と伝承から『倭寇』を考える」をテーマにそれぞれ報告する。報告後に総合討論も行われる。</p> <p>問い合わせは宮古島市教育委員会文化財資料室(電話)0980(77)8336。</p>			
⑮	掲載年月日	令和元年 10 月 25 日(金)	新聞紙名	琉球新報(29 面)
	みだし	<ほと笛>		
	記 事			
	<p>○……作家・又吉栄喜さんの芥川賞受賞作「豚の報い」の韓国語翻訳版など、今年に入って又吉さんの著書が相次いで刊行されたことを受け、浦添市立図書館で又吉文学の魅力伝える企画展が開かれている。</p> <p>○……今年刊行されたのは「豚の報い」の他に短編集「ジョージが射殺した猪」と「仏陀の小石」がある。企画展は 3 作に関する資料や、作品の舞台となった場所の写真パネルを展示している。</p> <p>○……同図書館嘱託職員の新里彩さんは「又吉作品が韓国からも注目されていることを知ってほしい」と来場を呼び掛けた。27 日まで。</p>			
⑯	掲載年月日	令和元年 10 月 31 日(木)	新聞紙名	沖縄タイムス(23 面)
	みだし	沖縄の食文化 歴史背景学ぶ / 本部観光協会		
	記 事			
	<p>【本部】町観光協会(當山清博会長)は 24 日、浦添市立図書館長で琉球歴史研究家の上里隆史さん＝写真左奥＝を講師に招き、「沖縄の食文化を歴史的背景から読み解く」講演会を町大浜の産業支援センターで開いた。観光業者や関係団体職員ら約 50 人が琉球料理や泡盛、芸能の歴史について学んだ。</p> <p>上里さんは琉球料理と泡盛、芸能が発達した歴史と時代背景を解説。「大国のはざまにあった琉球王国は料理や芸能を磨き『おもてなし』という外交力を武器に栄えた」と指摘した。「琉球王国のおもてなしの姿勢は現代にも通じ、歴史に学ぶことは多い。当時の料理などを復活させることも、観光の新たな可能性を広げる」と提案した。</p> <p>土産品店に勤める上間蛭さん(29)は「身近な料理や芸能が、国の管理の下で発達したと聞いて驚いた。もっと歴史を知りたくなった」と話した。(比嘉啓一郎通信員)</p>			
⑰	掲載年月日	令和元年 11 月 2 日(土)	新聞紙名	琉球新報(28 面)
	みだし	<首里城消失>「首里城を知ってほしい」 / 県内書店が特設コーナー		
	記 事			
	<p>首里城が消失した 10 月 31 日から 11 月 1 日にかけて、県内では首里城を題材にした書籍を集めた特設のコーナーを設けたり、発注をかけたりの書店が増えている。県民に衝撃を与えた出来事のため、各書店とも展開の仕方などを悩みつつも、首里城のことを知ってもらいたいとの思いを込めて対応を進めている。</p> <p>那覇市久茂地のリウボウブックセンターリブプロでは 10 月 31 日の火災を受け、開店時から店頭で首里城関連の書籍を集めた。筒井陽一店長は「ぼうぜんとした。悩んだが、多くの方に首里城のことをもっと知ってほしい。通常はポップなどを付けてアピールするが 1 カ所に集めるだけにとどめた」と話した。ほかの書店でも数日中に特設コーナーを設けるため、発注をかけるなど準備を進めている。</p> <p>那覇市のジュンク堂書店那覇店は火災を受け、4 日午後 3 時から行うフリーアナウンサーの箕田和男さんと上里隆史浦添市立図書館長のトークイベントのテーマを急きょ首里城に変更。当日は</p>			
⑱	掲載年月日	令和元年 11 月 8 日(金)	新聞紙名	琉球新報(17 面)
	みだし	<焼失から再建へ 首里城火災>2 / 高良倉吉 / 復元時の成果が蓄積 / 国と県、事業の進め方 焦点		
	記 事			
	<p>首里城火災の一報を聞いたのは、10 月 31 日午前 3 時すぎ。1992 年の首里城復元で建築を担当した関係者から「首里城が燃えている」との連絡が入った。最初は何のことも分からず、自宅の窓から首里方面を見ると、赤い炎と煙に包まれた首里城が見えた。テレビを付けると火災の中継をしていた。</p> <p>首里城公園は、三十数年かけて、建物の基本的な整備を今年 2 月に終えたばかり。やっとこれで基本的な作業が終わったと安堵(あんど)していた。その年に、まさか首里城の中心部分が焼け落ちるとは、想像もしていなかった。がく然とした。</p>			

1992年の首里城復元へ向けた事の起こりは、首里城跡にあった琉球大学が現在の西原町のキャンパスへの移転が決まり、具体化し始めた頃だ。琉球大学が移転した跡地をどのように利用するのか県が検討委員会を開いた。検討の結果、首里城の復元を含め、歴史公園として整備すべきだと結論に至った。最終的には国が国営公園として整備することになった。ただ、首里城に関する資料が少なく、どう復元するのか不安だった。手分けして徹底してリサーチし、県内には沖縄戦のためほとんど資料は残っていなかったが、本土の方で残っていた。

正殿は、鎌倉芳太郎氏が遺(のこ)した資料に重要な記録があり、外観も内部もデータが集まり、木造で復元した。北殿や南殿などは、内部の資料がなく、外側は写真や絵図が残っていた。そうした建物は、外観だけを復元した。根拠がないものは復元しない方針だった。

復元で難しかったことは多いが、その一つは、正殿の建物の塗装の色を決め、どう塗り方をするかということだった。尚家資料を調べると、琉球漆器を作る貝摺(かいずり)奉行所の職人たちが建物の塗装に参加していたことが分かった。それを知り、正殿は巨大な琉球漆器だと理解した。寸法や塗装の方法も具体的な記録があった。情報を重ね合わせ、復元していった。

首里城は、1879年の琉球処分後に熊本鎮台という日本の軍隊の駐屯所になった。これに伴い、建物の壁を取っ払ったり、窓のないところに窓を作ったりした。戦前の首里城は、そうした手が加えられていた。復元のテーマは米軍に破壊される前の首里城ではなく、琉球処分以前の首里城に戻すことだった。

琉球処分以前の首里城は、戦前の人たちも見たことがない。往事の色で、誰も見たことがない首里城が蘇(よみがえ)った。復元作業は正殿だけでも資料収集に3年、設計に3年、工事に3年の計約9年かかった。

根拠となる資料が見つからないために、復元しなかった建物もある。例えば、泡盛の古酒を保管するための「銭蔵」だ。泡盛の関係者からは、復元してほしいとの要望が多く寄せられた。ただし、銭蔵があった場所にはスペースを確保し、今は休憩所となっている。将来、復元の根拠となる資料が見つかった場合は、復元できるようにしている。

復元の時に、県産のイヌマキを使いたかったが、1本もなく、宮崎県や鹿児島県で調達した。

50年、100年先に正殿を含む大修理が必要なので、その時のためということで、1992年の首里城公園の開園以来、国頭村辺野喜にイヌマキの木を1千本植えて育樹している。将来を見据えたイヌマキを育てる事業もやっていた。復元を機にいろんな関連する動きが立ち上がっていた。

琉球古典芸能や美術工芸、年間を通じた行事など、琉球文化の発信拠点でもあった。それが沖縄の各地域につながり、現在の伝統文化につながっている。

1992年に首里城を復元した当時、宮古・八重山の関係者から「人頭税で苦しめた権力の城を復元し、我々としては素直に喜べない」との話も聞いた。それについては「首里王府という権力を復元したわけではない。琉球の職人の技術を復元した」ことを伝えた。琉球王国時代に首里城を建築する際に大工、塗装に参加した人など名もない職人たちの技術を蘇らせた。

それだけに今回の火災には複雑な心境だ。再建へ向けて、図面もあり人もいて復元の成果は蓄積されている。立て直すことは可能だ。首里城公園は国営公園であり、管理運営は県になっている中で、事業としてどう進めていくのかだ。(談)

(次回は12日掲載)

.....

たから・くらすよ 1947年、伊是名村生まれ。浦添市立図書館長や琉球大学教授などを経て2013年4月～14年12月に沖縄県副知事。琉球史を研究し首里城復元に長年、深く携わってきた。国際交流奨励賞・日本研究賞(2004年)など受賞多数。琉球大学名誉教授。

	掲載年月日	令和元年11月9日(土)	新聞紙名	沖縄タイムス(25面)
	みだし	[支援の輪 首里城再建へ] 浦添が首里城応援計画 / 募金活動や講座を開設 / 市長「心の復興も」		
	記 事			
①9	【浦添】浦添市は8日、首里城再建や首里城の歴史・文化的価値の理解を支援する「てだこのまち首里城応援プロジェクト」を立ち上げた。市や市内小中学生による募金活動のほか、首里城について学ぶ講座を予定している。リーダーは琉球歴史研究者で浦添市立図書館の上里隆史館長が務める。(1面参照)			
	プロジェクトでは、てだこウォーク2020参加者への募金呼び掛けや漆芸を専門とする浦添市美術館の学芸員派遣のほか、市立図書館で首里城関連資料の展示や講座を開設する。			

	<p>また、浦添中学校生徒会からの提案をきっかけに、市内全 16 小中学校で募金活動に取り組むほか、首里城に関する歴史の勉強会も予定されている。</p> <p>松本哲治浦添市長は、首里と浦添は歴史的にきょうだいのようなものだとしながら「再建支援のほか、私たちの心の中にあつた首里城とは何かを見つめ直し、心の復興にも取り組む。息の長いプロジェクトになる」と説明。「大きな喪失感の中にあると思うが、復興に向けてわくわくしながらみんなで進んでいけたら」と願った。</p> <p>プロジェクトリーダーの上里館長は、首里城正殿が百浦添御殿と呼ばれたことなどに触れ「浦添は首里と同様、琉球の歴史の中心だった。首里城や沖縄の歴史にふれる機運を高め、支援につなげる」と強調。「再建時に大人になっているんだろう今の子どもたちが、首里城を深く知り活用できる応援団になれるよう種まきをしたい」と意気込んだ。</p>			
	掲載年月日	令和元年 11 月 20 日(水)	新聞紙名	琉球新報(25 面)
	みだし	首里城再建へ「勇気」 / 県博特別展 正殿模型 関心高く		
	記 事			
	<p>県立博物館・美術館で 19 日から始まった同館企画の特別展「グスク・ぐすく・城-動乱の時代に生み出された遺産」には、初日から多くの来場者が訪れた。沖縄戦で焼失した戦前の首里城正殿を再現した模型の前では、来場者らがカメラやスマートフォンで写真を撮影し、細部まで再現された外観や内部をのぞき込むなど、関心の高さがうかがえた。(1 面に関連)</p>			
⑳	<p>特別展を担当した同館学芸員の山本正昭さんは「展示準備を進める中、首里城火災が起きた。正殿の資料を見るのも複雑な気持ちになった」と明かす。「模型を見ることで、いつか首里城の姿を見ることができるといふ勇気を与えてくれるように思う」と語った。</p> <p>琉球史に詳しい浦添市立図書館長の上里隆史さんも来場し「沖縄戦でなくなった首里城の形を再現したのがこの模型。沖縄の人たちの首里城への思いの強さを改めて考え直すことができる資料だ」と話す。</p> <p>沖縄市から訪れた上地千賀子さんは「首里城再建への募金にも寄付した」と話し模型をじっくりと見ていた。「各市町村のグスクについての展示を、ここまで同じ場所に集めて見られる機会はないかなかなと思う」と感心していた。</p>			
	掲載年月日	令和元年 11 月 25 日(月)	新聞紙名	琉球新報(24 面)
	みだし	早期再建へ期待感 / 作家滝沢さん、川越さん「協力したい」		
	記 事			
	<p>琉球を題材にした著作のある県外在住の松本清張賞受賞作家、滝沢志郎さんと川越宗一さん、琉球史研究者で浦添市立図書館長の上里隆史さんによるトークショー「沖縄の歴史を語る」が 24 日午後、浦添市の市ハーモニーセンターであり、約 80 人が参加した＝写真。首里城についても話題になり、3 人とも早期再建への期待感を示した。</p>			
㉑	<p>佐藤亮という筆名で書いた「琉球王国を導いた宰相 蔡温の言葉」など沖縄題材の著作が複数ある滝沢さんは「(1992 年の)復元の際、集めた知恵、知識は燃えていない。立て直しはできる」と期待した。</p> <p>琉球の官人を含めた 3 人を主人公に据えた歴史小説「天地に燦(さん)たり」で第 25 回松本清張賞を受賞した川越さんは「再建への熱意や努力を絶やさないと重要だ。できるだけ協力したい」と力を込めた。</p> <p>上里さんは「県民は首里城がなくなって心の空白に気付き、存在の大きさを知った。次の再建は沖縄の人々の総意で心の一部をつくり直す作業だ。前回とは違う意義が与えられる」と述べた。</p>			
	掲載年月日	令和元年 11 月 27 日(水)	新聞紙名	沖縄タイムス(14 面)
	みだし	「沖縄の象徴 火災で痛感」 / 滝沢氏と川越氏がトークショー / 松本清張賞作家		
	記 事			
	<p>琉球を題材にした小説がある 2 人の松本清張賞作家と、琉球史研究者の上里隆史・浦添市立図書館長によるトークショー(主催・浦添市教育委員会、同図書館)が 24 日、浦添市内であり、作家 2 人が作品のあらすじや苦労話、沖縄の魅力などを語った。上里氏が「全国を舞台に活躍している作家が、世界に通用する普遍的な題材として沖縄を選んでいる。2 人は本土から沖縄を伝える応援団」と今後の活動に注目を呼び掛けた。</p>			
㉒	<p>作家は「明治乙女物語」で 2017 年の同賞受賞の滝沢志郎氏と、「天地に燦(さん)たり」で 18 年の受賞者となった川越宗一氏。滝沢氏は佐藤亮の名で「琉球王国を導いた宰相 蔡温の言葉」があり、川越氏は「天地に燦(さん)たり」で琉球を舞台の一つにしている。</p> <p>上里氏は「明治乙女物語」について「細かい描写で、物語の中の街並みやそこにいる人たちの動きが映像を見ているように展開していく」と紹介。「天地に燦(さん)たり」は「とにかくダイナミック。薩摩、朝鮮、琉球の 3 人の主人公の物語がそれぞれ展開していくが、最後に絡み合う場面が絶妙」と評した。</p>			

滝沢氏は「(小説に登場する明治時代の女学生などについて)資料が少なく苦労した。調べていくうちに、作品に描いた当時の情景が見えてきて、時代の匂いや町のざわめきが想像できるようになると、文章にして残すのが楽しかった。書くのがつらいということはなかった」と振り返った。

一方で川越氏は「書くのは本当につらい。戦闘シーンがたくさん出てくるが、現場の地形が分からず苦労した」と説明。浦添グスクが燃えているのを首里城から見えるかどうか、実際に首里城を訪れて確認した。義理の母が沖縄出身で、かつて首里城を訪れた際に見た「守禮之邦」の扁額(へんがく)に着想を得たという。

滝沢氏と川越氏は上里氏の案内で前日に火災後の首里城公園を訪問した。

滝沢氏は「真っ黒になった屋根を見て衝撃を受けたが、復元によって得た知恵や知識は燃えていない。その間、沖縄、日本、世界の人々が沖縄のシンボルとして首里城を意識するようになった。乱暴な言い方かもしれないが、建物が焼けただけ。悲しいが、絶望する必要はない」と語った。

川越氏は「首里城は一つの観光地だという位置づけで関心がなかった人も、いざなくなってみると心に空白ができる。復元されて、沖縄の風景に溶け込んでいく中で、われわれの心にも浸透していったということ。首里城の存在を再確認した。皮肉にもそれを痛感させてくれた」と話した。

トークショーは、浦添市市政施 50 周年記念イベント。ミス沖縄 2015 の喜舎場梨予氏が司会を務めた。

(写真設営) 来場者からの質問に答える(壇上左から滝沢志郎氏、上里隆史氏、川越宗一氏) = 24 日、浦添市ハーモニーセンター

掲載年月日	令和元年 11 月 30 日(土)	新聞紙名	琉球新報(別刷 4 面)
みだし	<ひやみかせ首里城再建> 支援特集 / 寄稿 上里隆史氏(琉球歴史研究家、浦添市立図書館長) / 政治・経済の拠点		

記 事

②③ 沖縄はかつて「琉球王国」という一つの国だった。1429 年から 1879 年の 450 年間にわたり続いたこの王国の都が首里であり、首里城は国王の住む宮殿であった。

沖縄最大のグスクである首里城は外郭・内郭の二つの城郭からなり、城内には正殿を中心とする政治エリア、大奥にあたる御内原の住居エリア、京の内の宗教エリアに分かれていた。中枢部の正殿は「百浦添御殿」と呼ばれた二層三階建ての木造建築で、中国の宮殿建築を模倣しながら正面には日本の唐破風を取り入れるなど琉球独自の様式であった。

城の発祥は 14 世紀ごろからと考えられているが、佐敷から興り中山を掌握した尚巴志により 15 世紀初めごろはすでに王宮として整備がされていたようだ。戦乱や失火で過去 4 度焼け、その都度建て替えられてきた。今回の消失は 5 回目となる。琉球の歴史における首里城の特徴は、琉球王国の政治機能の中枢拠点であった点である。城内には首里王府が置かれ王国全土を監督・管轄していた。国内行政や海外貿易の司令塔でもあり、内外からあらゆる情報と物資がこの首里城に集まってきた。現在も残された膨大な行政文書や出土する貿易陶磁器の存在がそれらを物語る。

また首里城は王国時代に培われた文化の発信地でもあった。歴代国王の即位式(冊封式典)や元旦の儀礼など重要イベントの会場が首里城であり、これに伴い、組踊をはじめとしたさまざまな芸能がこの場所で披露され、美術工芸品も城内の儀礼や生活で使われた。紅型は首里城内の王族の衣装として発展した。こうした芸能・工芸などの文化の担い手は首里城を中心とした体形の中で育まれていった。

城内の京の内をはじめとした御嶽は、聞得大君を頂点とする琉球の神女組織によって担当され、王国の重要な聖地とされた。琉球の精神世界を統括する場所としての性格も持っていた。

まさに琉球の歴史・文化の象徴ともいべき存在が首里城であり、政治・経済・文化のあらゆる分野がここを起点として発展、各地へと波及していったといえよう。

.....

うえざと・たかし 1976 年、長野県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。琉球歴史研究家。浦添市立図書館長。主な著作に「沖縄の名城を歩く」(吉川弘文館)、「おきなわが食べてきたもの」(ボーダーインク)、「マンガ沖縄・琉球の歴史」(河出書房新社)など多数。

掲載年月日	令和元年 12 月 13 日(金)	新聞紙名	琉球新報(27 面)
みだし	中野(首里高)、山田(沖国大)さん煌賞 / うらそえ YA 文芸賞 / 中高大生 278 点応募		

記 事

	<p>【浦添】中学生から大学生世代が対象の「2019 うらそえ YA 文芸賞」(浦添市立図書館主催)の表彰式が8日、同市安波茶の同図書館で開かれた。市長賞相当の煌(きらめき)賞には、短編小説部門で中野蘭さん(首里高2年)の「命とブランコ」、詩部門で山田姫乃さん(沖縄国際大2年)の「追憶」が輝いた。受賞者はさらなる飛躍を誓った。</p> <p>賞はヤングアダルト(YA)世代の文学・読書活動を盛り上げようと、2009年に始まった。本年度は短編小説部門に23作品、詩部門に255作品の応募があった。</p> <p>表彰式で中野さんは「2年連続の受賞になった。これを糧に今後も創作活動に励みたい」、山田さんは「選評を読んで(自身の)言葉の拙さを痛感した。いい作品が作れるよう精進したい」と話した。審査委員長を務めた芥川賞作家の又吉栄喜さんは「皆さんの作品は魂が沸騰している。自分自身を見つめ、今後も頑張ってもらいたい」とエールを送った。</p> <p>他の受賞者は次の通り。</p> <p>【短編小説】輝(かがやき)賞・伊地美穂(普天間高3年)「シャイニング・トゥー・ユー」▽審査員特別賞・上田匠馬(首里高1年)「精神病質者」▽図書館長賞・井口心々美(西原東中2年)「同担拒否」</p> <p>【詩部門】輝賞・川見伯翠(西原高1年)「カケラ」▽審査員特別賞・上運天英蔵(開邦高3年)「砂上にて」▽図書館長賞・又吉真衣(西原高1年)「天気と感情」</p>											
②5	<table border="1"> <tr> <th>掲載年月日</th> <td>令和元年12月23日(日)</td> <th>新聞紙名</th> <td>琉球新報(27面)</td> </tr> <tr> <th>みだし</th> <td colspan="3">琉球のグスク 先進性指摘 / 識者ら考察シンポ / 「本土より早く石垣化」</td> </tr> </table>	掲載年月日	令和元年12月23日(日)	新聞紙名	琉球新報(27面)	みだし	琉球のグスク 先進性指摘 / 識者ら考察シンポ / 「本土より早く石垣化」					
	掲載年月日	令和元年12月23日(日)	新聞紙名	琉球新報(27面)								
	みだし	琉球のグスク 先進性指摘 / 識者ら考察シンポ / 「本土より早く石垣化」										
	<table border="1"> <tr> <th>みだし</th> <td colspan="3">琉球のグスク 先進性指摘 / 識者ら考察シンポ / 「本土より早く石垣化」</td> </tr> </table>	みだし	琉球のグスク 先進性指摘 / 識者ら考察シンポ / 「本土より早く石垣化」									
みだし	琉球のグスク 先進性指摘 / 識者ら考察シンポ / 「本土より早く石垣化」											
<p style="text-align: center;">記 事</p> <p>2020年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」がユネスコの世界遺産に登録されて204年を迎えるに当たって、世界の城と比較しながらグスクの役割について考察するシンポジウム「形から見たグスクの原点を探る」が21日、那覇市おもろまちの県立博物館・美術館で開かれた。約200人が参加した。</p> <p>奈良大教授で城郭考古学者として知られる千田嘉博氏は琉球のグスクについて「本土の城に比べおよそ200年早く石垣化を達成し、階層構造を実現した。圧倒的な先進性を持っている」と重要性を指摘。焼失した首里城にも触れ「首里城の復元は沖縄のことでなく、城から日本の歴史を正しく理解するために必要だ」と早期の復元を願った。</p> <p>冒頭あいさつした玉城デニー知事は「県としては一日も早い首里城の復旧復興に向けて全力で取り組んでいく」と力を込めた。</p> <p>シンポジウムには千田氏のほか、中部大准教授の山元貴継氏、古代山城研究会の向井一雄氏、県立博物館・美術館主任学芸員の山本正昭氏、浦添市立図書館長の上里隆史が登壇した。</p> <p>シンポジウムは2020年1月19日まで開催する特別展「グスク・ぐすく・城」の一環。特別展の観覧料は一般1100円、高校・大学600円、小・中学生300円。</p>												
②6	<table border="1"> <tr> <th>掲載年月日</th> <td>令和元年12月30日(月)</td> <th>新聞紙名</th> <td>沖縄タイムス(14面)</td> </tr> <tr> <th>みだし</th> <td colspan="3">中野・山田さん最高賞 / うらそえ YA 文芸賞</td> </tr> </table>	掲載年月日	令和元年12月30日(月)	新聞紙名	沖縄タイムス(14面)	みだし	中野・山田さん最高賞 / うらそえ YA 文芸賞					
	掲載年月日	令和元年12月30日(月)	新聞紙名	沖縄タイムス(14面)								
	みだし	中野・山田さん最高賞 / うらそえ YA 文芸賞										
	<table border="1"> <tr> <th>みだし</th> <td colspan="3">中野・山田さん最高賞 / うらそえ YA 文芸賞</td> </tr> </table>	みだし	中野・山田さん最高賞 / うらそえ YA 文芸賞									
みだし	中野・山田さん最高賞 / うらそえ YA 文芸賞											
<p style="text-align: center;">記 事</p> <p>【浦添】13歳から22歳ごろまでの若い世代を対象にした「2019 うらそえ YA 文芸賞」(主催・市立図書館)の表彰式が8日、同館であり、短編小説部門では中野蘭さん(首里高2年)の「命とブランコ」、詩部門では山田姫乃さん(沖国大2年)の「追憶」が最高賞の煌(きらめき)賞に選ばれた。</p> <p>同文学賞は2009年度に創設。浦添市と近隣市町村に在住、在学、在勤のヤングアダルト(YA)世代が応募でき、今年度は短編小説部門23作品、詩部門255作品の応募があった。</p> <p>中野さんは「自分の中に広がる世界観を他者に伝える楽しさ、素晴らしさを感じた。さらに創作活動に励みたい」とあいさつ。</p> <p>山田さんは「自分の言葉の足りなさなどを痛感した。作品を見つめ直す時間が必要だ。良い作品が作れるよう精進する」と話した。</p> <p>他の受賞者は以下の通り。(敬称略)</p> <p>【短編】輝賞「シャイニング・トゥー・ユー」伊地美穂(普天間高3年)▽審査員特別賞「精神病質者」上田匠馬(首里高1年)▽図書館長賞「同担拒否」井口心々美(西原東中2年) 【詩】輝賞「カケラ」川見伯翠(西原高1年)▽審査員特別賞「砂上にて」上運天英蔵(開邦高3年)▽図書館長賞「天気と感情」又吉真衣(西原高1年)</p> <p>(写真説明)うらそえ YA 文芸賞の入賞者ら=8日、浦添市安波茶・市立図書館</p>												

掲載年月日	令和2年1月1日(水)	新聞紙名	沖縄タイムス(新年2集4面)
みだし	琉球文化の集大成 県民主体で再建へ / [正月特集](第2集) [首里城再建元年] / (5面と見開き)		
記 事			
<p>2020年は「首里城再建元年」。琉球の歴史、文化の中核として歴史を重ね、沖縄県民から愛される存在となっていた首里城を「県民主体」で再建するとはどういう意味を持つのか。そして私たちは何かできるのか。4人の識者が語り合った。</p> <p>民俗や風習集約 焼失に衝撃</p> <p>首里城の存在</p> <p>—首里城はどのような存在だったのか。</p> <p>上里隆史氏 450年続いた琉球王国の王宮であり、首里王府という南西諸島を統治する政治機構の中核だった。海外との貿易を通し、さまざまな物資が集積し、文化が育まれた。首里城の存在なくして琉球の歴史は語れない。</p> <p>崎原綾乃氏 歴史上大変重要な琉球王国の中心であり、歴史に寄り添って文化が生まれた場所。</p> <p>1719年の組踊初演は首里城の御庭(うなー)で行われ、「おもろさうし」も民間から始まり、王宮がすくい上げて1531年に発刊がスタートした。</p> <p>首里城火災で、私がなぜこんなにもショックを受けるのか考えると自分と文化のつながりがあった。イメージの中に琉球の言葉や音楽、そこから派生した民俗や風習など、その一番いいものが首里城にあった。</p> <p>首里城の文化を自分の古里が支え、今の文化が出来上がる感覚。まず自分と琉球文化のつながりがあり、その先に首里城という象徴があった。それが燃える、否定されることで自分が持つ言語や文化、風習が奪われるような気がした。歴史を深く知らない人たちの衝撃も、同じ感覚だと思う。</p> <p>赤瓦ちよーびん氏 発掘の時から遊びに行っていた身近な存在だった。家事をテレビで見て、何も考えられなかった。復元当初観光案内をしていると「なんで赤いの？」と聞かれた。“異国”という印象を受けるんでしょうね。違う国として頑張っていたんだなど。外国の方にも説明すると親しみを持ってもらえた。</p> <p>喜納大作氏 自分たち世代にとって首里城は幼少期からあり、復元されていない時代を覚えていない。テレビドラマの「ちゅらさん」や安室奈美恵さんの活躍で沖縄出身がブランドのようになった。沖縄に自信がついた世代だと思う。青い海とハイビスカスと首里城は沖縄のイメージのアイキャッチになった。だから、同世代の首里城に縁がなさそうな人でさえもショックを受けていたのだろう。もっと若い高校生が泣いていたのには正直驚いた。これほどまでに県民に愛されているのかと印象に残った。</p> <p>復元過程 見守る環境つくろう</p> <p>私たちにできること</p> <p>—私たちにできることは。</p> <p>上里氏 再建はかなり長期になる。県民がそれまで今の気持ちを維持できるか。仮に10年とすれば、今10歳の子供は大人になる。実現した時に今の子どもたちが首里城の応援団になっているような、そういう種まきをしなければならぬ。ゴールに達した時に首里城の意義、復元の意義を県民が共有し、喜びをかみしめられるようにしなければならない。</p> <p>県民を含めた世界の人たちに、何を根拠にどう復元してるのかという、途中過程をしっかりと情報公開していくことも重要だと思う。</p> <p>崎原氏 再建まで10年、20年かかると思う。首里城のことも忘れるかもしれない。焼けた現状から復興まで職人たちが作り上げる様子を日々見せられれば、空白の10年も乗り切れるはずだ。</p> <p>再建で一番大事なことは人々が見守れる環境をつくること。再建される過程や現場を見せ続け、県民が意見を言って議論できる場も必要。盛り上がっている今の思いを維持し、完成してからも皆が関わられるような首里城であるべきだろう。</p> <p>赤瓦氏 無傷な所を早めに開放しないと、忘れられていく。いざ再建した後に客を呼び戻すのが大変になるだろう。</p>			

昔の話になるが守礼門は「三大がっかり」といわれた。首里城の本体がなくなっただけだ。そこに、価値を付けるわれわれガイドの役割が必要だ。首里城の良さを県民が共有できるように価値を説明する。世界遺産になった時に識者から「自分たちの地域が大切にしていないと意味がない」とはっきり言われたことがある。言葉の継承も含めて、文化の集大成なので、なぜ首里城が素晴らしいのかを共有して、関心を高めれば、周辺地域の復元への力になる。

喜納氏 復元までモチベーションを維持できるかが鍵だ。復元の様子を見せることがコンテンツになる。

また、首里城がない間も沖縄の文化に興味を持ってほしい。識名園やほかの市町村のグスクもある。地元の博物館にも足を運んでもらいたい。

完成した首里城では県産のドラマやアニメをつくってほしい。それがきっかけで「聖地巡礼」したり、歴史に興味を持ったりするかもしれない。駐車場などの利便性やリピーターへの特典なども考え、県民が訪れやすい場所になればいい。

(写図説明) 司会 中島一人 沖縄タイムス学芸部長

(写図説明) 上里隆史氏(43) 浦添市立図書館館長

(写図説明) 崎原綾乃氏(42) 琉球舞踊保存会調査・研修コーディネーター

(写図説明) 首里城再建の意義や課題とは何か議論する参加者＝沖縄タイムス社

掲載年月日

令和2年1月11日(土)

新聞紙名

沖縄タイムス(25面)

みだし

[首里城 象徴になるまで](3) / 第1部 御城(うぐしく)かいわい / 新春の宴(上) / 王と妃 往時の衣装追究

記事

火災後初めての元旦を迎えた首里城公園。新年を祝う儀式「朝拝御規式(ちょうはいおきしき)」の再現が見送られたささやかな「新春の宴(うたげ)」を楽しもうと、多くの人が訪れた。黒焦げの屋根に立ち入りを規制する柵。傷跡もあらわな奉神門(ほうしんもん)前の広場、下之御庭にドラの音が響き、琉球の国王と王妃役が登場した。

琉球の宮廷音楽「御(う)座(ざ)楽(がく)」が流れる中、赤地に金の模様が輝く唐衣装を着た2人が歩く。その所作を、着付け担当の照屋幸子さん(81)＝首里金城町＝が厳しく点検していた。「もっとゆっくり歩かないと、衣装に見合う威厳が示せない」。1992年の開園以来27年間、琉球王国の光景を再現するイベントで、出演者の装いと立ち居振る舞いを決めてきた誇りがにじんだ。

□ □

「新春の宴」の中心となる朝拝御規式では、国王は唐衣装で拝み、その後着替えると資料に記されている。95年に初めて再現された時は唐衣装がなく、国王と王妃役は琉装で臨んだ。

首里城での着付けを「天職」と話す。69年、復帰前の沖縄から夫の転勤で東京へ。「へびを殺せるんでしょう?」「靴履いているのね」。悔しさと「誰よりきれいに着たい」という思いを力に和装学校での評価を高めていった。「自分は劣っていない。沖縄と本土は対等なんだ」と気付いた。沖縄に帰ってからは指導者として、着付けの全国コンクールで2度日本一を排出して評価を高め、首里城開園直前に白羽の矢が立った。

28

唐衣装の独特な形の組みひもは、ただ腰に締めるだけでは御後絵(王の肖像画)通りにならない。絵を虫眼鏡でのぞいたり、ほどけたひみを組み直したりしながら、締め方を決めた。王妃は、幅が和服の倍ほどもある帯を使わずどう優雅に着せるか。夜遅くまでマネキンと向き合い、平安時代の和装の知識を引き出して模索した。2000年の朝拝御規式、正装の国王と王妃がそろい踏みした。

□ □

「琉球王朝絵巻行列」など出演者が200人規模の行事となると、50人のスタッフを統率する。妥協を許さず、めったに「合格」はださない。だがある年の祭祀(さいし)「百人御物参(ももそおものまいり)」の再現で、黒い着物に赤いハチマキ(冠)、赤い帯を締めた役人役が正殿に向かい並んだ後ろ姿に息をのんだ。「琉球の装いは私たちの誇り。この仕事で首里城を守りたい」。新年に誓った。

朝拝御規式をよみがえらせる手掛かりは、1990年に浦添市立図書館が宜野湾市の古書店から入手した古文書「琉球国王家年中行事正月式之内」だった。(首里城取材班・城間有)＝毎週土・日曜掲載

(写図説明) 真剣なまなざしで王妃役を着付ける照屋幸子さん＝2019年12月27日、那覇市の首里城公園管理センター

	掲載年月日	令和2年1月12日(日)	新聞紙名	沖縄タイムス(29面)
	みだし	[首里城 象徴になるまで](3) / 第1部 御城(うぐしく)かいわい / 新春の宴(下) / 王府の元旦 再現 城に魂		
	記 事			
	<p>「午前9時～10時頃、国王に(中国から下賜された)唐衣装を着付けることを申し上げ、奥御書院(控え室)へ参る」 「国王が御差床(うさすか)(玉座)に座りお酒を召し上がった後、皆に振る舞われ大通り(オトーリ)が始まる」</p> <p>浦添市立図書館が1990年に古書店から入手した古文書「琉球国王家年中行事正月式之内」の写本には、王国時代の元旦に首里城内で行われた「朝拝御規式(ちょうはいおきしき)」に参列した国王や役人が何時に、どこで何をしたかなどが詳しく書かれていた。当時、同館の嘱託だった豊見山和行琉球大学教授(63)が崩し字を活字にして発表、1796年ごろ作成された文書と推定した。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>この資料があれば、今はまっさらな空間にいつか往時の営みがよみがえる一。首里城公園を管理・運営する海洋博覧会記念公園管理財団(現・沖縄美ら島財団)の元学芸員、町ゆかりさん(52)＝鹿児島県奄美市＝は胸を熱くした。</p> <p>1992年に開園すると、琉球王国の文化に触れようと観光客が詰め掛けた。彼らが記念撮影をしていく正殿前の御庭(うなー)では王国時代、だれが何をしていたのか。立体的に見せるために朝拝御規式の再現が目指された。町さんは「正月式之内」を分析し、中国に行って故宮の正月行事を調査するなど、基礎資料を作った。</p> <p>95年の元旦。町さんは国王役が北殿に向かって拝む姿を間近で見て感じた。「魂が入った。首里城が生きている」。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>初回は無音だった朝拝御規式に96年から「御座楽(うざがく)」の演奏が加わった。首里城の儀礼で演奏される室内楽とされるが、楽曲は残っておらず、複数の研究団体がそれぞれ楽器や曲を解釈して演奏している。</p> <p>今年の新春の宴では、奉神門向かいの建物、系図座・用物座に御座楽の舞台が置かれた。93年から演奏に当たっている「王府御座楽研究会」代表の胡城泰一さん(69)＝中城村＝は焼け跡を見ながら演奏するのがつらく、何度も視線を落とした。</p> <p>琉球古典音楽の奏者でもある胡城さんは三線のルーツを訪ね、中国に足掛け3年通って弦楽器の二胡を習得。演奏する楽しみを、首里城で味わっていた。火災後、もうできないかもしれないと落ち込んだ気持ちを、新春の宴で取り直した。</p> <p>琉球処分て途絶えた御座楽を現代に復活しようと、多くの人がイメージを膨らませてきた。その営みを、火災とともに消してはいけない。「これまでも手探りだった。まだこれから」。研究を続け、次世代につなげようと決意した。(首里城取材班・城間有)＝毎週土・日曜日掲載 16・17面に特集</p> <p>(写図説明)元旦の「新春の宴」で王と王妃役の登場を知らせる「路次楽」を演奏する胡城泰一さん(中央)＝1日、那覇市・首里城公園</p>			
29	掲載年月日	令和2年2月2日(日)	新聞紙名	琉球新報(21面)
	みだし	沖縄は独自の色がある / デビュー作は琉球舞台 / 直木賞作家 川越宗一さん		
	記 事			
	<p>日本とロシアの帝国主義に引き裂かれた樺太(サハリン)が舞台の歴史小説「熱源」で第162回直木賞に輝いた川越宗一さん(41)。川越さんはデビュー作「天地に燦(さん)たり」(2018年7月発行)で第25回松本清張賞を受賞した。この小説の主人公は倭国、島津家の重臣、朝鮮国の青年、琉球の密偵(スパイ)の3人の男性。豊臣秀吉の朝鮮出兵を題材にしているが、終盤、島津藩の琉球侵攻を描き、琉球が舞台になる。</p> <p>川越さんは19年11月24日、同じく松本清張賞の受賞作家、滝沢志郎さんと琉球史研究者で浦添市立図書館館長の上里隆史さんとともに浦添市で行われたトークショー「沖縄の歴史を語る」に登壇した。川越さんが沖縄やデビュー作に関して発言した内容を抜粋し紹介する。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>－沖縄へは何回目か。</p> <p>「今回で4回目。私自身は大阪出身だが、妻の母が読谷村の出身だ。『天地に燦たり』の執筆中、終盤に来たのが3回目だった」</p> <p>－「天地に燦たり」はどのような小説か。</p>			
30				

「戦国時代の話だと忠義や勇まじさがテーマになることが多いが、この小説は儒教による『礼』がテーマだ。単に礼儀作法ではなく、世界の秩序や世界を動かす原理と捉えている。皆平和に暮らせるという考え方だ」

—作品の見どころは。

「主人公3人のうち、一人は琉球王国のスパイだが割と面白いキャラクターだ。僕自身すごく好きで自画自賛するぐらい本当に面白い。彼に会うためにも買って読んでもらえたらと思う。主人公が3人なのでお話も三つに分かれる。琉球侵攻に触れるが中国がどのように生まれ、存在してきたかということも背景として描いた」

—本の着想はどう得たか。

「家族旅行で首里城に行き、守礼門に掲げた『守礼之邦』という額を見た時だ。琉球王国はどうだったのか気候、風土はどうだったか興味を持ちいろいろ調べたのがきっかけだ」

—沖縄の魅力は。

「沖縄、琉球の歴史は常に大きな国に対し、どのような存在になるかということがある。国際的な緊張感がありつつ、沖縄独自の文化を育んだ。国際色豊かではほかの国の歴史や文化とも混ざりつつ、沖縄独自の色もある面白い地域だ」

—首里城焼失について。

「焼けた首里城を見てすごく悲しかった。だが建物なので時間やチャンスがあれば必ずつくり直せる。そこに向かう熱意や努力が絶えないようにするべきだ。できる限り応援したい」

—今後沖縄で書きたいテーマはあるか。

「沖縄をテーマに書きたいというモチベーションがあるのは新垣弓太郎(謝花昇や当山久三と並ぶ沖縄自由民権運動の志士、革命運動家として知られる。南風原町宮城出身)だ。世界を股に大活躍して、スケールが大きい。記録は少なく空白の部分が多いが、小説家としてはチャンスだ」

(「天地に燦たり」は文藝春秋、1650円)

	掲載年月日	令和2年2月11日(火)	新聞紙名	沖縄タイムス(26面)
	みだし	てだこウォーク「観光も楽しい」/2日間で7千人参加		
	記 事			
③1	<p>県内最大規模のウォーキングイベント「第19回うらそえソーデーマーチ てだこウォーク」(主催・浦添市、市教育委員会、共催・沖縄タイムス社など)は最終日の9日、3~20キロの4コースに2471人が参加した。</p> <p>参加者は曇り空の下、浦添市の湧き水や歴史名所などを巡りながらマイペースで歩いた。</p> <p>那覇市の上間千恵子さん(76)は義理の娘の美佐子さん(49)=那覇市、会社員=に誘われて5キロコースに初参加。2人で週末に練習してきたとあって足取りも軽やかで、千恵子さんは「観光もできるから楽しい」、美佐子さんは「歩き終わったら万歩計、何歩になっているかな」と笑った。</p> <p>同イベントは8日から2日間開催され、8コースとサンセットウォークを合わせた総参加者数は約7千人だった。</p> <p>(写図説明) 3キロファミリー向けコースでビンゴを楽しみながら歩く参加者=9日、浦添市安波茶・浦添市立図書館</p>			

	掲載年月日	令和2年2月21日(金)	新聞紙名	沖縄タイムス(20面)
	みだし	首里城再建支援 浦添に寄付託す / 友好都市の愛知蒲郡市		
	記 事			
③2	<p>【浦添】市の友好都市・愛知県蒲郡市がこのほど、首里城再建支援に役立ててほしいと市に66万4463円を託した。蒲郡市総代連合会の細井政雄会長らが浦添市役所で松本哲治市長に手渡した。</p> <p>バドミントンや吹奏楽団など浦添市と交流している市民団体や沖縄好きの個人、市議らから寄付が寄せられたという。細井会長は「浦添の人が悲しみ、沖縄全体が涙するのを見て何かできないかと考えた。どういふ形であっても再建に使ってもらえたらうれしい」と話した。</p> <p>松本市長は「沖縄や首里城の歴史への熱い思いを感じる。時間はかかるが思いを復興につなげたい。浦添らしい応援の仕方を研究する」と感謝した。</p> <p>(写図説明) 細井政雄会長(中央)から首里城再建支援金を受け取る松本哲治浦添市長(左)と上里隆史浦添市立図書館長=同市役所</p>			

	掲載年月日	令和2年3月23日(月)	新聞紙名	沖縄タイムス(18面)
	みだし	浦添市施設の利用制限解除 / 中央公民館など きょうから		

記 事

【浦添】新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、臨時閉館などの対策を取っていた市内公共施設の利用制限解除が始まった。

ANA アリーナ浦添(市民体育館)やANA スポーツホールてだこ(多目的屋内運動場)、ANA まじゅんらんど浦添は20日から再開された。トレーニング室や更衣室、シャワー室は引き続き利用を禁止する。

市立中央公民館、市老人福祉センター、市地域福祉センター、市かりゆしセンターは23日から開館。サン・アビリティーズうらそえは24日から利用できる。

市立図書館は17日から開館している。

市は、換気や手洗い、せきエチケットの徹底のほか、発熱や体調不良状態での利用は控えるよう呼び掛けている。

●関係機関一覧

[沖縄県内公共図書館等]

名 称	住 所	電話番号	F A X
沖縄県立図書館	〒902-0021 那覇市泉崎 1-20-1 カブーナ旭橋A街区内 3F	098-894-5858	098-861-7111
名護市立中央図書館	〒905-0011 名護市宮里 5-6-1	0980-53-7246	0980-52-2607
うるま市立中央図書館	〒904-2221 うるま市字平良川 128	098-974-1112	098-974-3505
うるま市立石川図書館	〒904-1107 うるま市石川字曙 2-1-55	098-964-5166	098-978-4075
うるま市立勝連図書館	〒904-2312 うるま市勝連平安名 3047 番地	098-978-4321	098-974-3505
沖縄市立図書館	〒904-0004 沖縄市中央 2-28-1	098-929-4919	098-923-0312
宜野湾市民図書館	〒901-2214 宜野湾市我如古 3-4-10	098-897-4646	098-897-5642
浦添市立図書館	〒901-2114 浦添市安波茶 2-2-1	098-876-4946	098-875-1772
那覇市立中央図書館	〒902-0064 那覇市寄宮 1-2-15	098-917-3449	098-835-2158
那覇市立牧志駅前ほしぞら図書館	〒902-0067 那覇市安里 2-1-1	098-917-3450	098-867-0343
那覇市立小祿南図書館	〒901-0145 那覇市高良 2-7-1	098-917-3451	098-857-2986
那覇市立首里図書館	〒903-0812 那覇市首里当蔵町 2-8-2	098-917-3452	098-885-9247
那覇市立若狭図書館	〒900-0031 那覇市若狭 2-12-1	098-917-3453	098-860-1246
那覇市立石嶺図書館	〒903-0804 那覇市首里石嶺町 2-70-9	098-917-3454	098-885-9625
那覇市立繁田川図書館	〒902-0071 那覇市繁田川 4-1-38	098-917-3455	098-853-6010
南風原町立図書館	〒901-1113 南風原町字喜屋武 236	098-889-6400	098-888-3265
豊見城市立中央図書館	〒901-0232 豊見城市字伊良波 392	098-856-6006	098-856-8044
南城市立知念図書館	〒901-1511 南城市知念字久手堅 22	098-917-5310	098-948-7340
南城市立図書館 佐敷分館	〒901-1403 南城市佐敷字佐敷 307	098-947-1100	098-947-0099
南城市立図書館 玉城分館	〒901-0611 南城市玉城字富里 167	098-948-7320	098-948-7335
南城市立図書館 大里分館	〒901-1206 南城市大里字仲間 928	098-917-5332	098-946-9512
糸満市立中央図書館	〒901-0362 糸満市字真栄里 1448	098-995-3746	098-992-5778
宮古島市立平良図書館	〒906-0012 宮古島市平良字西里 187	0980-72-2235	0980-3-1136
宮古島市立城辺図書館	〒906-0103 宮古島市城辺字福里 377-1	0980-77-8813	0980-77-8813
石垣市立図書館	〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1	0980-83-3862	0980-83-1645
本部町立図書館	〒905-0212 本部町字大浜 874-1	0980-47-2105	0980-47-3081
金武町立図書館	〒904-1201 金武町字金武 1827	098-968-5004	098-968-5032
嘉手納町立図書館	〒904-0203 嘉手納町字嘉手納 290-9	098-957-2470	098-957-4566
北谷町立図書館	〒904-0103 北谷町字桑江 467-1	098-936-3542	098-936-4567
西原町立図書館	〒903-0111 西原町字与那城 152-5	098-944-4996	098-944-4997
与那原町立図書館	〒901-1303 与那原町字与那原 712	098-946-6959	098-946-6970
宜野座村文化センター図書館	〒904-1302 宜野座村字宜野座 314-1	098-983-2611	098-983-2600
読谷村立図書館	〒904-0322 読谷村字波平 37	098-958-3113	098-958-3129
北中城村あやかりの杜図書館	〒901-2311 北中城村字喜舎場 1214	098-983-8060	098-983-8090
多良間村立図書館	〒906-0601 多良間村字塩川 165	0980-79-2555	0980-79-2555
渡名喜村立中央図書館	〒901-3601 渡名喜村字渡名喜 1935	098-989-2120	098-989-2313
恩納村文化情報センター	〒904-0415 恩納村字仲 1656 番地 8	098-982-5432	
中城村護佐丸歴史資料図書館	〒901-2407 中城村字安里 215	098-895-5302	098-895-5353

[沖縄県内公民館図書室]

名 称	住 所	電話番号	F A X
国頭村立中央公民館図書室	〒905-1411 国頭村字辺土名 112	0980-41-5308	0980-41-5316
東村中央公民館図書室	〒905-1204 東村字平良 550-4	0980-43-2372	
今帰仁村立図書館	〒905-0411 今帰仁村字天底 91	0980-56-3898	
伊江村中央公民館図書室	〒905-0501 伊江村字東江上 75	0980-49-2334	0980-49-2503
伊平屋村離島振興総合センター 図書室	〒905-0703 伊平屋村字我喜屋 300	0980-46-2806	0980-46-2832
うるま市立与那城地区公民館 図書室	〒904-2304 うるま市与那城屋慶名 467-4	098-978-6836	098-978-2028
北中城村立中央公民館図書室	〒901-2303 北中城村字仲順 435	098-935-3773	098-935-5144
八重瀬町中央公民館図書室	〒901-0401 八重瀬町字東風平 1014	098-998-8383	098-998-4254
八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館 図書室	〒901-0512 八重瀬町字具志頭 352	098-998-8708	098-835-7501
粟国村中央公民館図書室	〒901-3702 粟国村字東 580	098-988-2449	098-988-2351
宮古島市上野農村環境改善センター 図書室	〒906-0201 宮古島市上野字野原 708-1	0980-76-2483	0980-76-2483
宮古島市下地公民館図書室	〒906-0304 宮古島市下地字上地 628-1	0980-76-6017	0980-76-6017
宮古島市伊良部公民館図書室	〒906-0501 宮古島市伊良部字前里 1057	0980-78-3558	0980-78-6210
与那国町中央公民館図書室	〒907-1801 与那国町字与那国 125	0980-87-2002	0980-87-2074

[大学図書館等]

名 称	住 所	電話番号	F A X
琉球大学附属図書館	〒903-0214 西原町字千原 1	098-895-8166	098-895-8169
琉球大学附属図書館医学部分館	〒903-0125 西原町字上原 207	098-895-3331	098-895-1092
沖縄県立芸術大学附属 図書・芸術資料館	〒903-8602 那覇市首里当蔵町 1-4	098-882-5038	098-882-5068
沖縄県立看護大学附属図書館	〒902-0076 那覇市与儀 1-24-1	098-833-8806	098-833-5134
沖縄国際大学図書館	〒901-2701 宜野湾市宜野湾 2-6-1	098-893-7854	098-893-3274
沖縄大学図書館	〒902-8521 那覇市字国場 555	098-832-5577	098-834-1127
名桜大学附属図書館	〒905-8585 名護市字為又 1220-1	0980-51-1062	0980-51-1065
沖縄女子短期大学図書館	〒901-1304 与那原町字東浜 1	098-882-9004	098-882-8902
沖縄キリスト教学院図書館	〒903-0117 西原町字翁長 777	098-946-1236	098-946-1237
国立沖縄工業高等専門学校図書館	〒905-2191 名護市字辺野古 905	0980-55-4037	0980-55-4067

[浦添市内学校図書室等]

名 称	住 所	電話番号	F A X
浦添市教育研究所（図書室）	〒901-2103 浦添市仲間 2-47-1	098-876-7522	098-876-7222
浦添小学校（図書室）	〒901-2103 浦添市仲間 2-47-1	098-877-2064	098-870-4755
仲西小学校（図書室）	〒901-2127 浦添市屋富祖 2-32-1	098-877-2067	098-877-2810
神森小学校（図書室）	〒901-2122 浦添市勢理客 1-4-1	098-877-6380	098-877-6423
浦城小学校（図書室）	〒901-2132 浦添市伊祖 2-13-1	098-877-3335	098-877-3239
牧港小学校（図書室）	〒901-2131 浦添市牧港 2-14-1	098-877-4142	098-877-4241
当山小学校（図書室）	〒901-2104 浦添市当山 2-34-1	098-877-7595	098-877-7538
内間小学校（図書室）	〒901-2121 浦添市内間 4-3-1	098-877-0369	098-877-0698
港川小学校（図書室）	〒901-2133 浦添市城間 4-37-1	098-879-1974	098-879-1975
宮城小学校（図書室）	〒901-2126 浦添市宮城 3-7-3	098-879-5312	098-879-5313
沢岬小学校（図書室）	〒901-2112 浦添市字沢岬 998	098-879-3238	098-879-3256

前田小学校 (図書室)	〒901-2102	浦添市字前田 333	098-879-1947	098-870-4756
浦添中学校 (図書室)	〒901-2103	浦添市仲間 2-46-1	098-877-2066	098-877-2808
仲西中学校 (図書室)	〒901-2127	浦添市屋富祖 2-13-1	098-877-2070	098-877-2826
神森中学校 (図書室)	〒901-2121	浦添市内間 1-6-1	098-877-5165	098-877-5597
港川中学校 (図書室)	〒901-2134	浦添市港川 1-1-1	098-876-1323	098-876-1991
浦西中学校 (図書室)	〒901-2104	浦添市当山 3-1-1	098-879-3236	098-879-8519
浦添高校 (図書室)	〒901-2121	浦添市内間 3-26-1	098-877-4970	098-878-4219
陽明高校 (図書室)	〒901-2113	浦添市字大平 488	098-879-3062	098-879-9520
浦添商業高校 (図書室)	〒901-2132	浦添市伊祖 3-11-1	098-877-5844	098-877-4305
浦添工業高校 (図書室)	〒901-2111	浦添市経塚 1-1-1	098-879-5992	098-875-4764
那覇工業高校 (図書室)	〒901-2122	浦添市勢理客 4-22-1	098-877-6144	098-875-4883
昭和薬科大学附属高等学校図書室	〒901-2112	浦添市字沢岬 450	098-870-1852	098-870-1853
大平特別支援学校 (図書室)	〒901-2113	浦添市大平 1-27-1	098-877-4941	098-876-4148
鏡が丘特別支援学校 (図書室)	〒901-2104	浦添市当山 3-2-7	098-877-4940	098-877-9958
内間児童センター (図書室)	〒901-2121	浦添市内間 3-28-12	098-876-1502	098-876-1509
西原児童センター (図書室)	〒901-2101	浦添市西原 4-9-1	098-878-1766	098-876-2657
若草児童センター (図書室)	〒901-2132	浦添市伊祖 3-44-1	098-877-0047	098-877-0049
経塚児童センター (図書室)	〒901-2111	浦添市経塚 1-17-1	098-876-4100	098-874-1515
宮城ヶ原児童センター (図書室)	〒901-2126	浦添市宮城 2-4-1	098-876-1895	098-876-1895
まちなと児童センター (図書室)	〒901-2131	浦添市牧港 2-38-2	098-873-1898	098-873-1655
浦城っ子児童センター (図書室)	〒901-2132	浦添市伊祖 2-13-2	098-878-6815	098-870-1369
森の子児童センター (図書室)	〒901-2122	浦添市勢理客 1-4-1	098-874-7610	098-877-2647
うらそえぐすく児童センター (図書室)	〒901-2103	浦添市仲間 2-47-5	098-874-0417	098-874-0370
宮城っ子児童センター (図書室)	〒901-2126	浦添市宮城 3-7-3-1	098-870-0227	098-870-0228
前田ユブシが丘児童センター (図書室)	〒901-2102	浦添市字前田 323	098-871-1558	098-871-1559

[その他]

名 称	住 所	電話番号	F A X
沖縄点字図書館	〒900-0014 那覇市松尾 2-15-29	098-866-0222	098-866-0292
沖縄県議会図書室	〒900-8501 那覇市泉崎 1-2-3	098-866-2578	098-866-2350
沖縄県行政情報センター	〒900-8570 那覇市泉崎 1-2-2	098-866-2139	098-866-2911
沖縄県立総合教育センター 教育経営研修課図書資料室	〒904-2174 沖縄市字与儀 587	098-933-7555	098-933-2333
沖縄県公文書館	〒901-1105 南風原町字新川 148-3	098-888-3875	098-888-3879
沖縄県男女共同参画センター 「ているる」図書情報室	〒900-0036 那覇市西 3-11-1	098-868-4077	098-866-9088
北谷町公文書館	〒904-0192 北谷町字桑江 226	098-982-7739	098-936-8596
J I C A 沖縄図書資料室	〒901-2252 浦添市字前田 1143-1	098-876-6000	098-876-6014

●図書館の自由に関する宣言(抜粋)

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することをもっとも重要な任務とする。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

●図書館法(抜粋)

最終改正 平成23年12月14日 法律第122号

第1章 総則(第1条～第9条)

第2章 公立図書館(第10条～第23条)

1. 私立図書館(第24条～第29条)は省略

第1章 総則

(この法律の目的)

第1条 この法律は、社会教育法(昭和24年法律第207号)の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの(学校に附属する図書館又は図書室を除く。)をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

第3条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に 沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね 次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

- (1) 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード、及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料(電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。))を含む。以下「図書館資料」という。)を収集し、一般公衆の利用に供すること。
- (2) 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- (3) 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようすること。
- (4) 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。
- (5) 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。
- (6) 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

(7) 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

(8) 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

(9) 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第4条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

(1) 大学を卒業した者で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したものの

(2) 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

(3) 次に掲げる職にあった期間が通算して3年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

イ 司書補の職

ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの

ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

(1) 司書の資格を有する者

(2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第1項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

(司書及び司書補の講習)

第6条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、15単位を下ることができない。

(司書及び司書補の研修)

第7条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

(設置及び運営上望ましい基準)

第7条の2 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

(運営の状況に関する評価等)

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努められなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

第7条の4 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

(協力の依頼)

第8条 都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市(特別区

を含む。以下同じ。) 町村の教育委員会に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

(公の出版物の収集)

第9条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を2部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第2章 公立図書館

(設置)

第10条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第11条及び第12条 削除

(職員)

第13条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

(図書館協議会)

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第15条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第16条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

(入館料等)

第17条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第18条及び第19条 削除

(図書館の補助)

第20条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第21条及び第22条 削除

第23条 国は、第20条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

(1) 図書館がこの法律の規定に違反したとき。

(2) 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。

(3) 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第3章 私立図書館(第24条～第29条)以下省略

●浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例

昭和 59 年 12 月 19 日

条例第 34 号

(設置)

第 1 条 市民の図書その他の図書館資料に対する要求にこたえ、自由で公平な資料の提供を中心とする諸活動によって、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 前条の規定により設置される図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 浦添市立図書館
- (2) 位置 浦添市安波茶二丁目 2 番 1 号
(一部改正〔平成 10 年条例 26 号〕)

(職員)

第 3 条 浦添市立図書館(以下「図書館」という。)に、館長、専門的職員、事務職員及び技術職員、その他必要な職員を置く。

(利用者の秘密を守る義務)

第 4 条 図書館は、資料の提供活動を通じて知り得た利用者の個人的な秘密を漏らしてはならない。

(利用の制限)

第 5 条 館長は、次の各号に該当するときは、図書館の利用を拒み、又は中止させることができる。

- (1) 秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。
- (2) 営利を目的とするとき。
- (3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。
- (4) この条例及び浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則(昭和 60 年教育委員会規則第 1 号。以下「規則」という。)並びに館長の指示に従わないとき。
- (5) 前 4 号のほか管理運営上支障があるとき。
(追加〔平成 12 年条例 2 号〕)

(集会室の利用の不承認及び制限)

第 6 条 館長は、次の各号に該当すると認めるときは、視聴覚室、会議室、研究室、おはなしコーナー及び展示室(以下「集会室」という。)の利用を承認しない。

- (1) 集会室利用が図書館事業と目的を異にするとき。
- (2) 風紀を害し、秩序を乱すおそれがあるとき。
- (3) 営利を目的とするとき。
- (4) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。
- (5) その他管理上支障があると認められるとき。

2 館長は、次の各号に該当すると認められるときは、利用条件を変更し、利用を停止し、又は利用の承認を取り消すことができる。

- (1) 利用者がこの条例及び規則に違反したとき。
- (2) 利用目的が承認時と異なったとき。

(3) 災害その他の事故により集会室の利用が不可能なとき。

(4) 館長が図書館運営上特に必要と認めたとき。

(追加〔平成12年条例2号〕)

(図書館協議会)

第7条 図書館法(昭和25年法律第118号)第14条の規定に基づき、図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は10人以内とし、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(一部改正〔平成12年条例2号〕)

(一部改正〔平成24年条例13号〕)

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(一部改正〔平成12年条例2号〕)

附 則

この条例は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則(平成10年11月24日条例第26号)

この条例は、平成10年11月30日から施行する。

附 則(平成12年3月31日条例第2号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月27日条例第13号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

○浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則

昭和60年1月24日

教育委員会規則第1号

改正 昭和63年3月19日教育委員会規則第9号
平成2年3月20日教育委員会規則第2号
平成3年3月20日教育委員会規則第1号
平成8年3月28日教育委員会規則第4号
平成8年9月20日教育委員会規則第8号
平成11年3月23日教育委員会規則第3号
平成11年12月17日教育委員会規則第8号
平成12年3月29日教育委員会規則第7号
平成17年3月29日教育委員会規則第4号
平成18年3月27日教育委員会規則第5号
平成19年3月16日教育委員会規則第4号
平成20年3月21日教育委員会規則第8号
平成24年3月30日教育委員会規則第5号
平成30年2月9日教育委員会規則第3号
令和元年12月5日教育委員会規則第16号
令和2年3月30日教育委員会規則第11号
注 平成30年2月から改正経過を注記した。

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例（昭和59年条例第34号）第8条の規定に基づき、浦添市立図書館（以下「図書館」という。）の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織及び事務分掌)

第2条 図書館に次の係を置く。

図書館管理係

図書館奉仕第1係 図書館奉仕第2係

(平30教委規則3・旧第1条の2繰下・一部改正、令2教委規則11・一部改正)

(職員及び職務)

第3条 図書館に館長、係長その他必要な事務職員を置く。

2 館長は、上司の命を受け、図書館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

3 係長は、上司の命を受け、係の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

4 その他の職員は、上司の命を受け、担任の事務に従事する。

5 第1項の館長は、非常勤とすることができる。この場合において、その任期は任用の日から同日の属する会計年度の末日までの範囲内とする。ただし、再任を妨げない。

(平30教委規則3・旧第1条の3繰下、令2教委規則11・一部改正)

(その他の職員)

第4条 図書館に、前条の規定にかかわらず、必要に応じて、参事、主幹、主査を置くことができる。

2 参事、主幹、主査は、上司の命を受け、特に指定された事務を処理する。

(平30教委規則3・旧第1条の4繰下)

第2章 図書館奉仕

第1節 通則

(事業)

第5条 図書館は、図書館法（昭和25年法律第118号）第3条の規定に基づき、次の事業を行う。

(1) 図書館資料（以下「資料」という。）、視聴覚機材（以下「機材」という。）及び視聴覚教材（以下「教材」という。）の収集、整理及び保存

(2) 資料、機材及び教材の貸出し

(3) 読書案内

(4) レファレンス

(5) 読書会、研究会、講演会、鑑賞会、映写会、資料展示会等の主催及び奨励

(6) 館報その他の読書資料の発行及び頒布

(7) 時事に関する情報及び参考資料の紹介並びに提供

(8) 移動図書館の運営

(9) 他の図書館、学校、博物館、公民館、研究所等との連絡及び協力

(10) 資料の図書館間相互貸借

(11) 市内学校図書館との連絡提携

(12) 読書団体との連絡、協力及び団体活動の促進

(13) 地域図書館活動に対する援助

(14) 郷土資料及び地方行政資料の収集並びに貸出し

- (15) 沖縄学の研究
- (16) 社会教育における学習成果を活用する教育活動その他の活動の機会の提供と奨励
- (17) その他図書館の目的達成のために必要な事業
(平30教委規則3・旧第2条繰下・一部改正)
(図書館奉仕を受けることができる者)

第6条 図書館奉仕を受けることができる者は、浦添市に居住し、又は通勤若しくは通学している者とする。

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要と認めた者に対して、図書館奉仕をすることができる。

(平30教委規則3・旧第3条繰下、令2教委規則11・一部改正)

(開館時間)

第7条 図書館の開館時間は、午前9時30分から午後7時までとする。ただし、教育長が必要と認めたときは、これを変更することができる。

(平30教委規則3・旧第4条繰下、令2教委規則11・一部改正)

(休館日)

第8条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 定期休館日 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定するこどもの日及び文化の日に当たる場合を除く。）
- (2) 祝日法に規定する日（こどもの日及び文化の日を除く。）
- (3) 慰霊の日 6月23日
- (4) 年始休館日 1月2日及び1月3日
- (5) 年末休館日 12月29日から12月31日まで
- (6) 資料整理日 7月、8月、蔵書点検月を除く毎月末日（ただし、土日月を除く）
- (7) 蔵書点検日等 年間10日以内で館長が指定する日

2 前項第2号に規定する日が同項第1号に規定する日に当たる場合は、その日以後において、最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。ただし、成人の日（1月の第2月曜日）、海の日（7月の第3月曜日）、敬老の日（9月の第3月曜日）及びスポーツの日（10月の第2月曜日）は、この限りでない。

3 前2項の規定にかかわらず、教育長が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(平30教委規則3・旧第5条繰下、令元教委規則16・令2教委規則11・一部

改正)

(損害の弁償)

第9条 利用者は、資料、機材、教材、設備器具等を著しく汚損、破損又は紛失したときは、現品又は相当の代価をもって弁償しなければならない。ただし、教育長がやむを得ない理由があると認めたときは、この限りでない。

(平30教委規則3・旧第7条繰下・一部改正、令2教委規則11・一部改正)

第2節 個人貸出し

(貸出手続)

第10条 図書館が発行し、交付した利用カードを所持する者は、資料を借り受けることができる。

- 2 前項の利用カードは、利用申込書により申込みがあった者に交付する。
- 3 利用申込書の記載事項に変更が生じたときは、変更届により、速やかに図書館長(以下「館長」という。)に届け出なければならない。
- 4 図書館を利用できる資格を失ったときは、速やかに館長に利用カードを返還しなければならない。

(平30教委規則3・旧第8条繰下、令2教委規則11・一部改正)

(利用カードの紛失)

第11条 利用カードを紛失したときは、速やかに館長に届け出なければならない。

- 2 利用カードが交付を受けた者以外の者によって使用され、損害が生じたときは、その責任は当該利用カードの交付を受けた者に帰するものとする。

(平30教委規則3・旧第9条繰下)

(貸出しの期間及び数量)

第12条 資料の貸出期間は、2週間以内とし、同時に貸出しを受けることができる数量は、1人につき図書は10点、雑誌は3点、CD及びカセットテープは合わせて2点とする。ただし、教育長が必要と認めたときは、数量を別に指定することができる。

- 2 貸出期間の延長は、期間内に申出のあった者に対してのみ、返却日から2週間までを限度として認める。

(平30教委規則3・旧第10条繰下、令2教委規則11・一部改正)

(貸出しの制限)

第13条 貴重図書その他館長が特に指定した資料は、貸出しを行わないものとする。ただし、教育長が特に必要があると認めた場合は、5点を限度とし閉館時から翌日の開館時までの貸出しを受けることができる。

(平30教委規則3・旧第11条繰下、令2教委規則11・一部改正)

(貸出しの停止)

第14条 教育長は、資料貸出期間経過後においても当該資料を返却しなかった者に対して、一定期間資料の貸出しを停止することができる。

(平30教委規則 3・旧第12条繰下、令 2 教委規則11・一部改正)

第3節 団体貸出し

(貸出手続)

第15条 団体に資料を利用できるものは、市内の事業所、機関、学校又は団体等で、図書館が発行し交付する利用カードを所持するものとする。

2 前項の利用カードは、利用申込書により申込みがあった団体に交付する。

(平30教委規則 3・旧第13条繰下)

(貸出しの期間及び数量)

第16条 団体に利用する資料の貸出数量は、団体の成員数に応じ1回50点を限度とし教育長がこれを指定する。利用期間は1か月以内とする。ただし、教育長が特に必要と認めた場合は、その数量及び期間を別に指定することができる。

(平30教委規則 3・旧第14条繰下・一部改正、令 2 教委規則11・一部改正)

(個人貸出しの規定の準用)

第17条 第9条、第11条及び第12条の規定は、団体貸出しについて準用する。

(平30教委規則 3・旧第15条繰下)

第4節 機材及び教材の貸出し

(平30教委規則 3・追加)

(利用許可手続)

第18条 機材及び教材の貸出しを受けようとする者は、視聴覚機材・教材利用申請書(様式第1号)を教育長に提出し、視聴覚機材・教材利用許可書(様式第2号)を受け取るものとする。

2 前項の規定により、貸出しを受けた機材及び教材を返却する場合は、視聴覚機材・教材利用報告書(様式第3号)を教育長に提出しなければならない。

(平30教委規則 3・追加、令 2 教委規則11・一部改正)

(貸出しの停止)

第19条 この規則に違反した利用者に対し、教育長は、貸出しの停止及び禁止の措置を講ずることができる。

(平30教委規則 3・追加、令 2 教委規則11・一部改正)

(貸出しの期間及び数量)

第20条 機材及び教材の貸出し期間は、5日以内とする。ただし、教育長が特に必要

と認めたときは、この限りでない。

- 2 貸出しの機材は1団体につき1台、教材は1団体につき3本(枚)以内とする。ただし、教育長が必要と認めたときは、数量を別に指定することができる。

(平30教委規則3・追加、令2教委規則11・一部改正)

第5節 移動図書館

(平30教委規則3・旧第3節の2繰下)

(移動図書館の業務)

- 第21条 移動図書館は、市内を巡回して、資料の貸出しその他の奉仕を行う。

(平30教委規則3・旧第15条の2繰下)

(巡回日時及び場所)

- 第22条 移動図書館の巡回日時及び場所については、教育長が別に定める。

- 2 教育長は、前項の規定にかかわらず、天候不順等の理由により巡回が適当でないと認めたときには、巡回を中止することができる。

(平30教委規則3・旧第15条の3繰下、令2教委規則11・一部改正)

第6節 集会施設の利用

(平30教委規則3・旧第4節繰下)

(利用の範囲)

- 第23条 視聴覚室、かたりの部屋(以下「集会室」という。)は、教育的、文化的活動等図書館事業に関連のある集会及び行事に利用することができる。

(平30教委規則3・旧第16条繰下)

(利用手続)

- 第24条 集会室を利用しようとする者は、あらかじめ集会室使用承認申請書を教育長に提出し、その承認を受けなければならない。

- 2 教育長は、前項の申請書を審査し、支障がないと認めたときは、申請者に対し集会室使用承認書により利用を承認するものとする。

- 3 教育長は、前項の承認をする際に条件を付することができる。

(平30教委規則3・旧第17条繰下、令2教委規則11・一部改正)

第3章 資料の寄贈及び寄託

(寄贈及び寄託)

- 第25条 図書館は、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

- 2 図書館に資料を寄託しようとするときは、教育長に名称、数量価格等を明記した資料寄託申込書を提出し、その承認を受けるものとする。

- 3 資料の寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、

事情により特に図書館が負担することがある。

4 図書館は、資料の寄贈を受けたときは、他の資料と同様の取扱いにより一般の利用に供することができる。

5 寄託された資料は、図書館の所有に属する資料と同様の取扱いをする。

6 図書館は、寄贈及び寄託された資料がやむを得ない事由により滅失若しくは紛失し、又は汚損若しくは破損したときは、その責めを負わない。

(平30教委規則3・旧第20条繰下、令2教委規則11・一部改正)

第4章 雑則

(委任)

第26条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

(平30教委規則3・旧第21条繰下)

附 則

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則 (昭和63年3月19日教育委員会規則第9号)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則 (平成2年3月20日教育委員会規則第2号)

この規則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則 (平成3年3月20日教育委員会規則第1号)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則 (平成8年3月28日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則 (平成8年9月20日教育委員会規則第8号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成11年3月23日教育委員会規則第3号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年12月17日教育委員会規則第8号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成12年3月29日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月29日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年3月27日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月16日教育委員会規則第4号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月21日教育委員会規則第8号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月30日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成30年2月9日教育委員会規則第3号）

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第4条及び第6条の規定は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和元年12月5日教育委員会規則第16号）

この規則は、令和2年1月1日から施行する。

附 則（令和2年3月30日教育委員会規則第11号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する

●浦添市立図書館協議会規則

昭和 60 年 1 月 24 日

教育委員会規則第 2 号

改正 平成 29 年 5 月 12 日教育委員会規則第 7 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例（昭和 59 年条例第 34 号）第 7 条の規定に基づき、浦添市立図書館協議会（以下「協議会」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第 2 条 協議会は、図書館の運営に関し浦添市立図書館長（以下「館長」という。）の諮問に応ずる。

2 協議会は、図書館の行う図書館奉仕について館長に対して意見を述べることができる。

(会長及び副会長)

第 3 条 協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 4 条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。ただし、委員の三分の一以上の請求がある場合は臨時に招集することができる。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第 5 条 協議会の庶務は、図書館において処理する。

(委任)

第 6 条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に会長が定める。

附 則

この規則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 29 年 5 月 12 日教育委員会規則第 7 号）

この規則は、公布の日から施行する。

●著作権法(抜粋)

昭和45年5月6日 法律第48号

平成30年5月18日 最終改正

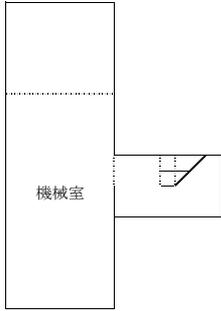
(図書館等における複製等)

第31条 国立国会図書館及び図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で定めるもの（以下この項及び第三項において「図書館等」という。）においては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料（以下この条において「図書館資料」という。）を用いて著作物を複製することができる。

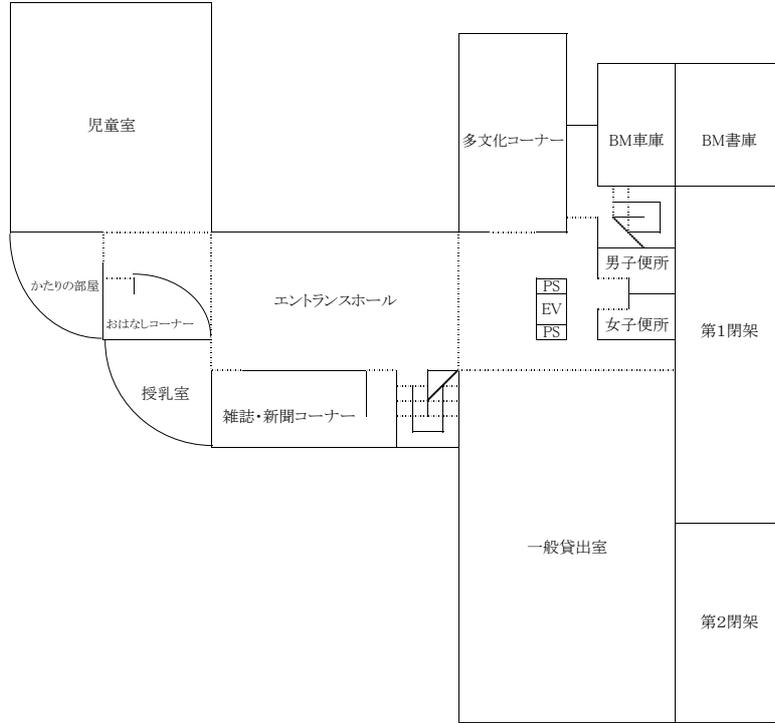
- 一 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあつては、その全部。第三項において同じ。）の複製物を一人につき一部提供する場合
- 二 図書館資料の保存のため必要がある場合
- 三 他の図書館等の求めに応じ、絶版その他これに準ずる理由により一般に入手することが困難な図書館資料（以下この条において「絶版等資料」という。）の複製物を提供する場合

● 平面図

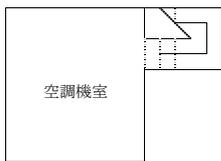
地階 188.71㎡



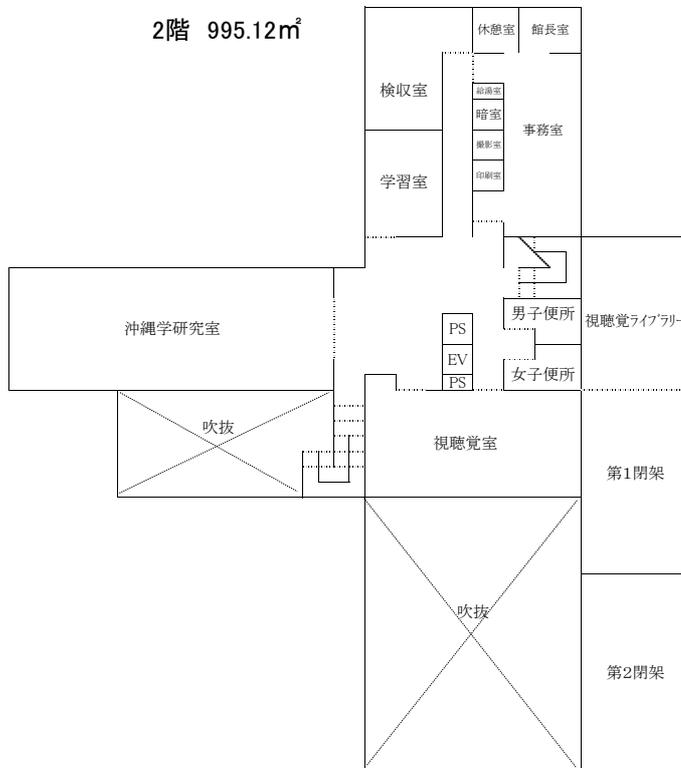
1階 1,783.62㎡



塔屋階 69.13㎡



2階 995.12㎡





昭和 57 年 12 月 11 日制定

浦添市民憲章

わたくしたちは
古い歴史と新しい希望にみちた、
てだこの都市・浦添の市民として、
この憲章を定め 誇りをもって
その実践につとめます

1. わたくしたちは、

自然を愛し、みどり豊かなまちをつくります。

1. わたくしたちは、

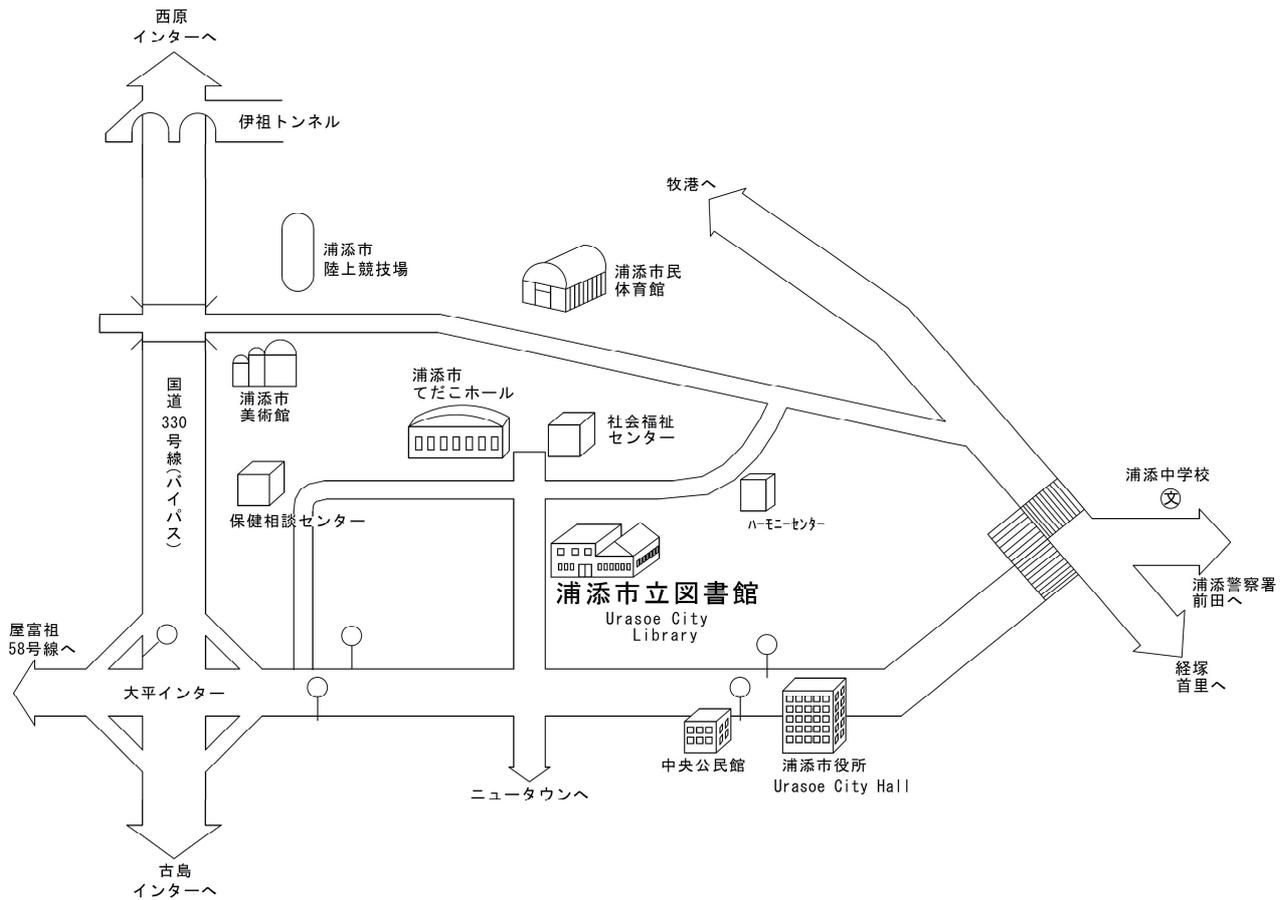
きまりを守り、住みよいまちをつくります。

1. わたくしたちは、

平和を愛し、文化の香り高いまちをつくります。

1. わたくしたちは、

心と体をきたえ、明るい健康なまちをつくります。



浦 添 市 立 図 書 館 報

第 37 号

令和 2 年 12 月 発行

編集・発行 浦添市立図書館

〒901-2114

沖縄県浦添市安波茶二丁目 2 番 1 号

T E L : 098-876-4946

F A X : 098-875-1772

印刷 有限会社ドリーム印刷
